



# **Epson Device Admin**

# **ユーザーズガイド**

NPD6822-00 JA

---

# マニュアルの見方

---

## マークの意味

### 注意

この内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が怪をう可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

### 重要

必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を見逃して誤った取り扱いをすると、本製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。

### 参考

補足情報や参考情報を記載しています。

### 関連情報

関連したページにジャンプします。

## 掲載画面

マニュアルには開発中の画面が使われています。製品版と異なる場合があります。

## OS 表記

本書では、以下の OS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows 11」「Windows 10」「Windows 8.1」「Windows 8」「Windows 7」「Windows Vista」「Windows Server 2022」「Windows Server 2019」「Windows Server 2016」「Windows Server 2012 R2」「Windows Server 2012」「Windows Server 2008 R2」「Windows Server 2008」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

- Microsoft® Windows® 11 operating system
- Microsoft® Windows® 10 operating system
- Microsoft® Windows® 8.1 operating system
- Microsoft® Windows® 8 operating system
- Microsoft® Windows® 7 operating system
- Microsoft® Windows Vista® operating system
- Microsoft® Windows Server® 2022 operating system
- Microsoft® Windows Server® 2019 operating system
- Microsoft® Windows Server® 2016 operating system
- Microsoft® Windows Server® 2012 R2 operating system
- Microsoft® Windows Server® 2012 operating system
- Microsoft® Windows Server® 2008 R2 operating system
- Microsoft® Windows Server® 2008 operating system

# もくじ

## マニュアルの見方 ..... 2

マークの意味 .....	2
掲載画面 .....	2
OS 表記 .....	2

## Epson Device Admin の概要 ..... 5

主な機能 .....	5
システム構成 .....	5
サポート言語 .....	6

## セットアップ ..... 7

システム要件 .....	7
ハードウェア ... 7	
ソフトウェア ... 7	
動作上の注意 ... 9	
インストール .....	9
インストールの準備 ... 9	
新規インストールと機能の変更 ... 9	
Epson Device Admin の起動と終了 ... 13	
トップ画面 .....	13
初回起動時のデバイスの探索 .....	14
環境設定について .....	14

## 操作画面 ..... 15

サイドバータスクメニューでの機能切り替え .....	15
デバイス管理画面 .....	16
アラート管理 .....	17
レポート管理 .....	18
設定テンプレート管理 .....	19

## 導入設定 ..... 20

オプション設定 .....	20
オプション設定画面 ... 20	
メール通知設定 ... 21	

データ収集 ... 22	
形式設定 ... 23	
起動時の設定 ... 23	
リボンメニュー設定 ... 24	
更新確認設定 ... 25	
デバイスリストへの登録 .....	25
デバイスの探索 ... 26	
個別指定 ... 28	
デバイス情報の取得 .....	29
グループ管理 .....	29
ユーザー定義グループの作成とデバイス編集 ... 30	
グループの編集 ... 35	
グループの削除 ... 37	

## デバイスの管理 ..... 38

デバイスの設定 .....	38
設定テンプレート .....	38
設定テンプレートの作成 ... 38	
設定テンプレートの適用 ... 41	
設定テンプレートの編集 ... 45	
設定テンプレートのエクスポートとインポート ... 45	
デバイスを一台ずつ設定 .....	45
デバイスのプロパティ画面 ... 45	
デバイス内蔵 Web サーバーから設定する ... 48	
管理者パスワードの設定 .....	49
個別に設定 ... 49	
パスワードの一括管理 ... 50	
各種宛先帳の登録 .....	55
個別に編集 ... 55	
一括で登録 ... 58	
デバイスファームウェアの更新 .....	63
ファームウェアの更新 ... 63	
ファームウェア更新スケジュール ... 63	

## 日常の管理 ..... 70

デバイスリスト管理 .....	70
定期的な情報収集 ... 70	
デバイスリストの表示設定 ... 71	
アラート管理 .....	75
アラートの作成 ... 75	
アラート監視グループの追加 ... 76	

アラート確認間隔の設定 ...	77
アラートの編集 ...	78
アラート表示切り替え ...	79
レポート管理 .....	80
レポートの作成 ...	80
データ収集 ...	92
データ収集時間、保存期間の設定 ...	92
レポート表示切り替え ...	94
アーカイブレポートのメール送信 ...	96
アーカイブレポートの保存と削除 ...	97

## メンテナンス ..... 99

ステータスシートの印刷 .....	99
バックアップとリストア .....	99
バックアップ、リストアできる項目 ...	99
システム設定 ...	100
デバイスリスト ...	102
パスワード設定 ...	104
宛先帳 ...	107
設定テンプレート ...	111
Epson Print Admin Serverless / 認証機能設定 のジョブ履歴から個人情報を削除する ...	113

## トラブルシューティング ..... 115

トラブルシューティング .....	115
-------------------	-----

## 付録 ..... 117

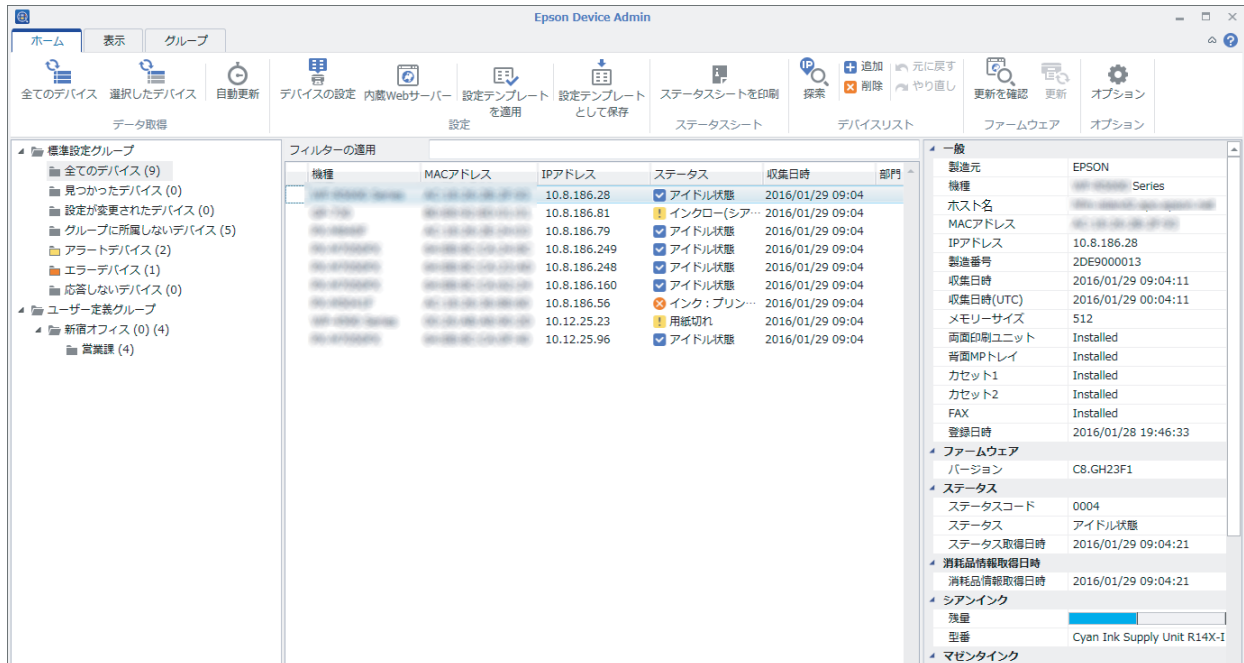
他のデバイス管理の方法 .....	117
IP アドレスの割り当て ...	117
重複項目のチェック ...	117
一括設定.....	118
情報を自動で割り当てる設定 ...	118
1 台ずつ情報を割り当てながら設定（手動割当） ...	122
設定値を記述した SYLK ファイルを作成する ...	127
デバイス設定のバックアップ ...	132
SYLK ファイルの設定項目 ...	134
商標など.....	137
ご注意.....	137



# Epson Device Admin の概要

## 主な機能

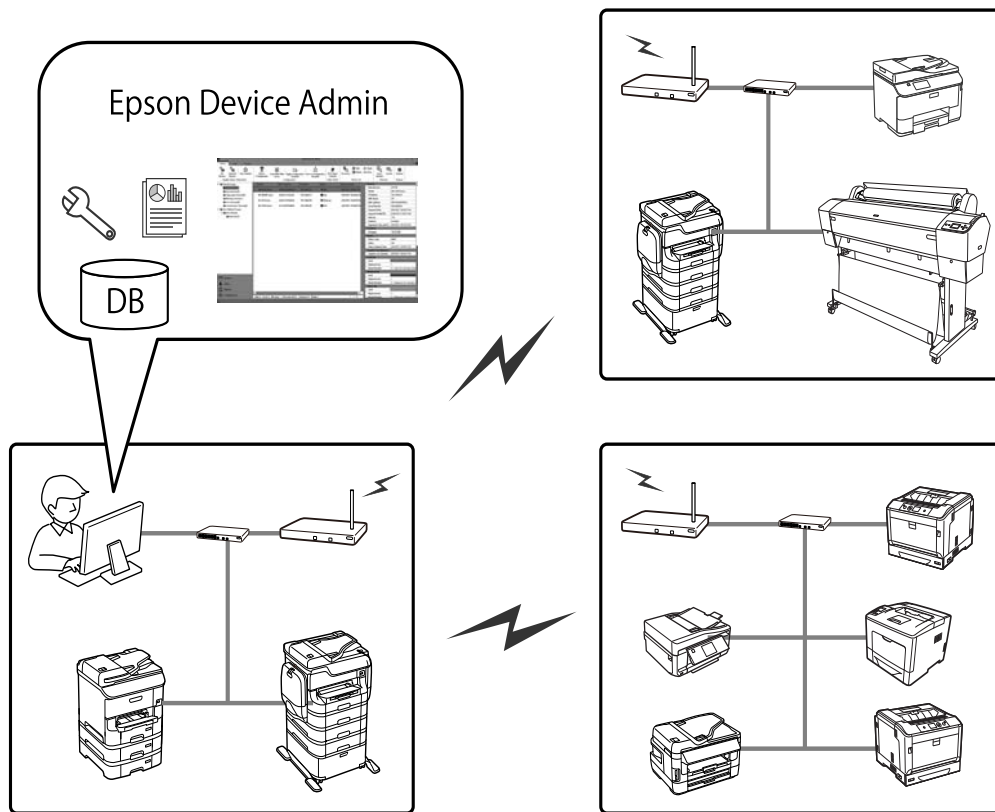
Epson Device Admin (エプソン デバイス アドミン) は、デバイスのネットワークへの導入、設定、管理ができるソフトウェアです。主に以下の機能があります。



- **デバイスの探索**  
ネットワークにあるデバイスを探索して一覧に登録できます。同じセグメントのネットワークに接続されているエプソン製デバイス（プリンターやスキャナー）ならば、IP アドレスが未設定でも発見できます。
- **デバイス設定**  
ネットワークインターフェイスや給紙装置など、デバイスの詳細項目設定をテンプレートにして、デバイスに統一した設定値を適用できます。ネットワークに接続されていれば、IP アドレスが未設定のデバイスに IP アドレスを割り当てることができます。
- **デバイスの監視**  
ネットワーク上のデバイスから定期的にデバイスの状態や詳細情報を収集できます。また、デバイスリストに登録した他社製のデバイスも監視できます。
- **アラート管理**  
紙詰まり、用紙切れ、消耗品交換など、デバイスが出すアラートを監視できます。また、事前に条件を設定するとアラートが発生したときに自動で管理者へメールで通知することができます。
- **レポート管理**  
デバイスや消耗品の使用状況、印刷枚数などの情報を蓄積して定期的にレポートを作成できます。また、作成したレポートの保管やメールでの送信ができます。

## システム構成

本ソフトウェアは以下のようなシステムを構築して、デバイスを管理できます。



- Epson Device Admin システム  
デバイスを管理する IT 管理者用のコンピューターが設置されている拠点です。

Epson Device Admin システムは以下を含みます。

- Device Admin クライアント  
本ソフトウェアです。管理者のコンピューターへインストールされます。
- Device Admin Agent  
本ソフトウェアと一緒にインストールされ、システムの一部でサービスとして動作します。定期的な情報収集やレポート作成、アラート通知などを行います。また、Device Admin Agent Monitor と Device Admin Agent が正常に動作しているかを監視します。
- EDA Database  
本ソフトウェアに組み込まれているデータベースです。情報はすべてここへ記録されます。

## サポート言語

Epson Device Admin は以下の言語をサポートしています。

日本語、英語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、スペイン語、中国語（繁体字）、ロシア語、ポルトガル語（ブラジル）、中国語（簡体字）、ポルトガル語（ポルトガル）、オランダ語、韓国語

---

# セットアップ

---

## システム要件

本ソフトウェアは以下の環境へインストールできます。

---

## ハードウェア

### 最小システム

- CPU：2.0 GHz 以上の x86 および x64 プロセッサ
- メモリ：4 GB 以上
- ハードディスク：500 MB 以上の空き容量（データベース容量を除く）
- ディスプレイ：1024×768 以上、High Color 32 ビット

### 奨励システム

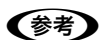
- CPU：2.8 GHz 以上の x64 プロセッサ（サーバーシステム）
- メモリ：8 GB 以上
- ハードディスク：SSD、500 MB 以上の空き容量（データベース容量を除く）
- ディスプレイ：1920×1080 以上、High Color 32 ビット

---

## ソフトウェア

### 必要なソフトウェア

- ランタイム：.NET Framework 4.0 または .NET Framework 4.5



.NET Framework 4.5 は Windows 8、Windows Server 2012 以降には標準で搭載されています。

- Internet Explorer 8 以降  
アーカイブレポートを表示する場合に必要です。

### 使用するポートについて

本ソフトウェアは以下のポートを使用します。ポートを開放してください。

プロトコル	ポート番号	IN/OUT	目的
SNMP(UDP)	161	OUT	デバイス情報の収集に使用します。

プロトコル	ポート番号	IN/OUT	目的
ENPC(UDP)	3289	OUT	以下のケースで使します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワーク上のデバイスの探索と設定</li> <li>ファームウェアアップデート</li> <li>デバイス情報の収集                      デバイスの IP が DHCP による自動 IP 割り当ての場合、デバイスの IP に変化がないか確認するために ENPC を使って変更後の IP アドレスを取得する場合があります。</li> </ul>
SLP(UDP)	427	OUT	ネットワーク上のデバイスの探索に使します。
HTTPS(TCP)	443	OUT	HTTPS で通信し、自動アップデート、ファームウェア更新に使します。
HTTP(TCP)	80	OUT	プリンターのファームウェア更新に使します。
SMTP(TCP)	25 (メーカー設定値)	OUT	メールを送信する SMTP サーバーが使します。サーバーに合わせて変更します。
SMTP(Auth)	587 (メーカー設定値)	OUT	セキュアに拡張された SMTP を使ってメールを送信します。
POP3(TCP)	110	OUT	POP before SMTP を使ってメールを送信します。
ENTP(TCP&UDP)	1865	OUT	ネットワークスキャナーの情報取得に使します。
TCP 10015	10015 (メーカー設定値)	IN&OUT	サービスと本ソフトウェアが通信するリクエストインターフェイスが使します。
HTTP Alternate(TCP)	8080 (メーカー設定値)	OUT	プロキシサーバーを設定してインターネットにアクセスします。
DNS(TCP)	53	OUT	ホスト名の取得に使します。
NBNS(UDP)	137	OUT	ホスト名の取得に使します。
LLMNR(UDP)	5355	OUT	ホスト名の取得に使します。
LDAP(TCP)	389 (メーカー設定値)	OUT	LDAP サーバーが使します。サーバーに合わせて変更します。
RAW(TCP)	9100	OUT	レーザープリンターのファームウェア更新に使します。
PING(ICMP)	-	OUT	PING に応答します。

## Windows サービス

本ソフトウェアはセットアップ時に以下を Windows サービスとして登録します。

- Epson Device Admin Agent
- Epson Device Admin Agent Monitor

## 仮想環境

本ソフトウェアは以下の仮想環境でも動作します。ただし、環境によってはパフォーマンスが低下することがあります。

- Hyper-V
- VMWare vSphere

---

## 動作上の注意

- 本ソフトウェアが正常に動作しなくなりますので、コンピューターのスリープ機能を停止してください。
- 本ソフトウェアが動作中に変更したタイムゾーンは再起動後に反映されます。
- 本ソフトウェアは IPv4 にのみ対応しています。
- システムを 24 時間稼働する場合は、サーバー OS を推奨します。
- データ収集時にデバイスの省電力モードが一時的に解除される場合があります。

## インストール

---

### インストールの準備

#### .Net Framework

本ソフトウェアをインストールする前に、.Net Framework 4.0 または 4.5 を本ソフトウェアをインストールするコンピューターにインストールしてください。ただし、Windows 8、Windows Server 2012 以降には .Net Framework 4.5 が標準で搭載されていますので、インストールの必要はありません。

.Net Framework の取得やインストール方法、詳細説明は、Microsoft 社の Web サイトをご覧ください。

<https://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=17851>

---

### 新規インストールと機能の変更

#### ！重要

インストールするコンピューターへ管理者権限を持ったアカウントでログインしてください。

### 新規インストール

本ソフトウェアを新規でインストールします。

1

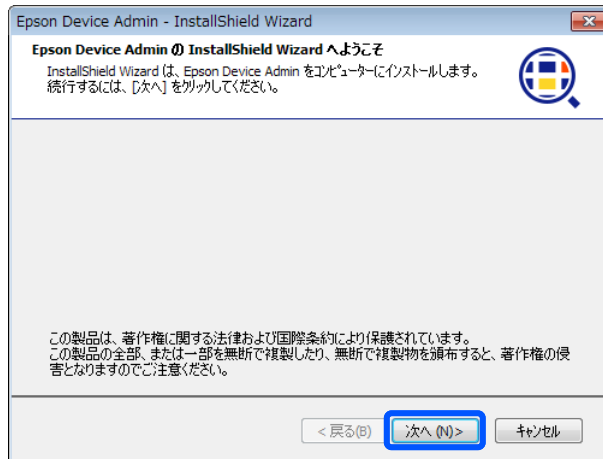
**Setup.exe** を実行します。

セットアップウィザードが起動します。

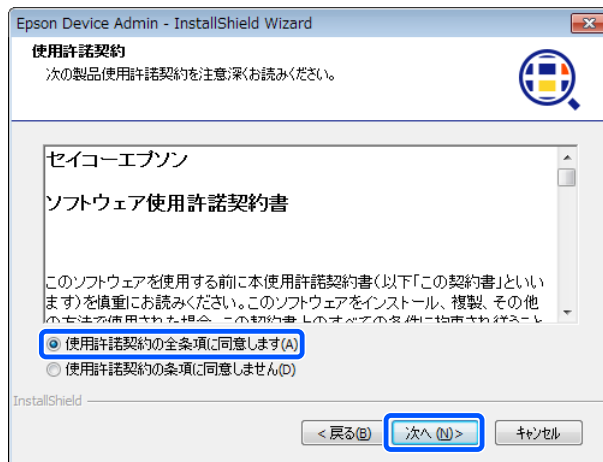
#### 参考

ユーザーアカウント制御が表示されたら [はい] をクリックしてインストールを許可します。

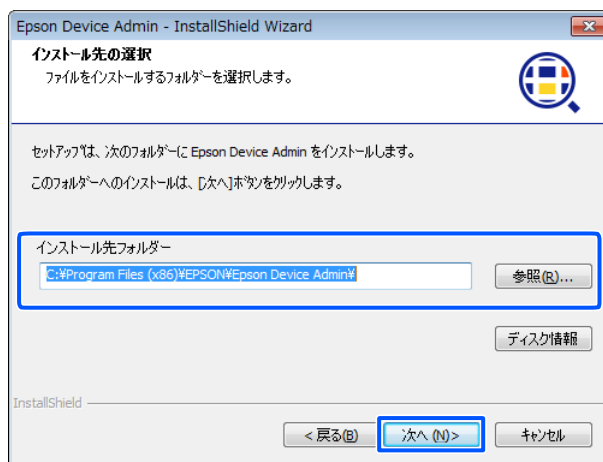
2 [次へ] をクリックします。



3 ライセンス条項を確認し、[同意する] を選択して [次へ] をクリックします。



4 本ソフトウェアをインストールするフォルダーを指定して、[次へ] をクリックします。



参考

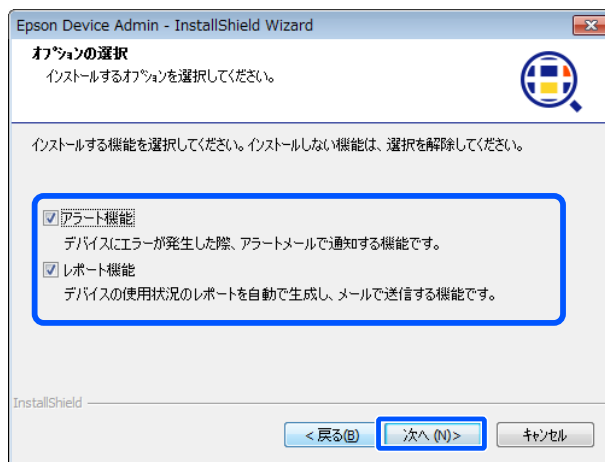
- [参照] をクリックすると、インストール先を変更できます。
- [ディスク情報] をクリックすると、インストール先のディスクの空き容量を確認できます。

## 5 追加する機能を選択して、[次へ] をクリックします。

アラート機能とレポート機能を追加できます。追加機能の説明は以下をご覧ください。

「アラート管理」 75 ページ

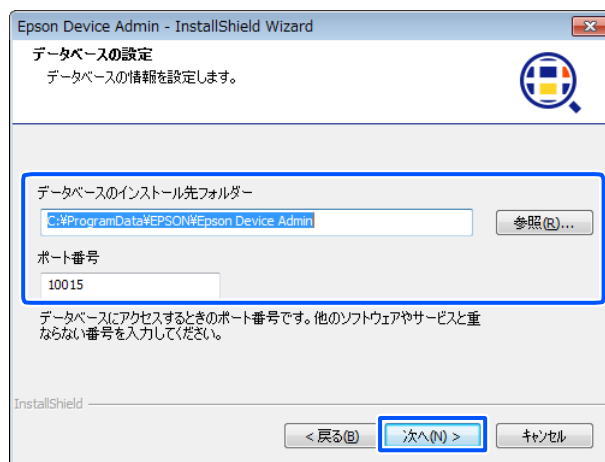
「レポート管理」 80 ページ



## 6 データベースの設定をして、[次へ] をクリックします。

データベースをインストールするフォルダーを指定してください。

ポート番号は「10015」が指定されています。「10015」がすでに使用されている場合は、使用可能なポート番号を指定してください。



### 参考

[参照] をクリックすると、インストール先を変更できます。

## 7 [インストール] をクリックします。

インストールが開始されます。



- 8 インストール完了画面が表示されたら、[完了] をクリックします。



## 機能の変更とアンインストール

インストールした機能の変更や本ソフトウェアのアンインストールは、Windows のコントロールパネルから行います。

- 1 **Window** のコントロールパネルを開きます。
- 2 **【プログラムのアンインストール】** を選択しプログラム一覧を表示します。
- 3 **【Epson Device Admin】** を選択し右クリックします。
- 4 表示されたメニューから以下を選択します。  
機能を変更する場合：変更  
本プログラムをアンインストールする場合：アンインストール



- 5** 画面の指示に従って、本ソフトウェアを変更、アンインストールします。

## アップデートで引き継がれる情報

更新されたプログラムの上書きインストールや機能変更をしても、以下の情報やファイルは引き継がれます。

- 収集した機種の情報
- 探索条件などの設定
- データベースファイル (Epson Device Admin ver.2.x 以降)


## Epson Device Admin の起動と終了

### • 起動

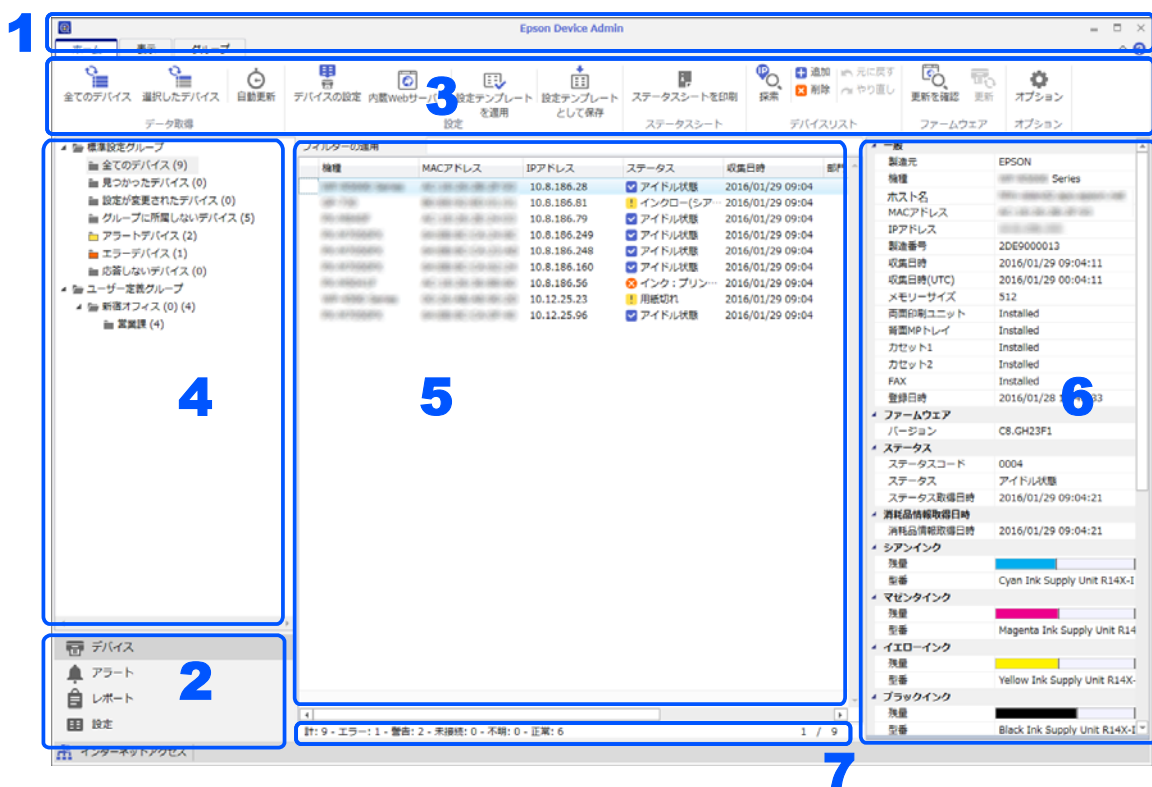
スタートメニュー - [すべてのプログラム] - [EPSON] - [Epson Device Admin] - [Epson Device Admin] をクリックします。  
インストール後初めて起動したときは、自動的にデバイスの探索を開始します。

[「初回起動時のデバイスの探索」14 ページ](#)

### • 終了


ウインドウ右上の [x] をクリックするか、ウインドウ左上の  をクリックして [終了] 選択します。

## トップ画面



Epson Device Admin のトップ画面は以下のペインで構成されています。

トップ画面はサイドバータスクメニューで選択されている項目に応じて表示が切り替わります。

番号	ペイン	概要
1	タイトルバー	 をクリックすると、Epson Device Admin の各項目の説明が記載された Help が起動します。
2	サイドバータスクメニュー	使用する機能を切り替えます。選択した項目に従って画面全体が切り替わります。
3	リボンメニュー	サイドバータスクメニューで選択されている機能のメニューが表示されます。
4	サイドバーコンテンツ	サイドバータスクメニューで選択されている機能のツリー構造が表示されます。
5	表示ビュー	サイドバータスクメニュー、サイドバーコンテンツで選択されている機能に応じた情報や設定内容などが表示されます。
6	デバイス詳細情報	サイドバータスクメニューで「デバイス」が選択されているとき、デバイスリストで選択しているデバイスの詳細が表示されます。
7	ステータスバー	サイドバータスクメニューで「デバイス」が選択されているとき、デバイスリストのステータス情報が表示されます。

## 初回起動時のデバイスの探索

Epson Device Admin をインストール後に初めて起動すると、デバイス探索のメッセージが表示されます。  
 [はい] をクリックすると、同一セグメント内でデバイスを探索し、見つかったデバイスがデバイスリスト（表示ビュー）に登録されます。

[いいえ] をクリックすると探索しません。手動でデバイスを登録してください。

[「デバイスリストへの登録」 25 ページ](#)

## 環境設定について

本ソフトウェアの管理に必要なメール設定やメニュー設定などはオプション画面から設定します。  
 詳しくは以下をご覧ください。

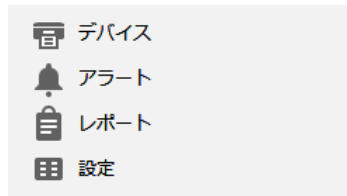
[「オプション設定」 20 ページ](#)

---

# 操作画面

---

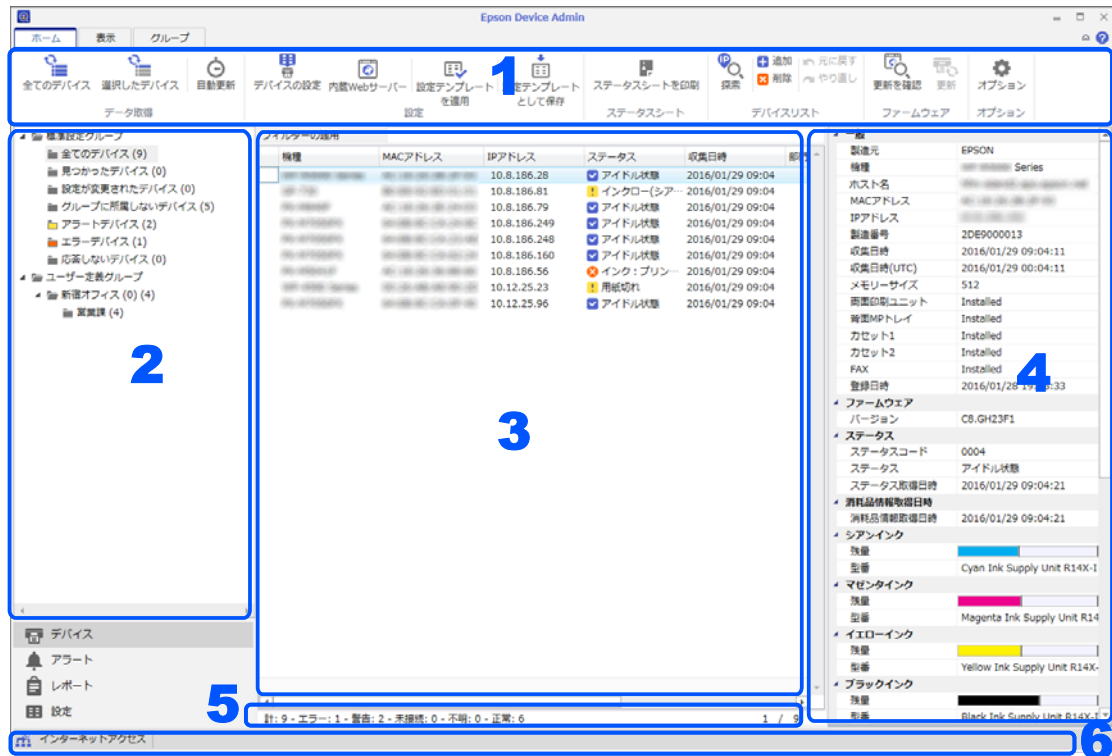
## サイドバースクメニューでの機能切り替え



サイドバースクメニューで機能を選択すると、以下のように表示される機能が切り替わります。

- デバイス管理画面  
ネットワークにあるデバイスを管理します。デバイスの探索や登録、ステータス情報の収集などを行います。  
[「デバイス管理画面」 16 ページ](#)
- アラート管理画面  
デバイスの出すアラートを管理します。エラーが起きているデバイスや消耗品を交換する必要があるデバイスを見つけるための設定を行います。  
[「アラート管理」 17 ページ](#)
- レポート管理画面  
デバイスのさまざまな情報をまとめるレポートを管理します。デバイスの使用頻度や消耗品の使用状況などをどのようにレポートに出力するかを設定します。  
[「レポート管理」 18 ページ](#)
- 設定テンプレート管理画面  
テンプレート化したデバイスの設定を管理します。設定テンプレートの作成や適用をします。  
[「設定テンプレート管理」 19 ページ](#)

# デバイス管理画面



サイドバータスクメニューで「デバイス」を選択すると、デバイス管理画面が表示されます。  
 デバイス管理画面は以下のペインから構成されています。デバイス管理画面を使った操作は以下をご覧ください。  
[「導入設定」 20 ページ](#)

項目	ペイン	概要
1	リボンメニュー	デバイス管理画面には 3 つのリボンメニューがあり、タブをクリックすると切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [ホーム] タブ ネットワーク上のデバイスの探索や情報収集、デバイスの設定変更や設定テンプレートの適用などを行います。</li> <li>• [表示] タブ デバイスリストで表示する情報の設定や変更を行います。</li> <li>• [グループ] タブ デバイスをグループで管理するための設定を行います。</li> </ul>
2	ツリービュー	設定したグループがツリー表示されます。自動設定されるグループとユーザーが定義するグループを表示することができます。グループに所属しているデバイス数も表示されます。デバイス数は次のように表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 自動設定されるグループ グループ名 (グループに所属するデバイス数)</li> <li>• ユーザーが定義するグループ グループ名 (自グループに所属するデバイス数) (子グループに所属するデバイス数の総数*) * 同じデバイスが異なる子グループに重複して所属している場合でも、それぞれ 1 つのデバイスとして数えます。このとき * (アスタリスク) が表示されます。</li> </ul>
3	デバイスリスト	登録したデバイスの一覧が表示されます。デバイスの情報やステータスなどを確認することができます。
4	デバイス詳細情報画面	デバイスリストで選択しているデバイスの詳細情報が表示されます。デバイスによって表示項目が異なります。複数選択した場合は表示されません。 [消耗品情報取得日時] は、最新の収集日時よりも古い場合オレンジ色で表示されます。

項目	ペイン	概要
5	サマリーバー	登録しているデバイス数やエラー数、ワーニング数など、デバイスリストの概要が表示されます。
6	ステータスバー	<p>ネットワークの接続状況がアイコンと文字列で表示されます。 表示される接続状況は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットアクセス インターネットに接続しています。</li> <li>イントラネットアクセス 内部のネットワークには接続していますが、インターネットには接続していません。</li> <li>ネットワーク接続 なし ネットワークに接続していません。</li> </ul>

## アラート管理



サイドバータスクメニューで「アラート」を選択すると、アラート管理画面が表示されます。  
アラート管理画面は以下のペインから構成されています。アラート管理画面を使った操作は以下をご覧ください。  
[「アラート管理」 75 ページ](#)

項目	ペイン	概要
1	リボンメニュー	アラートの作成や編集、購読するグループの設定など、アラートの設定や情報管理を行います。
2	ツリービュー	分類されたアラートの表示を切り替えます。
3	アラートリスト	ツリービューで「ログ」以外が選択されている場合にアラート一覧が表示されます。 ツリービューで「ログ」が選択されている場合は、ログの一覧が表示されます。
4	アラートグループ	アラートリストで選択されているアラートを購読しているグループが一覧で表示されます。 ツリービューで「ログ」が選択されている場合は、ログの詳細が表示されます。

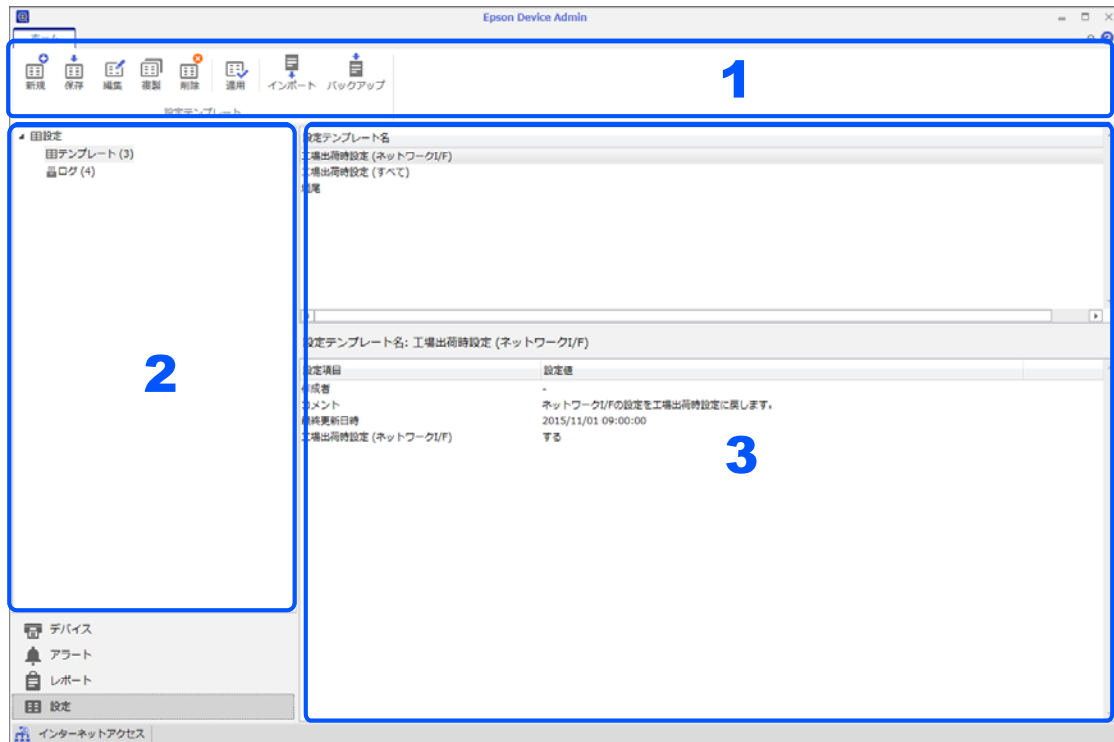
# レポート管理



サイドバータスクメニューで「レポート」を選択すると、レポート管理画面が表示されます。  
 レポート管理画面は以下のペインから構成されています。レポート管理画面を使った操作は以下をご覧ください。  
[「レポート管理」 80 ページ](#)

項目	ペイン	概要
1	リボンメニュー	レポート管理画面では選択されているツリービューに応じてリボンメニューが切り替わります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [データベース] - [レポートデータの収集] データ収集に関するメニュー</li> <li>• [ユーザー定義レポート] - [スケジュール] レポートの作成やフォーマットに関するメニュー</li> <li>• [ユーザー定義レポート] - [アーカイブ] レポートファイルに関するメニュー</li> </ul>
2	ツリービュー	データ収集とレポート管理のツリーが表示されます。選択された項目に応じてリボンメニューや表示ビューが切り替わります。
3	表示ビュー	ツリービューで選択されている項目に応じて以下が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [データベース] - [レポートデータの収集] 上段：データ収集条件の一覧 下段：デバイスリストの一覧</li> <li>• [ユーザー定義レポート] - [スケジュール] 上段：レポートスケジュールの一覧 下段：選択されているスケジュールの詳細内容</li> <li>• [ユーザー定義レポート] - [アーカイブ] 上段：アーカイブレポートの一覧 下段：選択されているアーカイブレポートの内容</li> </ul>

## 設定テンプレート管理



サイドバースタスクメニューで「設定」を選択すると、設定テンプレート管理画面が表示されます。

設定テンプレート管理画面は以下のペインから構成されています。設定テンプレート管理画面を使った操作は以下をご覧ください。

「設定テンプレート」38 ページ

項目	ペイン	概要
1	リボンメニュー	設定テンプレートの作成や保存、適用など設定テンプレートの管理を行います。
2	ツリービュー	設定テンプレート管理のツリーが表示されます。選択された項目に応じて表示ビューが切り替わります。
3	表示ビュー	ツリービューで選択されている項目に応じて以下が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• [設定] - [テンプレート] <ul style="list-style-type: none"> <li>上段：設定テンプレートの一覧</li> <li>下段：上段で選択されている設定テンプレートの内容</li> </ul> </li> <li>• [設定] - [ログ] <ul style="list-style-type: none"> <li>上段：ログの一覧</li> <li>下段：ログの内容</li> </ul> </li> </ul>

---

# 導入設定

---

## オプション設定

各機能を使うための設定をします。

### デバイス登録

- 探索条件：IP アドレス指定  
    [「IP アドレス指定」 27 ページ](#)
- 探索条件：IP アドレス範囲指定  
    [「IP アドレス範囲指定」 27 ページ](#)
- 探索条件：ネットワークアドレス指定  
    [「ネットワークアドレス指定」 28 ページ](#)

### システム設定

- メール通知設定  
    [「メール通知設定」 21 ページ](#)
- データ収集時間  
    [「スケジュールの設定」 70 ページ](#)
- パスワード管理  
    [「自動パスワード管理」 50 ページ](#)
- システム設定  
    [「システム設定のバックアップ」 100 ページ](#)

### 詳細設定

- 外部サイトへのアクセス  
    [「更新確認設定」 25 ページ](#)
- 詳細設定  
    [「リボンメニュー設定」 24 ページ](#)

### アラート通知

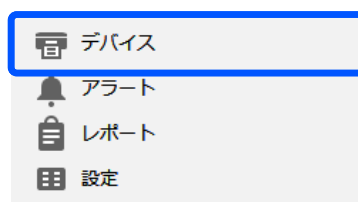
- アラート  
    [「アラート確認間隔の設定」 77 ページ](#)

---

## オプション設定画面

探索条件の設定やシステムに関する設定を［オプション］画面で設定できます。

- 1 サイドバータスクメニューで［デバイス］を選択します。



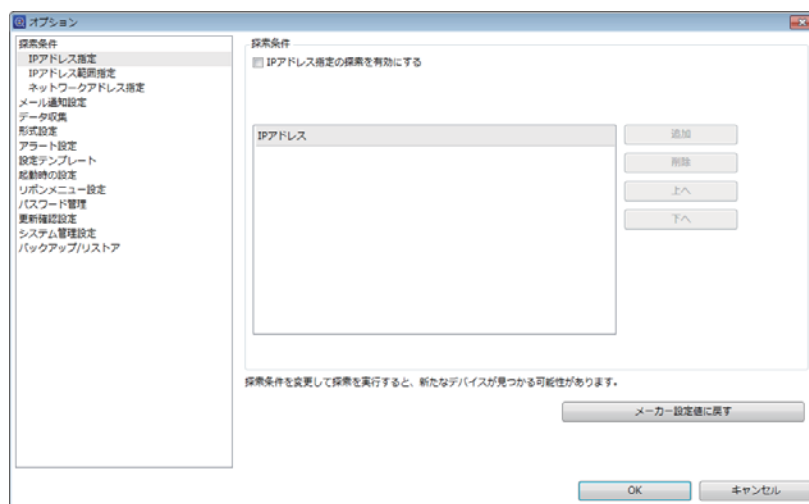


- 2 リボンメニューの「ホーム」タブで「オプション」をクリックします。



- 3 設定する項目を選択します。

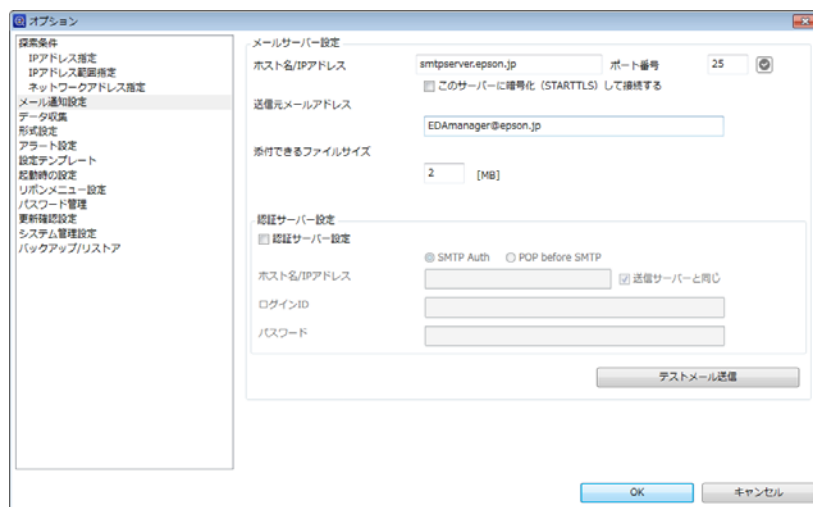
- 4 必要に応じて項目を設定します。




- 5 「OK」をクリックします。

## メール通知設定

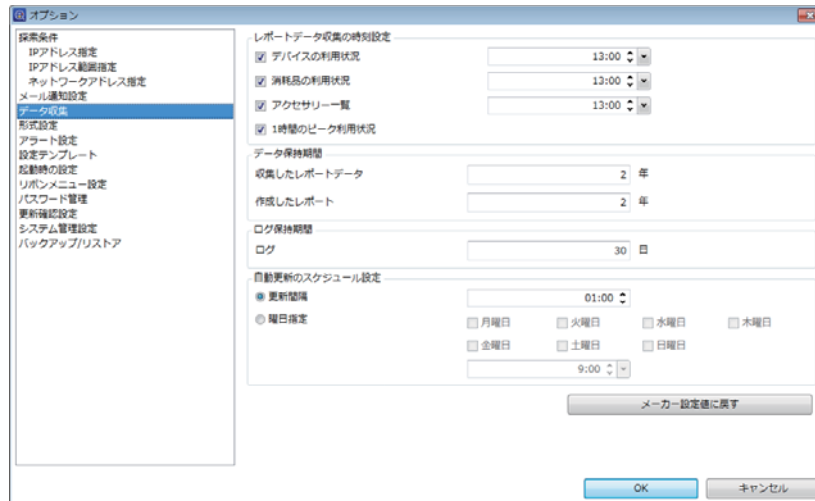
通知機能で使用するメールサーバー（メール送信サーバー）を設定します。



項目	説明
ホスト名 /IP アドレス	SMTP サーバーのホスト名または IP アドレスを入力します。 ホスト名は a-z、0-9、-、_ を使って 255 文字以内で入力してください。またラベルは 63 文字以内です。 IP アドレスは整数と . を使って IPv4 形式で入力してください。
ポート番号	SMTP サーバーのポート番号を 1 ～ 65535 の間で入力します。
	SMTP サーバーとの接続を確認します。 青色：サーバーへの接続が成功しました。次の手順に進んでください。 赤色：サーバーへの接続が失敗しました。 サーバーへの接続に失敗した場合は、設定値に間違いがないか確認してください。
このサーバーに暗号化 (STARTTLS) して接続する	選択すると SMTP サーバーとの接続が暗号化されます。
送信元メールアドレス	システムから送信されるメールのヘッダに表示される送信元のメールアドレスです。 256 文字以内で設定します。
添付できるファイルサイズ	メールに添付できる最大ファイルサイズを設定します。
認証サーバー設定	メール送信で認証が必要なサーバーの場合はチェックを入れます。 認証方式を SMTP Auth (SMTP 認証) と POP before SMTP から選択します。
ホスト名 /IP アドレス	認証方式が POP before SMTP の場合、認証サーバーのホスト名または IP アドレスを入力します。 入力文字は SMTP サーバーのホスト名、IP アドレスと同じです。 認証サーバーが SMTP サーバーと同じ場合は、[送信サーバーと同じ] をチェックします。
ログイン ID	SMTP サーバーにログインするための ID を ASCII 文字を使って 255 文字以内で入力します。
パスワード	SMTP サーバーにログインするためのパスワードを ASCII 文字を使って 255 文字以内で入力します。
テストメール送信	テストメールが送信先メールアドレスに送信されるか確認します。 このボタンは、ホスト名 /IP アドレス、ポート番号、送信元メールアドレス、送信先メールアドレスの各項目が入力されていると有効になります。テストメールは件名が「Epson Device Admin」、本文が「Success. Email settings are correctly configured.」で、言語環境に関わらず英語で表記されます。

## データ収集

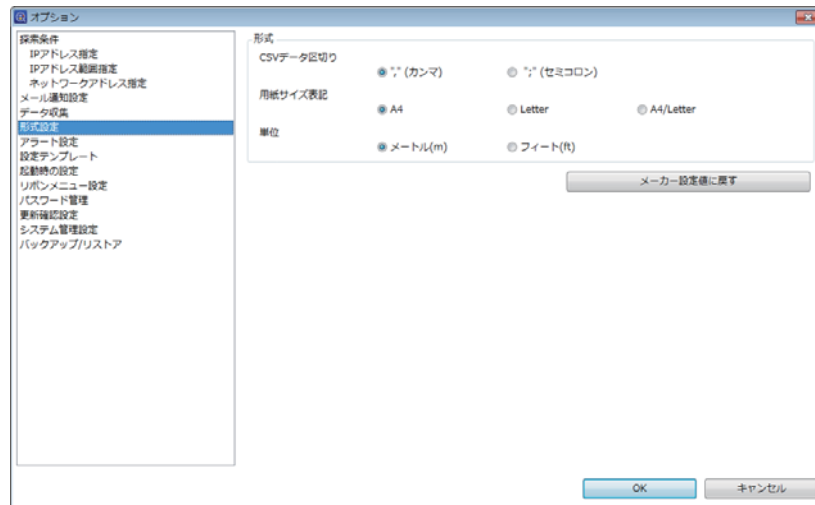
データやログの収集時間や保存期間の設定を行います。



項目	説明
自動更新のスケジュール設定	デバイス管理画面の[自動更新]でデバイス情報を取得するスケジュールを設定します。
更新間隔	一定の時間ごとにデバイス情報を取得します。1 分～ 23 時間 59 分まで 1 分単位で設定できます。
曜日指定	選択した曜日と時刻でデバイス情報を取得します。時刻は 1 分単位で指定できます。

## 形式設定

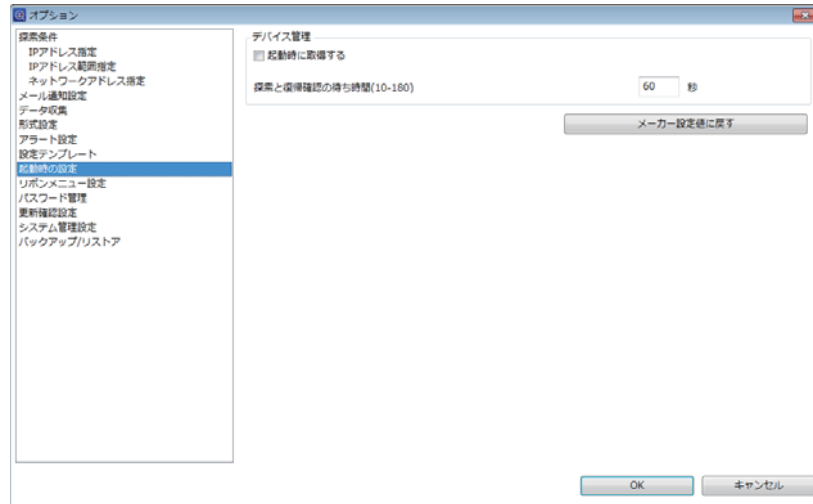
レポートの区切り記号や用紙サイズ、単位を設定します。



項目	説明
CSV データ区切り	レポートやアーカイブレポートなどに保存する CSV ファイルのデータ区切りを指定します。 メーカー設定値はカンマ区切りです。 <a href="#">「レポート管理」80 ページ</a>
用紙サイズ表記	本ソフトウェア内の用紙サイズを選択した表記にします。メーカー設定値は A4 です。
単位	本ソフトウェア内の単位を選択した表記にします。メーカー設定値はメートル (m) です。

## 起動時の設定

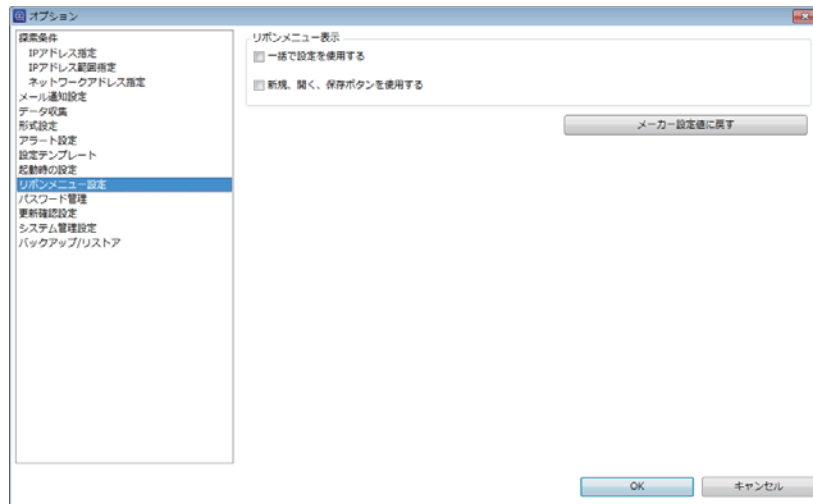
ソフトウェア起動時にデバイス情報を取得するかどうか設定します。



項目	説明
起動時に取得する	本ソフトウェアを起動したときに、すべてのデバイス情報を取得するかどうか設定します。 「 <a href="#">デバイス情報の取得</a> 」29 ページ
探索と復帰確認待ち時間 (10-180)	探索と復帰確認のタイムアウト時間を設定します。10 秒から 180 秒まで 1 秒単位で設定できます。メーカー設定値は 60 秒です。 「 <a href="#">探索条件の設定</a> 」27 ページ

## リボンメニュー設定

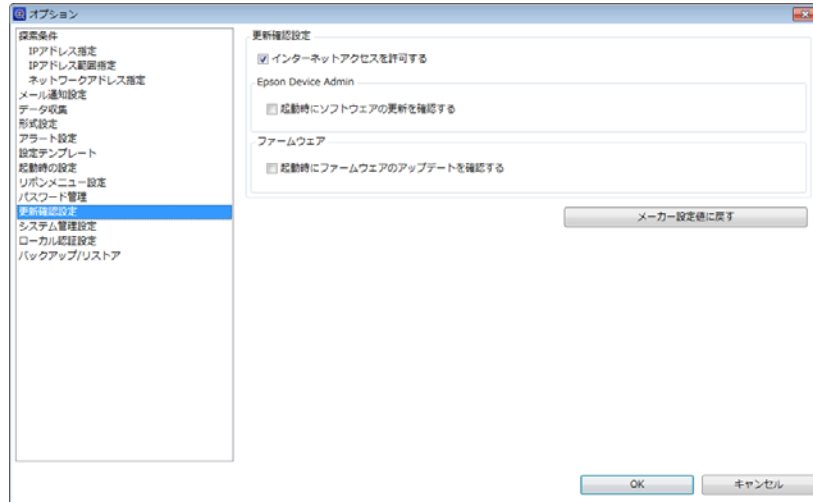
リボンメニューの表示を設定します。



項目	説明
一括設定を使用する	チェックするとデバイス管理画面のリボンメニューの「ホーム」タブ - 「設定」グループに「一括で設定」ボタンを表示します。 「 <a href="#">一括設定</a> 」118 ページ
新規、開く、保存ボタンを使用する	チェックするとデバイス管理画面のリボンメニューの「ホーム」タブ - 「デバイスリスト」グループに「新規」、「開く」、「保存」ボタンを表示します。 「 <a href="#">デバイスリスト</a> 」102 ページ

## 更新確認設定

本ソフトウェアのアップデートや更新されたデバイスのファームウェアを確認して入手するために、外部サイトへアクセスを許可できます。



項目	説明
インターネットアクセスを許可する	更新確認時にインターネットに接続し、外部サイトへアクセスします。
起動時にソフトウェアの更新を確認する	［インターネットアクセスを許可する］にチェックが付いていると有効になります。起動時に本ソフトウェアのアップデートを確認します。
起動時にファームウェアのアップデートを確認する	［インターネットアクセスを許可する］にチェックが付いていると有効になります。起動時にファームウェアのアップデートを確認します。

## デバイスリストへの登録

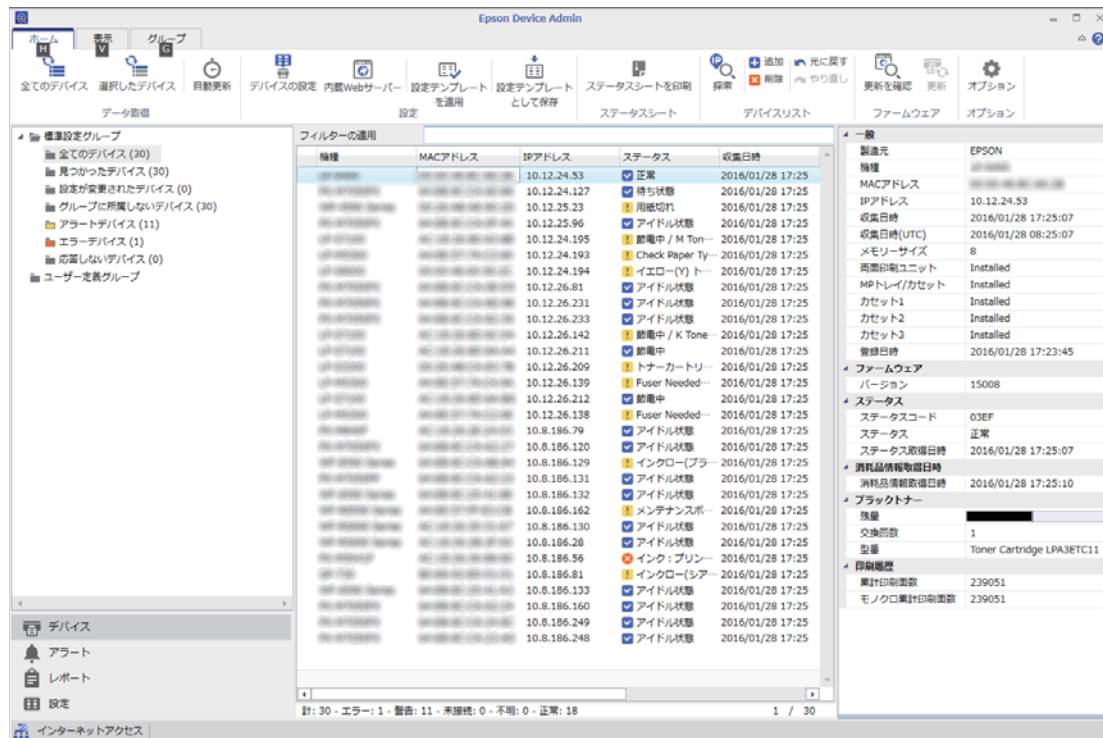
ネットワーク上の管理するデバイスをデバイスリストに登録します。

以下の登録方法が使用できます。デバイスの導入時や日常の管理など、目的に合わせて使用してください。

- デバイスを探索して登録  
ネットワーク上のデバイスを探索して登録します。セグメント越えやネットワーク範囲指定などの条件を付けて探索できます。  
[「デバイスの探索」 26 ページ](#)
- 個別に指定して登録  
IP アドレスやデバイス ID を指定して登録します。特定のデバイスや探索で発見できないデバイスを登録できます。  
[「個別指定」 28 ページ](#)
- デバイスリストファイルから登録

デバイスリストを保存したデバイス情報ファイルを読み込んで登録します。システムの復元や移行、以前作成したデバイスリストを使用したい場合などで活用できます。

[「バックアップとリストア」 99 ページ](#)



## デバイスの探索

ネットワーク上のデバイスを探索し、見つかったデバイスをデバイスリストに登録します。同一セグメント内だけでなく、セグメントを越えた探索や、IP アドレスやネットワーク範囲を指定した探索もできます。

初めて Epson Device Admin を起動すると、自動的に同一セグメント内の探索が始まり、見つかったデバイスはデバイスリストに登録されます。

### 参考

プログレスバー横の  アイコンをクリックすると、探索を中止できます。

## 探索ボタンでの探索

デバイス管理画面から、条件を設定して探索します。

**1** サイドバータスクメニューで【デバイス】を選択します。

**2** リボンメニューで【オプション】をクリックします。

**3** 探索したいデバイスに合わせて条件を設定します。

詳細は以下をご覧ください。

[「探索条件の設定」 27 ページ](#)

**4** 条件設定が完了したら **[OK]** をクリックします。

**5** **[探索]** をクリックします。

探索が始まり、見つかったデバイスがデバイス一覧に登録されます。

リボンメニューの **[デバイスリスト]** - **[保存]** をクリックすると表示されているデバイスリストをファイルに保存できます。ただし、グループ情報は保存されません。

[「バックアップとリストア」 99 ページ](#)

**参考**

エプソン製デバイスは、イーサネットケーブルなどでネットワークに接続されていれば、IP アドレスが割り当てられていなくても探索されます。

## 探索条件の設定

探索の条件を設定します。IP アドレス指定、IP アドレス範囲指定、ネットワークアドレス指定から設定できます。デバイスに IP アドレスが割り当てられている場合に探索できます。詳しくは以下をご覧ください。

**参考**

- 有効にしている探索条件はすべて有効になります。
- Epson Device Admin と同一セグメントにあるエプソン製デバイスは探索条件に関わらず探索されます。
- 探索のタイムアウトは **[オプション]** - **[起動時の設定]** - **[デバイス管理]** の **[探索と復帰確認待ち時間 (10-180)]** で設定できます。  
[「起動時の設定」 23 ページ](#)

### IP アドレス指定

指定した IP アドレスのデバイスをユニキャストで探索します。

項目	説明
IP アドレス指定の探索を有効にする	チェックするとこの探索条件を有効にします。
追加	IP アドレスを追加するダイアログが表示されます。 IPv4 形式で、探索するデバイスの IP アドレスを入力します。 IP アドレスは 100 件まで登録できます。
削除	IP アドレス一覧で選択している IP アドレスを削除します。
上へ、下へ	IP アドレス一覧の IP アドレスを上または下へ移動します。 IP アドレス一覧の順番で探索が行われます。
メーカー設定値に戻す	クリックすると IP アドレス一覧がクリアされ、IP アドレス指定探索が無効になります。

### IP アドレス範囲指定

指定した IP アドレスの範囲のデバイスをユニキャストで探索します。デバイスに IP アドレスが割り当てられている場合に探索できます。

項目	説明
IP アドレス範囲指定の探索を有効にする	チェックするとこの探索条件を有効にします。 選択した IP アドレス範囲指定で探索します。
追加	IP アドレス範囲を指定するダイアログが表示されます。 IPv4 形式で、探索する IP アドレス範囲の開始アドレスと終了アドレスを入力します。 IP アドレス範囲は 1000 件まで登録できます。IP アドレス範囲のホスト数は範囲ごとに 65535 件まで登録できます。
編集	探索範囲一覧で選択しているデバイスの IP アドレス範囲指定を変更します。

項目	説明
削除	探索範囲一覧で選択している IP アドレス範囲指定を削除します。
[ エクスポート ] ボタン	IP アドレス探索範囲リストを CSV ファイル形式で保存します。クリックすると保存先を指定するダイアログが表示されます。
[ インポート ] ボタン	CSV ファイル形式で設定された IP アドレス探索範囲リストをインポートします。クリックすると、ファイルを選択するダイアログが表示されます。
メーカー設定値に戻す	クリックすると探索範囲がクリアされ、IP アドレス範囲指定探索が無効になります。

## ネットワークアドレス指定

指定したネットワークアドレスにあるデバイスをマルチキャストで探索します。

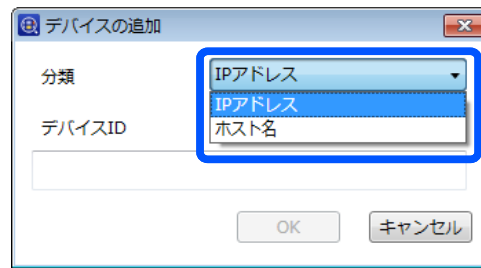
項目	説明
マルチキャストを使った探索を有効にする	チェックすると指定したネットワークへマルチキャストでデータをポート番号 427 を使って配信し、デバイスを探索します。 IP マルチキャストに対応しているルーター環境が必要です。
ルーターを越えた先のネットワークへの探索を有効にする	チェックするとルーターを越えたネットワークのデバイスを探索します。 指定したネットワークへブロードキャストでデータをポート番号 3289 を使って配信し、デバイスを探索します。 マルチキャストで配信する場合、[マルチキャスト TTL(1-15)] で探索するネットワークの範囲を設定できます。
追加	ネットワークアドレスを指定するダイアログが表示されます。 IPv4 形式で、探索するサブネット内の任意のネットワークアドレスとサブネットマスクを入力します。入力したネットワークアドレスがホストアドレスになっている場合は、自動修正されて探索アドレス一覧へ登録されます。 ネットワークアドレスは 20 件まで登録できます。
削除	探索アドレス一覧で選択しているネットワークアドレス、サブネットマスクを削除します。
マルチキャスト TTL(1-15)	マルチキャストで配信する場合のネットワークの範囲を設定します。1 に設定するとルーターは越えません。2 以上に設定した場合は、[探索するネットワーク] に登録されているネットワーク範囲を探索します。
[ メーカー設定値に戻す ] ボタン	クリックすると探索範囲がクリアされ、IP アドレス範囲指定探索が無効になります。

## 個別指定

探索で発見できないデバイスやエプソン製以外のデバイスをデバイスリストに登録できます。

- 1 サイドバータスクメニューで [デバイス] を選択します。
- 2 リボンメニューで [デバイスリスト] - [追加] をクリックします。
- 3 デバイスの分類を選択します。  
デバイスの IP アドレスが固定設定の場合は [IP アドレス] を選択します。  
デバイスの IP アドレスが自動設定の場合は [ホスト名] を選択します。





#### 4 デバイス ID を入力します。

分類で [IP アドレス] を選択した場合は、IP アドレスを IPv4 形式で入力します。  
分類で [ホスト名] を選択した場合は、デバイスのネットワーク上のデバイス名を入力します。

#### 5 [OK] をクリックします。

通信に成功するとデバイスがデバイスリストに登録されます。  
登録されない場合は IP アドレスやホスト名が正しいか確認してください。

## デバイス情報の取得

デバイスリストに登録されたデバイスのステータスや消耗品の状態、ファームウェアのバージョンなど、詳細情報を取得します。デバイス情報の取得中はリボンメニューが無効になります。

#### 1 サイドバータスクメニューで [デバイス] を選択します。

#### 2 リボンメニューで [データ取得] - [全てのデバイス] をクリックします。

個別に収集したい場合は、デバイスリストから収集したいデバイスを選択して [データ取得] - [選択したデバイス] をクリックします。

#### 参考

複数選択するときは、[Ctrl] または [Shift] を押したままクリックして選択してください。

デバイス情報は自動で収集することができます。

- Epson Device Admin 起動時に収集  
[オプション] - [起動時の設定] - [デバイス管理] の [起動時に取得する] をチェックします。
- タイマーを使って定期的に収集  
設定したスケジュールで定期的に収集できます。詳細は以下をご覧ください。  
[「定期的な情報収集」 70 ページ](#)

## グループ管理

デバイスリストに登録されたデバイスをグループ分けして管理できます。サイドバータスクメニューで [デバイス] が選択されているとき、ツリービューにグループが表示されます。

デバイスの設置場所や組織名、プリンター、スキャナといった機能の違いや使用できる用紙サイズなど、任意のグループを作成してデバイスをグループで管理できます。

以下の方法でデバイスをグループに登録できます。

- 設定した条件で自動的に仕分け  
探索で見つかったデバイスが設定した仕分け条件に従って自動的に仕分けされます。
- デバイスを選択  
デバイスを選択して任意のグループへ登録します。選択したデバイスを元にグループを作成することもできます。

## ユーザー定義グループの作成とデバイス編集

### 自動仕分けグループの作成

自動仕分け条件を設定してデバイスの探索でデバイスが見つかったとき、自動的にグループに振り分けられます。

#### 参考

グループは 2000 個まで作成できます。同じ階層にあるグループ数に制限はありません。

1 サイドバータスクメニューで [デバイス] を選択します。

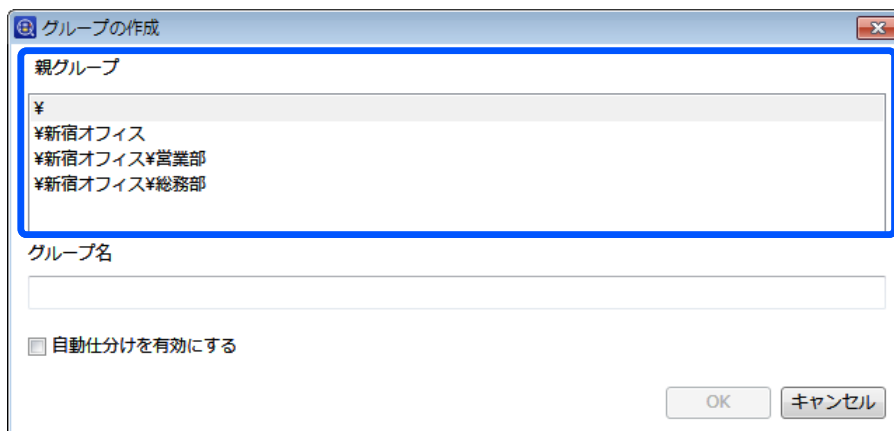
2 リボンメニューの [グループ] タブをクリックします。

3 [新規] をクリックします。



4 [親グループ] から親になるグループを選択します。

初めて作成する場合は、[ユーザー定義グループ] を親グループとして階層が作られます。グループは 8 階層まで作成できます。



**5** [グループ名] 欄に作成するグループ名を入力します。

グループ名はUnicodeで表すことのできる文字で256文字以内で入力してください。ただし¥と;は使用できません。

**6** [自動仕分けを有効にする] をチェックします。

**7** [追加] をクリックします。

自動仕分け設定画面が表示されます。

**8** 自動仕分け条件を設定します。

自動仕分け条件は 20 個まで登録できます。

以下を参考に設定してください。

項目	説明
デバイス情報	デバイスリストにある列の項目です。プルダウンメニューで以下から選択します。 <ul style="list-style-type: none"><li>• 機種</li><li>• IP アドレス</li><li>• 部門</li><li>• 設置先名</li><li>• 備考</li><li>• 備考 2</li><li>• グループ</li><li>• 接続形態</li><li>• 製造元</li></ul>

項目	説明
条件	<p>対象項目に対する値の条件を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [デバイス情報] が [IP アドレス] の場合 <ul style="list-style-type: none"> <li>≥ (以上)</li> <li>≤ (以下)</li> <li>&gt; (より大きい)</li> <li>&lt; (未満)</li> <li>= (等しい)</li> <li>≠ (等しくない)</li> <li>で始まる</li> </ul> </li> <li>• [デバイス情報] が [機種] [部門] [設置先名] [備考] [備考 2] の場合 <ul style="list-style-type: none"> <li>= (等しい)</li> <li>≠ (等しくない)</li> <li>を含む</li> <li>を含まない</li> <li>で始まる</li> <li>で終わる</li> </ul> </li> <li>• [デバイス情報] が [グループ] の場合 <ul style="list-style-type: none"> <li>所属する</li> <li>所属しない</li> </ul> </li> <li>• [デバイス情報] が [接続形態] の場合 <ul style="list-style-type: none"> <li>= (等しい)</li> <li>≠ (等しくない)</li> </ul> </li> </ul>
値	<p>[デバイス情報] が [IP アドレス] の場合は、IP アドレスを入力してください。  [接続形態] の場合は、[ネットワーク] を選択してください。  その他の場合は、Unicode で表せる文字列を使って 1 ～ 256 文字で入力してください。</p>
オペレーション	<p>一つ前の条件との関連を選択します。自動仕分け条件一覧の上から順に適用されます。</p>

9

**[OK]** をクリックします。

自動仕分け条件が一覧に追加されます。

続けて自動仕分け条件を追加するときは [追加] をクリックします。

一覧にある条件を編集するときは〔編集〕をクリックします。  
一覧にある条件を削除するときは〔削除〕をクリックします。  
条件の順番を変更する時は〔^〕、〔v〕をクリックします。

- 10 〔OK〕をクリックします。  
新規作成したグループがツリービューに追加されます。

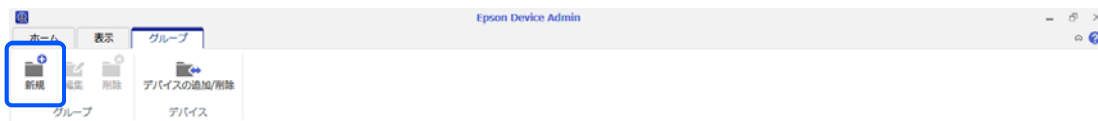
## グループを作成してデバイス追加

グループを作成してからデバイスをグループへ登録します。

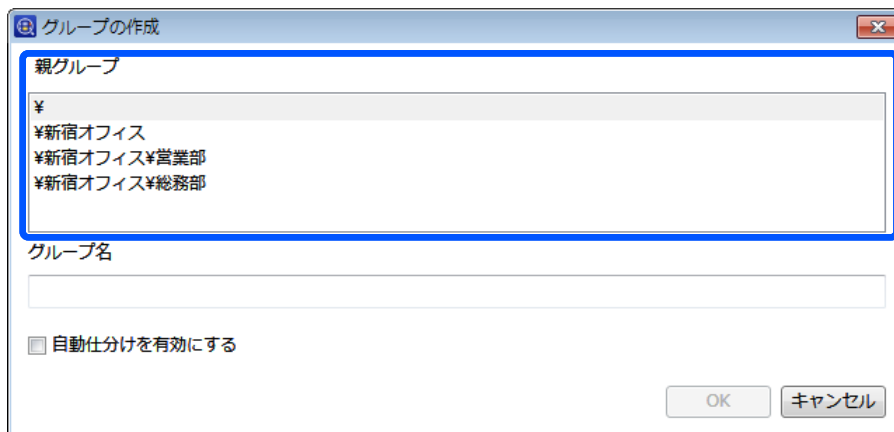
### 参考

グループは 2000 個まで作成できます。同じ階層にあるグループ数に制限はありません。

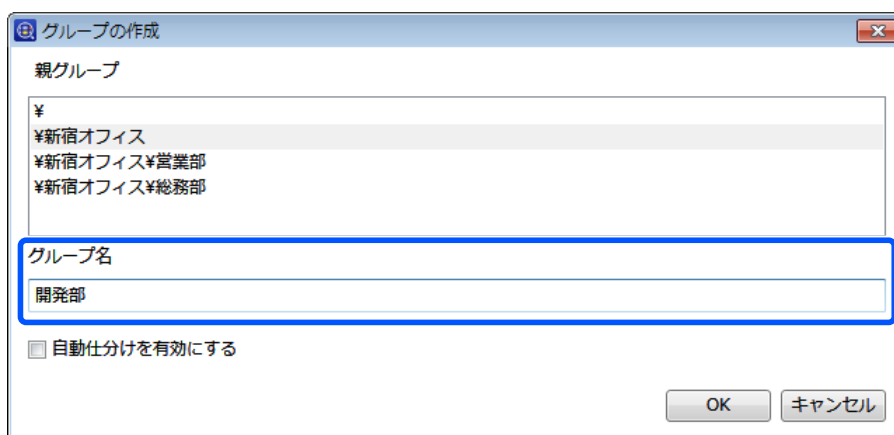
- 1 サイドバータスクメニューで〔デバイス〕を選択します。
- 2 リボンメニューの〔グループ〕タブをクリックします。
- 3 〔新規〕をクリックします。



- 4 〔親グループ〕から親になるグループを選択します。  
初めて作成する場合は、〔ユーザー定義グループ〕を親グループとして階層が作られます。グループは 8 階層まで作成できます。

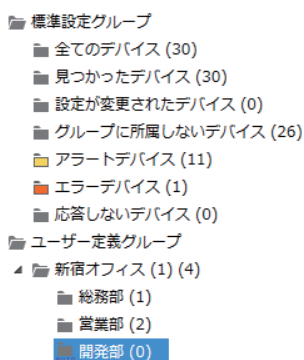


- 5 〔グループ名〕欄に作成するグループ名を入力します。  
グループ名はUnicodeで表すことのできる文字で256文字以内で入力してください。ただし¥と;は使用できません。



**6** [OK] をクリックします。

新規作成したグループがツリービューに追加されます。

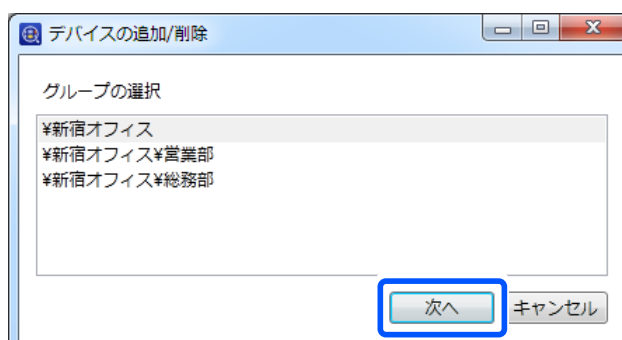


**7** リボンメニューの「デバイスの追加 / 削除」をクリックします。



**8** デバイスを追加するグループを選択して「次へ」をクリックします。

デバイスの一覧が表示されます。

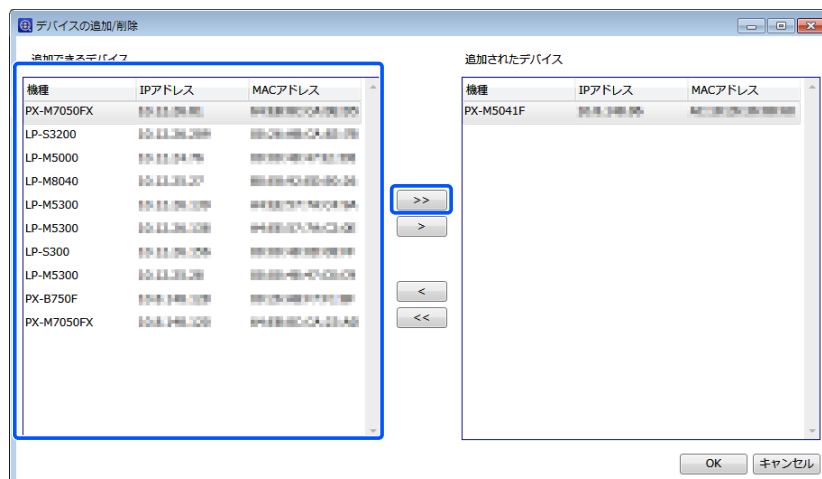


## 9 登録するデバイスを選択します。

「追加できるデバイス」でグループへ追加するデバイスを選択して「>」をクリックします。

### 参考

グループから削除するには「追加されたデバイス」でデバイスを選択して「<」をクリックします。



## 10 「OK」をクリックします。

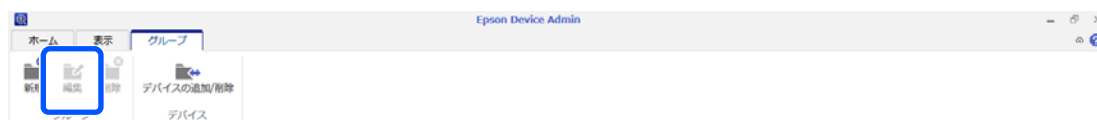
## グループの編集

作成済みのグループ名や上位の親グループを変更します。

### 1 サイドバータスクメニューで「デバイス」を選択します。

### 2 リボンメニューの「グループ」タブをクリックします。

### 3 編集するグループを選択し「編集」をクリックします。



4 【親グループ】 から編集するグループ名を選択します。

グループの編集

親グループ

- ¥
- ¥新宿オフィス
- ¥新宿オフィス¥総務部
- ¥新宿オフィス¥開発部

グループ名

営業部

☐ 自動仕分けを有効にする

OK キャンセル

5 【グループ名】 欄のグループ名を変更します。  
親グループを変更したいときは、親グループ名から入力します。

グループの編集

親グループ

- ¥
- ¥新宿オフィス
- ¥新宿オフィス¥総務部
- ¥新宿オフィス¥開発部

グループ名

第一営業部

☐ 自動仕分けを有効にする

OK キャンセル

6 【OK】 をクリックします。  
ツリービューに変更が反映されます。

- 標準設定グループ
  - 全てのデバイス (17)
  - 見つかったデバイス (3)
  - 設定が変更されたデバイス (0)
  - グループに所属しないデバイス (1)
  - アラートデバイス (4)
  - エラーデバイス (1)
  - 応答しないデバイス (0)
- ユーザー定義グループ
  - 新宿オフィス (16) (16\*)
    - 第一営業部 (5)
    - 総務部 (5)
    - 開発部 (3)



## グループの削除

1 サイドバータスクメニューで【デバイス】を選択します。

2 リボンメニューの【グループ】タブをクリックします。

3 削除するグループを選択し【削除】をクリックします。

削除確認のダイアログボックスが表示されます。

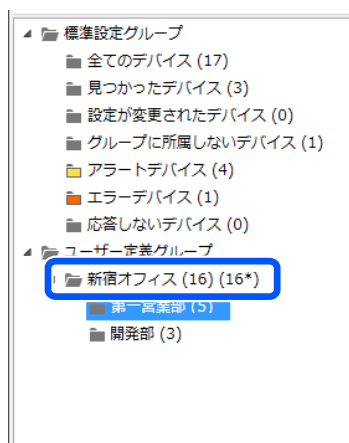
削除するグループが階層の上位にある場合、下位のグループも削除します。



4 【OK】をクリックします。

ツリービューに変更が反映されます。

削除したグループのみに属していたデバイスは【グループに所属しないデバイス】に表示されます。



---

# デバイスの管理

---

この章では複数のデバイスに個別または一括して設定する方法を説明します。

## デバイスの設定

ネットワーク上のデバイスを個別または一括して設定、変更できます。設定情報をテンプレート化して適用したり、設定内容を SYLK ファイルに書き出して管理することもできます。

設定方法の詳細は以下をご覧ください。

設定テンプレート

[「設定テンプレート」 38 ページ](#)

デバイスのプロパティとデバイス内蔵 Web サーバー

[「デバイスを一台ずつ設定」 45 ページ](#)

一括設定

[「一括設定」 118 ページ](#)

## 設定テンプレート

設定テンプレートを使用してデバイスを設定します。設定テンプレートはデバイスのプロパティの設定をテンプレート化して、他のデバイスに適用します。保存、インポートができるので、特定のデバイスに依存しないで設定情報を管理できます。

以下の設定テンプレートはプリセットとしてあらかじめ設定されています。

- 工場出荷時設定（ネットワーク I/F）  
デバイスのネットワークインターフェイスの設定を工場出荷時の設定に戻します。
- 工場出荷時設定（全て）  
デバイスの設定をすべて工場出荷時の設定に戻します。

---

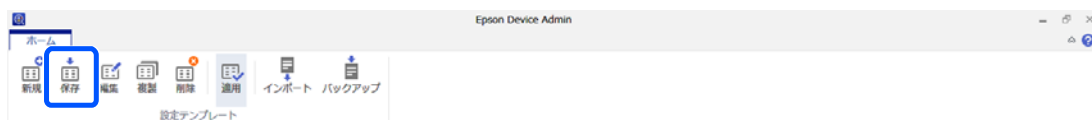
## 設定テンプレートの作成

元になるデバイスの設定を流用してテンプレートを作成します。

- 設定テンプレート管理画面から作成  
設定テンプレートの元になるデバイスを候補の中から選択して作成します。
- デバイス管理画面から作成  
デバイスリストで設定テンプレートの元になるデバイスを選択してから作成します。

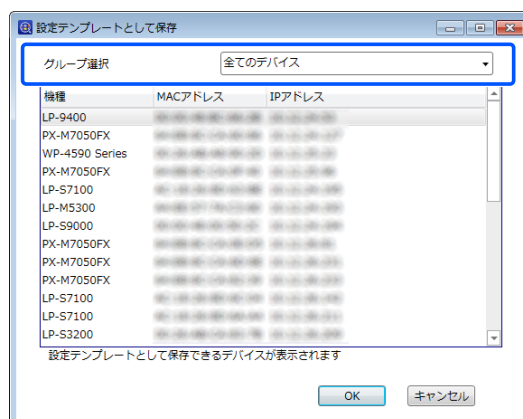
### 設定テンプレート管理画面から作成

- 1 サイドバータスクメニューで「設定」を選択します。
- 2 「保存」をクリックします。  
デバイス選択画面が表示されます。



### 3 設定の元となるデバイスを選択します。

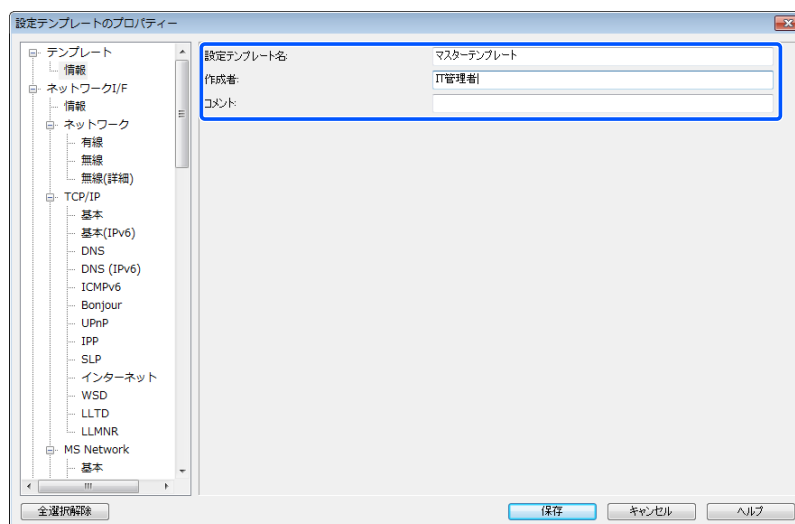
[グループ選択] メニューでデバイスが登録されているグループを選択できます。  
設定の元となるデバイスはユニキャストで通信可能で、設定したい機能をサポートしている必要があります。



### 4 【OK】 をクリックします。

設定テンプレート情報編集画面が表示されます。

### 5 各項目に情報を入力します。

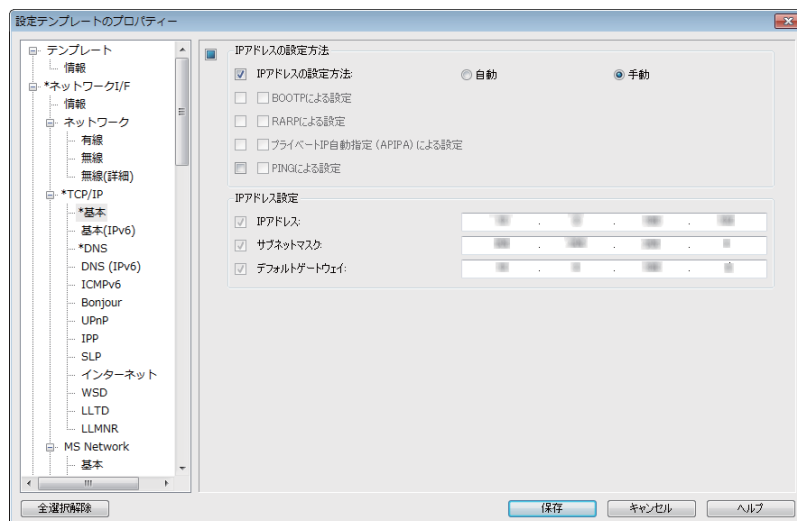


項目	説明
設定テンプレート名	設定テンプレートの名称です。 Unicode で表すことのできる文字で、1024 文字以内で入力します。
作成者	テンプレートの作成者情報です。 Unicode で表すことのできる文字で、1024 文字以内で入力します。
コメント	任意の情報を入力します。 Unicode で表すことのできる文字で、1024 文字以内で入力します。

## 6 設定値にしたい項目の横にあるチェックボックスをチェックします。

### 参考

書き込みのみができる項目は、デバイスから値を取得できないので値が空になっています。設定する場合は手動で入力してください。



## 7 [保存] をクリックします。 テンプレートが保存されます。

## デバイス管理画面から作成

- 1 サイドバータスクメニューで「デバイス」を選択します。
- 2 デバイスリストから設定の元となるデバイスを選択します。  
設定の元となるデバイスはユニキャストで通信可能で、設定したい機能をサポートしている必要があります。
- 3 リボンメニューの「設定テンプレートとして保存」をクリックします。  
設定テンプレート情報編集画面が表示されます。



### 参考

選択したデバイスで右クリックして表示されるメニューからも選択できます。

## 4 設定テンプレートの情報を入力します。 設定項目の詳細は前項「設定テンプレート管理画面から作成」の手順 5 をご覧ください。

5 必要に応じて設定値を変更し、テンプレートとして保存したい項目をチェックします。

6 [保存] をクリックします。  
テンプレートが保存されます。

## 設定テンプレートの適用

作成した設定テンプレートの設定情報をグループまたは個々のデバイスに適用します。  
設定テンプレートのチェックのある項目で、設定対象デバイスで利用できる項目が適用されます。  
適用方法には以下があります。

- デバイスを選択して適用  
デバイスリストからデバイスを選択してから設定テンプレートを選択します。デバイスの情報を一覧で確認しながら適用するデバイスを選択できます。
- 設定テンプレートを選択して適用  
設定テンプレート管理画面から設定テンプレートを選択してからデバイスを選択します。設定テンプレートの内容を一覧で確認できます。

## デバイスを選択して適用

1 サイドバータスクメニューで [デバイス] を選択します。

2 デバイスリストから設定テンプレートを適用するデバイスを選択します。

### 参考

複数選択するときは、[Ctrl] または [Shift] を押したままクリックして選択してください。

3 リボンメニューの [設定テンプレートを適用] をクリックします。

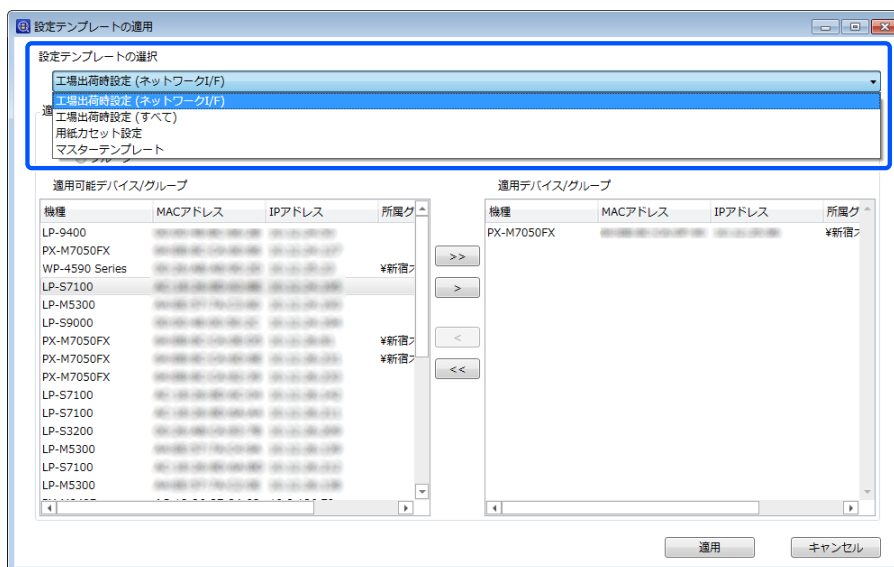
デバイス選択画面が表示されます。



### 参考

選択したデバイスで右クリックして表示されるメニューからも選択できます。

## 4 【設定テンプレートの選択】で適用する設定テンプレートを選択します。



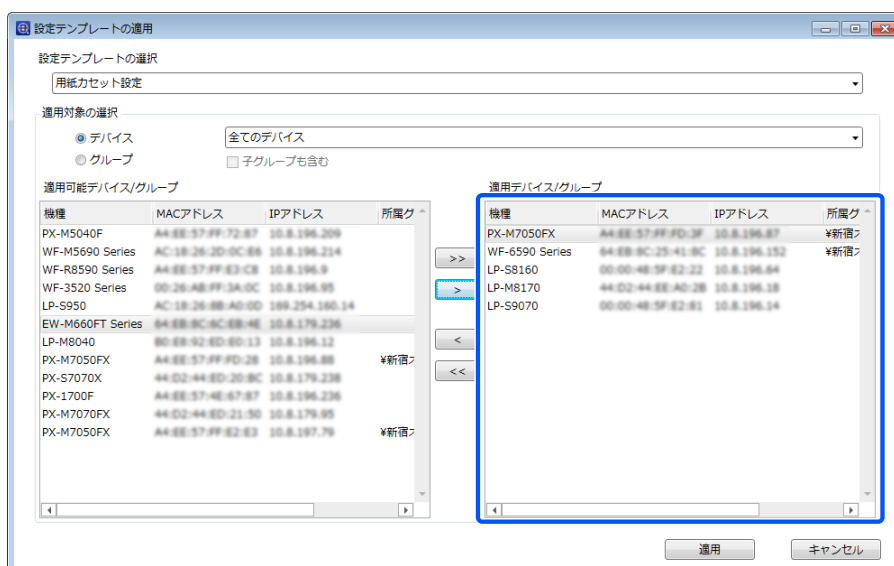
## 5 設定テンプレートを適用するデバイスがリストされているか確認します。

左側の欄にリストされているデバイスが適用対象です。変更するには [>]、[>>]、[<]、[<<] を使ってデバイスまたはグループを移動します。

[>] は選択したデバイスまたはグループ、[>>] はすべてのデバイスまたはグループを移動できます。

### 参考

- [デバイス] を選択してプルダウンメニューからデバイスが登録されているグループを選択すると、個々のデバイスが表示されます。
- [グループ] を選択すると、グループが表示されます。[子グループも含む] にチェックを入れると、グループを選択したときに子グループも自動的に選択します。

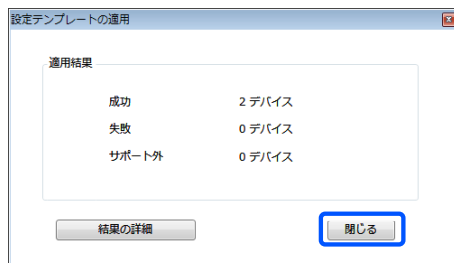


## 6 【適用】をクリックします。

設定テンプレート適用の実行確認画面が表示されます。

- 7 **【OK】** をクリックします。  
適用結果の確認画面が表示されます。

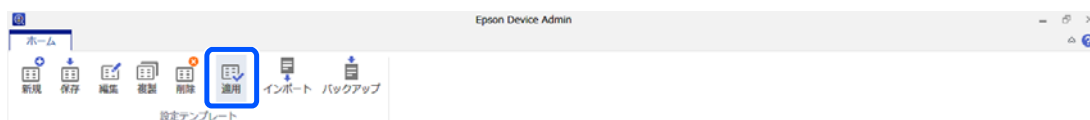
- 8 内容を確認して**【閉じる】** をクリックします。



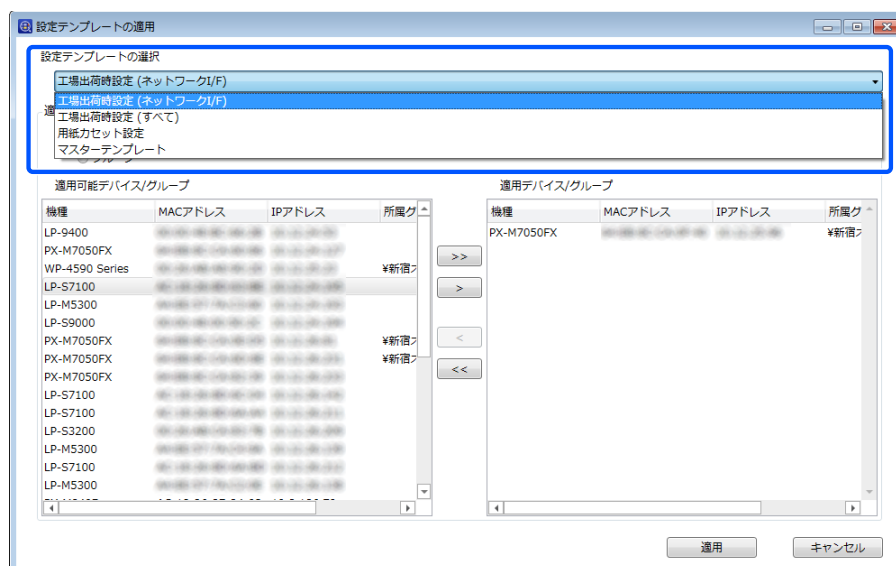
**【結果の詳細】** をクリックすると、詳細情報を確認できます。

## 設定テンプレートを選択して適用

- 1 サイドバータスクメニューで**【設定】** を選択します。
- 2 **【適用】** をクリックします。  
デバイス選択画面が表示されます。



- 3 **【設定テンプレートの選択】** で適用する設定テンプレートを選択します。

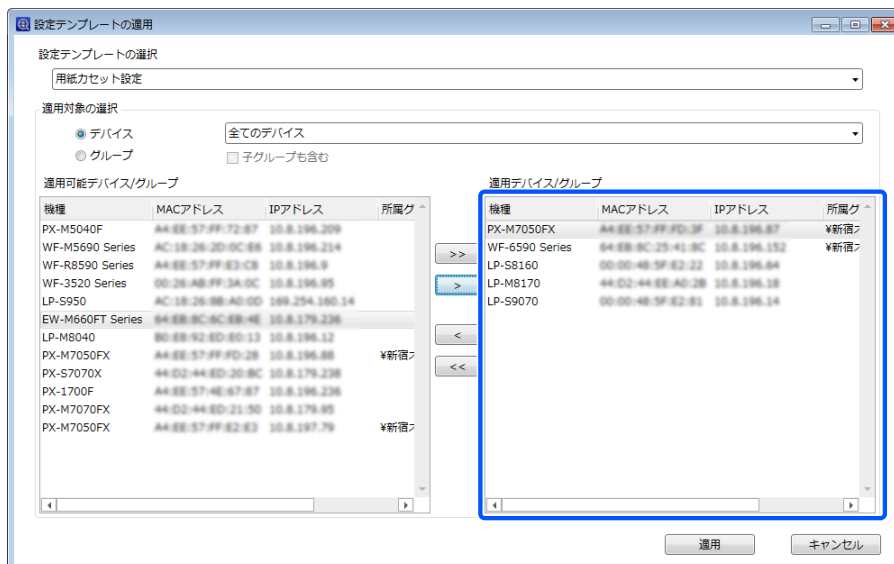


- 4 設定テンプレートを適用するデバイスを選択します。  
左側の欄にリストされているデバイスが適用対象です。**[>]**、**[>>]**、**[<]**、**[<<]** を使ってテンプレートを適用するデバイスまたはグループを右側の欄に移動します。

[>] は選択したデバイスまたはグループ、[>>] はすべてのデバイスまたはグループを移動できます。

**参考**

- [デバイス] を選択してプルダウンメニューからデバイスが登録されているグループを選択すると、個々のデバイスが表示されます。
- [グループ] を選択すると、グループが表示されます。[子グループも含む] にチェックを入れると、グループを選択したときに子グループも自動的に選択します。



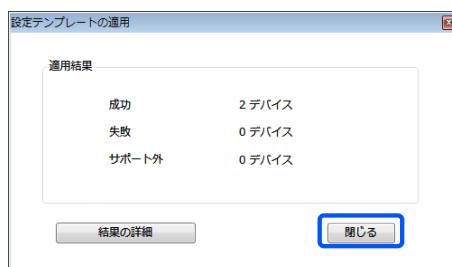
**5** [適用] をクリックします。

設定テンプレート適用の実行確認画面が表示されます。

**6** [OK] をクリックします。

適用結果の確認画面が表示されます。

**7** 内容を確認して [閉じる] をクリックします。



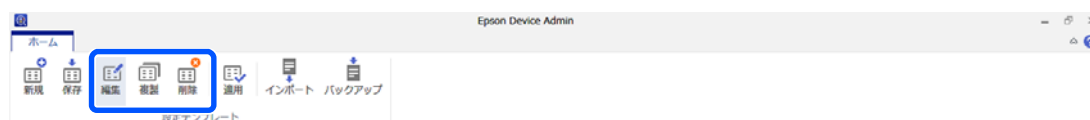
[結果の詳細] をクリックすると、詳細情報を確認できます。



## 設定テンプレートの編集

保存した設定テンプレートは、変更、複製、削除できます。

- 1 サイドバータスクメニューで「設定」を選択します。
- 2 編集する設定テンプレートを選択します。
- 3 編集内容に合わせ、リボンメニューから「編集」、「複製」、「削除」のいずれかをクリックします。



- 4 設定テンプレートを編集します。  
各項目では以下ができます。
- 「編集」  
選択した設定テンプレートの設定値を変更します。  
[OK] をクリックすると編集した設定テンプレートが保存されます。
  - 「複製」  
選択した設定テンプレートのコピーを作成します。  
必要に応じてテキストボックスの設定テンプレート名を編集します。[OK] をクリックするとコピーした設定テンプレートが保存されます。
  - 「削除」  
選択した設定テンプレートを削除します。  
プリセットの設定テンプレートは削除できません。確認画面で [OK] をクリックすると選択した設定テンプレートが削除されます。

## 設定テンプレートのエクスポートとインポート

保存した設定テンプレートはエクスポートとインポートができます。メンテナンスやバックアップに利用することができます。詳しくは以下をご覧ください。

[「設定テンプレート」 111 ページ](#)

## デバイスを一台ずつ設定

### デバイスのプロパティ画面

デバイスのプロパティ画面からデバイスを一台ずつ設定します。

#### 参考

スケジュールを使って定期的にデバイス情報を収集していると、デバイス設定はできません。

1 サイドバータスクメニューで「デバイス」を選択します。

2 リボンメニューの「ホーム」タブをクリックします。

3 デバイスリストから設定するデバイスを選択します。

**参考**

複数のデバイスを選択すると設定できません。同時に複数のデバイスを設定するときは、設定テンプレートまたは一括設定で設定変更を行ってください。

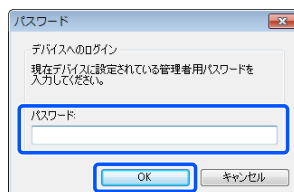
[「設定テンプレート」 38 ページ](#)

4 「デバイスの設定」をクリックします。

デバイスのプロパティ画面が表示されます。



パスワード入力画面が表示されたときは、パスワードを入力して「OK」をクリックします。



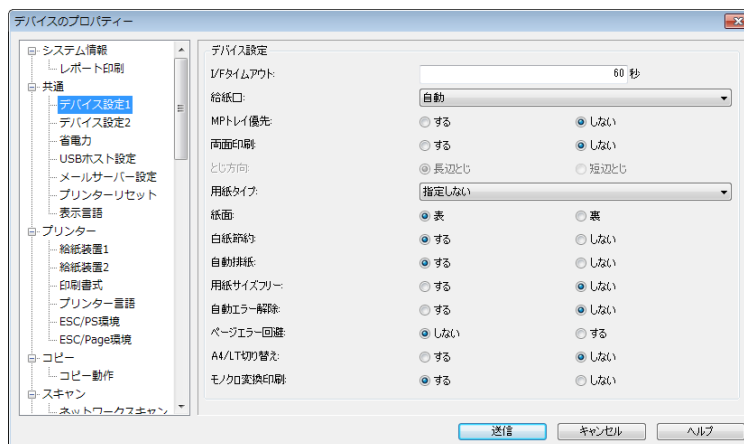
5 各項目を必要に応じて設定します。

お使いの環境に合わせてデバイスを設定します。表示される項目は機種によって異なります。

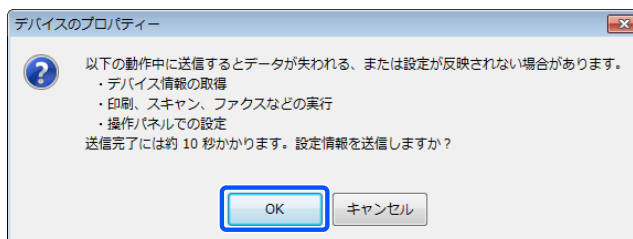
各項目の設定方法は、以下をご覧ください。

Epson Device Admin ヘルプ「デバイスのプロパティ」

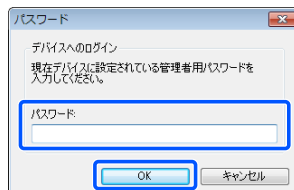
6 必要な項目を設定したら、「送信」をクリックします。



7 [OK] をクリックします。



パスワード入力画面が表示されたときは、パスワードを入力して [OK] をクリックします。

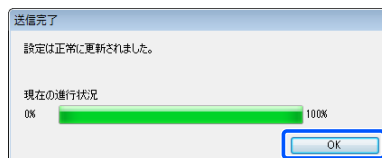


設定が送信されます。


**参考**


- 「設定は正常に更新されました。」のメッセージが表示されるまではデバイスに情報を送っています。デバイスの電源を切ったり、データをデバイスに送らないでください。
- パスワードを設定するときは、以下をご覧ください。  
[「管理者パスワードの設定」 49 ページ](#)

8 [OK] をクリックします。



9 設定が有効になるまで最大 3 分かかります。  
その間はデバイスの電源を切らないでください。

設定中のデバイスはデバイスリストで  アイコンが表示されます。

- 3 分以上経っても  アイコンが消えないときは、デバイスの状態を確認してください。
- IP アドレスでの通信ができなかったデバイスにはデバイス ID に ! が表示されます。IP アドレスがお使いの環境で有効な値に設定されているか確認してください。

## デバイス内蔵 Web サーバーから設定する

IPv4 アドレスがユニキャストで通信できる IP アドレスに設定されているとき、内蔵 Web サーバー（Web Config または EpsonNet Config（Web）、Remote Manager）を起動できます。

1 サイドバータスクメニューで【デバイス】を選択します。

2 リボンメニューの【ホーム】タブをクリックします。

3 デバイスリストから設定するデバイスを選択します。

### 参考

複数のデバイスを選択すると設定できません。同時に複数のデバイスを設定するときは、設定テンプレートまたは一括設定で設定変更を行ってください。

[「設定テンプレート」 38 ページ](#)

4 【内蔵 Web サーバー】をクリックします。

デバイスの内蔵 Web サーバーが表示されます。



### 参考

- 【内蔵 Web サーバー】を選択できないときは、IP アドレスが工場出荷時以外（ユニキャスト通信できる IP アドレス）になっているか、または IP アドレスが重複していないか確認してください。
- Web 版設定ユーティリティを起動すると、「この Web サイトのセキュリティ証明書には問題があります。」の警告ページが表示されることがあります。（表示される画面はブラウザによって異なります。）これは、デバイスがお客様の個人情報を保護するために全てのページで SSL 通信（暗号化通信）を行っているためです。この場合、「このサイトの閲覧を続行する（推奨されません）」をクリックしてください。

5 各項目を必要に応じて設定します。

お使いの環境に合わせてデバイスを設定します。表示される項目はデバイスによって異なります。

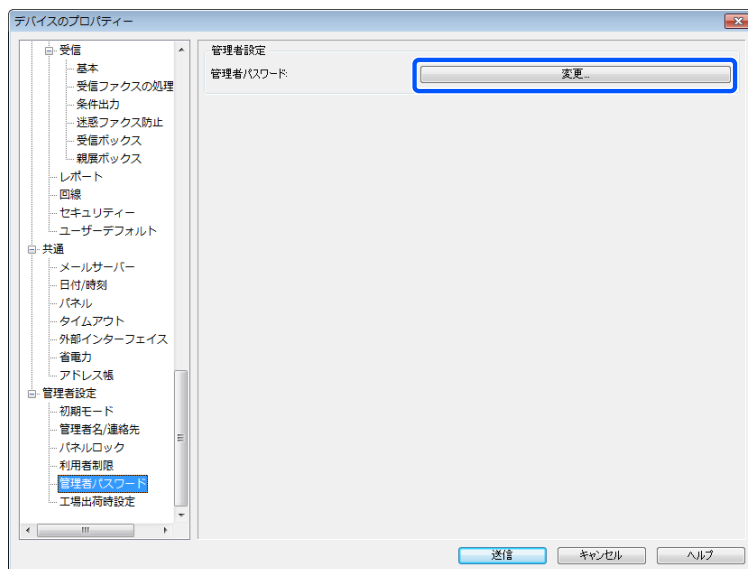
# 管理者パスワードの設定

管理者パスワードは、デバイスの設定を保護するためのものです。工場出荷時の状態では、パスワードは設定されていません。

## 個別に設定

デバイスのプロパティ画面からパスワードを一台ずつ設定します。

- 1 サイドバータスクメニューで【デバイス】を選択します。
- 2 設定するデバイスを選択します。  
デバイスが表示されないときは、デバイスの電源が入っているか、コンピューターと同一セグメントにデバイスがあるかを確認してください。
- 3 リボンメニューの【ホーム】タブで【デバイスの設定】をクリックします。
- 4 【管理者設定】 - 【管理者パスワード】 をクリックしてから、新しいパスワードと新しいパスワード（確認）にパスワードを入力します。



- 5 必要な項目を設定したら、【送信】をクリックします。  
設定が有効になるまで最大3分かかります。その間はデバイスの電源を切らないでください。

### 参考

デバイスの管理者パスワードは、ネットワーク設定で利用する各ソフトウェア共通で使います。管理者パスワードの管理に注意してください。

## パスワードの一括管理

Epson Device Admin にデバイスのパスワードを記録できます。

### 自動パスワード管理

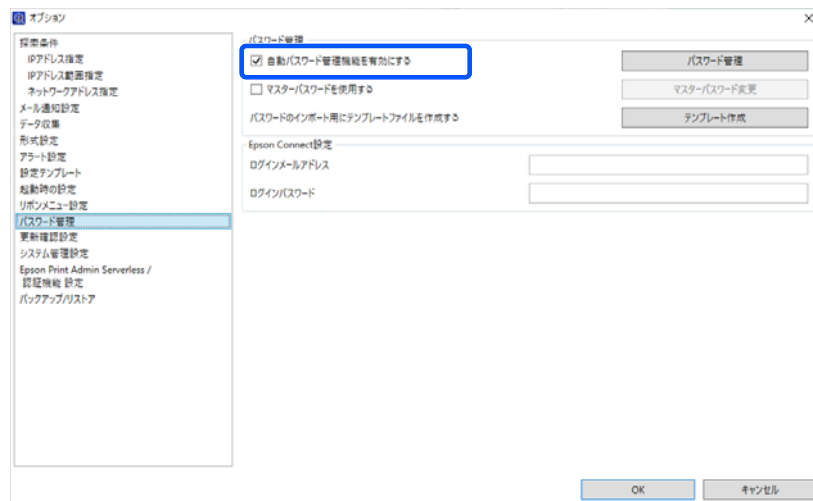
自動パスワード管理機能では、一度管理者用パスワードが認証されると、次回からパスワード入力をしないで設定を変更できます。パスワード情報は認証後にデバイスの MAC アドレスに関連付けて本ソフトウェアのデータベースに保存されます。

パスワード情報の保存後にデバイスのパスワードを変更した場合は、次回の認証時にパスワード入力が必要です。変更したパスワードが認証されると保存されているパスワード情報が更新されます。

#### 参考

デバイスの一括設定とファームウェア更新の場合、この機能は無効になります。設定や更新するときにパスワードを入力してください。

- 1 サイドバータスクメニューで【デバイス】を選択します。
- 2 リボンメニューで【オプション】をクリックします。
- 3 【パスワード管理】を選択します。
- 4 【自動パスワード管理機能を有効にする】にチェックを入れます。



- 5 【OK】をクリックします。

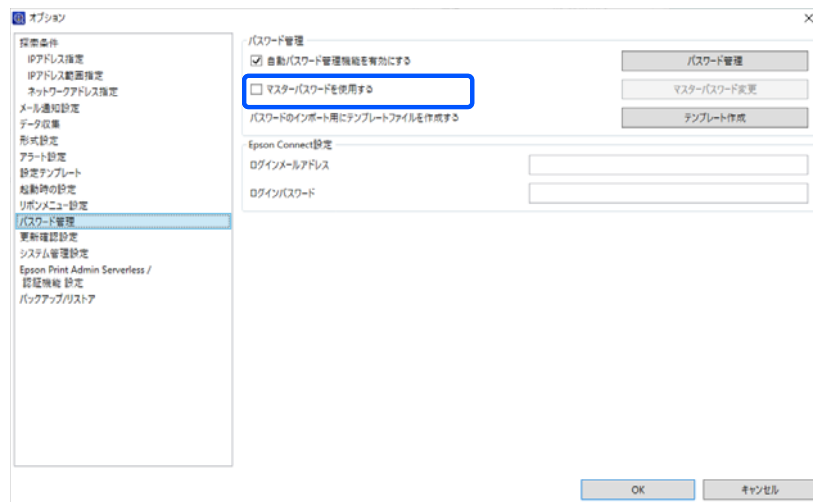
### マスターパスワードの設定

マスターパスワードを設定すると、パスワードリストを表示するときに、パスワードの入力が必要になります。

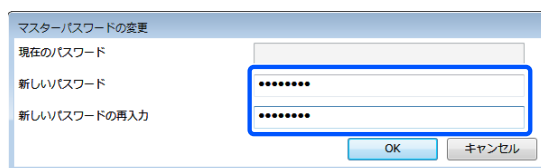
#### マスターパスワードの新規設定

マスターパスワードを新規設定します。一度設定すると変更する場合にパスワードの入力が必要です。

- 1 【オプション】 - 【パスワード管理】 を選択します。
- 2 【マスターパスワードを使用する】 にチェックを入れます。  
マスターパスワードの変更画面が表示されます。



- 3 【新しいパスワード】、【新しいパスワードの再入力】 に任意のマスターパスワードを入力します。  
パスワードは ASCII 文字で 20 文字以内で入力してください。



- 4 【OK】 をクリックします。

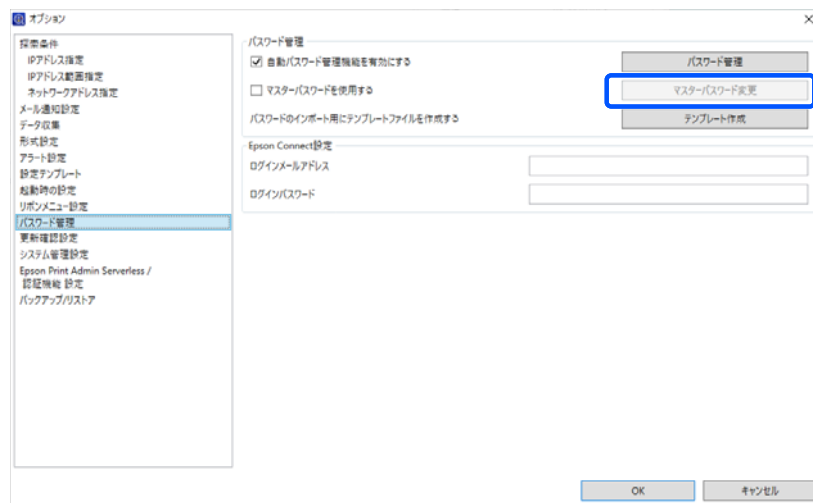
## マスターパスワードの変更

マスターパスワード設定の変更にはパスワードの入力が必要です。

### 参考

【マスターパスワードを使用する】 のチェックを外す場合もパスワードの入力が必要です。

- 1 【オプション】 - 【パスワード管理】 を選択します。
- 2 【マスターパスワード変更】 をクリックします。  
マスターパスワードの変更画面が表示されます。



- 3 [現在のパスワード] に設定されているマスターパスワードを入力します。

- 4 任意のマスターパスワードを [新しいパスワード] へ入力して同じパスワードを [新しいパスワードの再入力] へ入力します。

パスワードは ASCII 文字で 20 文字以内で入力してください。

- 5 [OK] をクリックします。

## リストを使った管理者用パスワードの編集

パスワード管理リストを使ってデバイスの管理者用パスワードを編集します。  
パスワード管理リストのバックアップ、リストアについては以下をご覧ください。

[「パスワード設定」104 ページ](#)

### パスワードの追加と編集

管理者用パスワードを追加または変更します。

- 1 [オプション] - [パスワード管理] を選択します。

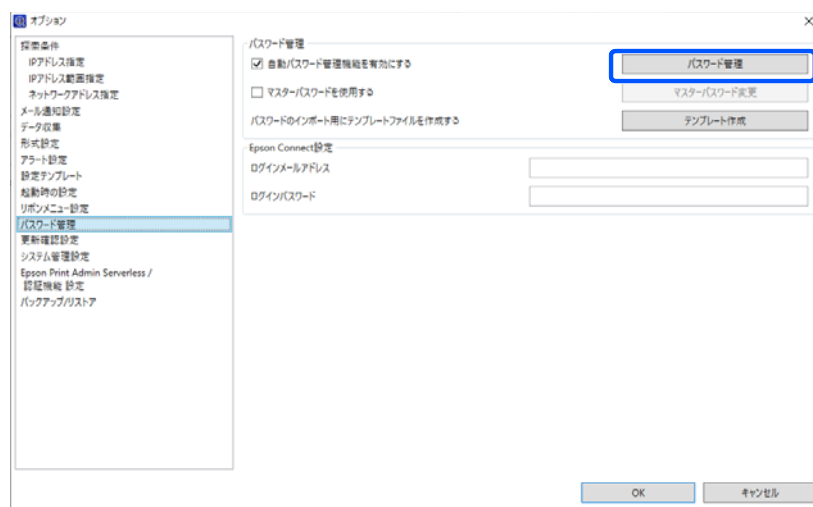
- 2 [パスワード管理] をクリックします。

パスワード管理画面が表示されます。



**参考**

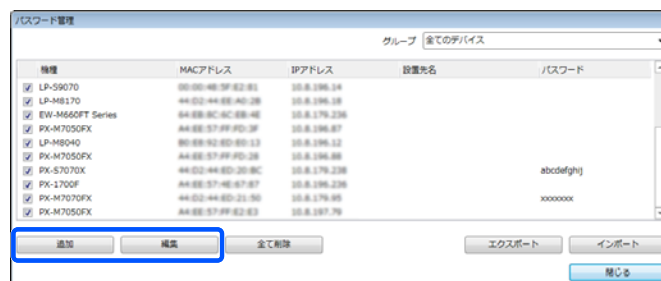
マスターパスワードが設定されている場合はパスワードの入力が必要です。



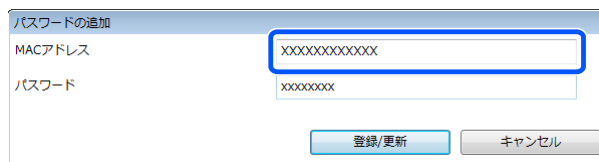
- 3** 新規で設定する場合は「追加」、設定変更する場合はデバイスを選択して「編集」をクリックします。  
パスワードの追加画面が表示されます。

**参考**

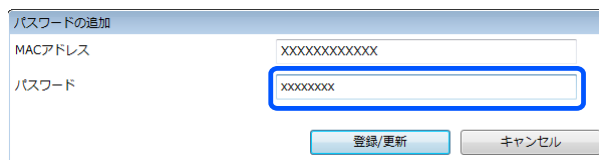
「グループ」でデバイスのグループ表示を変更できます。



- 4** 新規で設定する場合は設定するデバイスの **MAC アドレス** を入力します。  
変更する場合は登録されている MAC アドレスが表示されます。編集はできません。



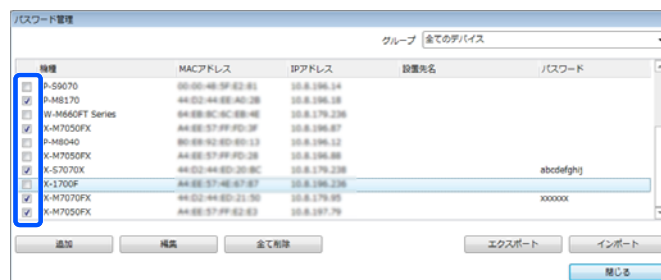
- 5** 任意のパスワードを「パスワード」へ入力します。  
パスワードは ASCII 文字で 20 文字以内で入力してください。



## 6 管理を有効にしたいデバイスをチェックします。

チェックがある場合：自動認証、パスワードの自動保存が有効になります。

チェックがない場合：自動認証、パスワードの自動保存が無効になります。



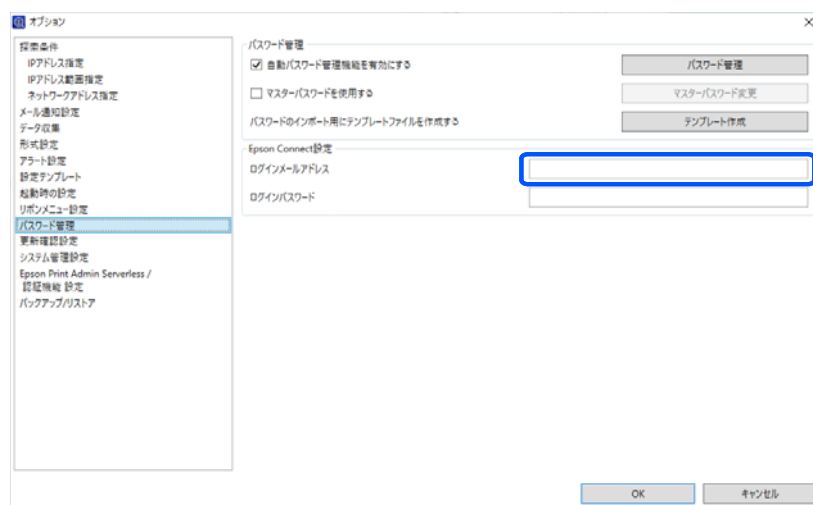
## Epson Connect のログイン情報の登録

Epson Connect アカウントのログイン情報を登録します。

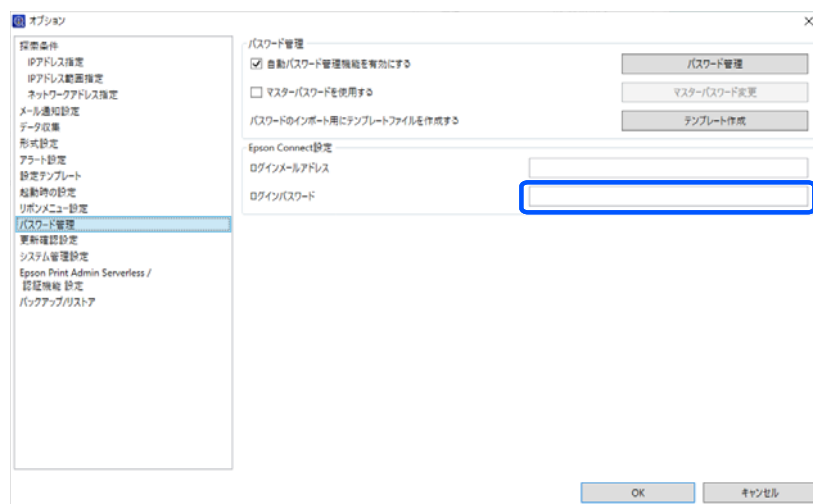
### 参考

- 事前に Epson Connect のウェブサイトでアカウントの登録が必要です。
- 本機能は一部の対応機種でのみ利用できます。

## 1 ログインで使用するメールアドレスを入力します。



## 2 ログインで使用するパスワードを入力します。



## 各種宛先帳の登録

メールアドレスや保存先フォルダー、ファクスの短縮番号などを製品から取り込み、編集できます。

## 個別に編集

一括設定する場合は、以下をご覧ください。

[「一括で登録」58 ページ](#)

### 参考

本機能は一部の対応機種でのみ利用できます。

1 サイドバータスクメニューで【デバイス】を選択します。

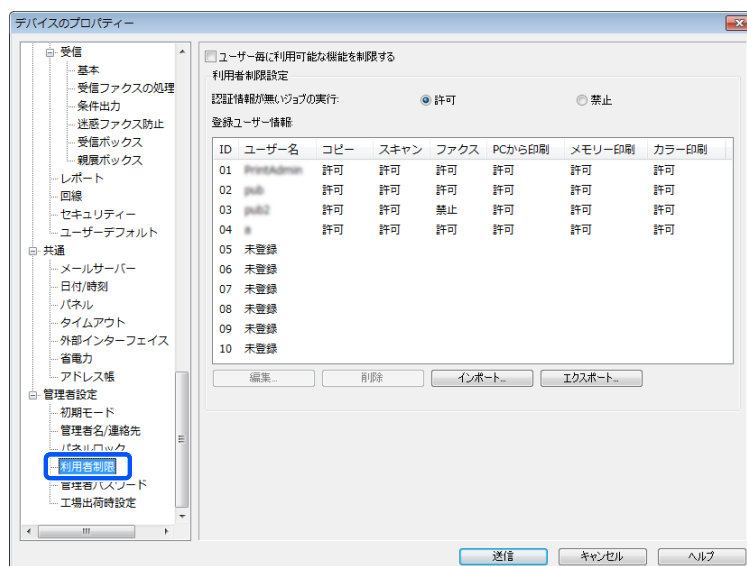
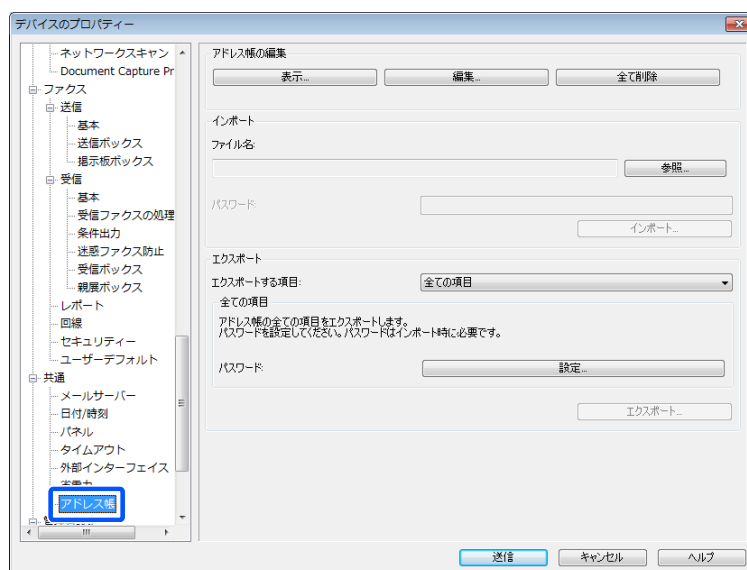
2 デバイスリストで設定するデバイスを選択します。

3 リボンメニューの【ホーム】タブから【デバイスの設定】をクリックします。

4 以下から宛先を編集したい項目をクリックします。表示される項目はデバイスによって異なります。

- [共通] - [アドレス帳]
  - [管理者設定] - [利用者制限]
  - [スキャン] - [メール]
  - [スキャン] - [保存先フォルダー]
  - [ファクス] - [受信] - [保存先]
  - [ファクス] - [受信] - [メール]
  - [ファクス] - [ファクス番号]
- 各項目の詳細は、以下をご覧ください。

## Epson Device Admin ヘルプ「デバイスのプロパティ」

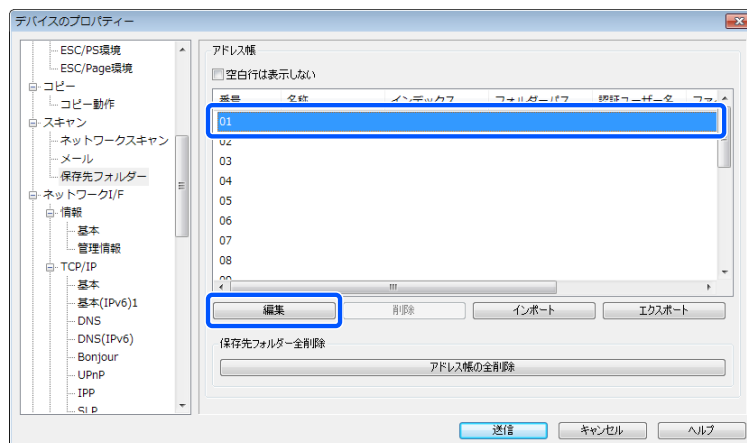


5

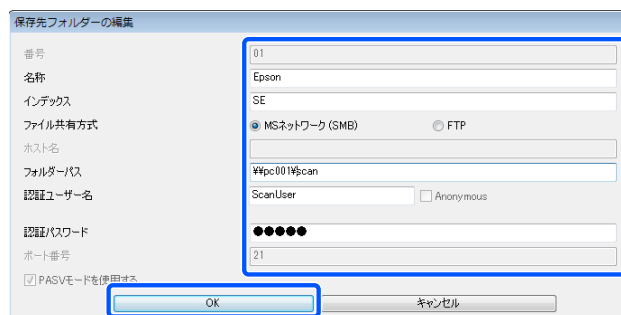
【編集】をクリックします。

【管理者設定】 - 【利用制限】画面、スキャンの【メール】 / 【保存先フォルダー】画面、ファクスの【受信】 - 【保存先】 / 【受信】 - 【メール】 / 【ファクス番号】画面では、この手順は不要です。手順6に進みます。

- 6 編集する番号を選択して、[編集] をクリックします。

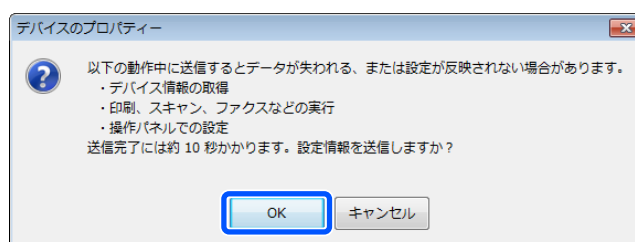


- 7 各項目を設定し、[OK] をクリックします。

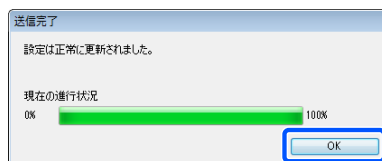


- 8 すべての設定が完了したら、[送信] をクリックします。

- 9 確認メッセージが表示され、[OK] をクリックすると設定送信が開始されます。



- 10 [OK] をクリックして送信完了です。



---

## 一括で登録

### 設定用ファイルの作成

同じ項目の情報を一括でファイルに保存して編集します。

パスワードや個人情報などセキュリティ項目を含む情報をパスワードを設定して保存することもできます。このファイルは編集できません。詳細は以下をご覧ください。

[「パスワードを設定してエクスポート」 107 ページ](#)

- 1 サイドバータスクメニューで【デバイス】を選択します。
- 2 デバイスリストで設定するデバイスを選択します。
- 3 リボンメニューの【ホーム】タブから【デバイスの設定】をクリックします。
- 4 以下から宛先を編集する項目をクリックします。表示される項目はデバイスによって異なります。

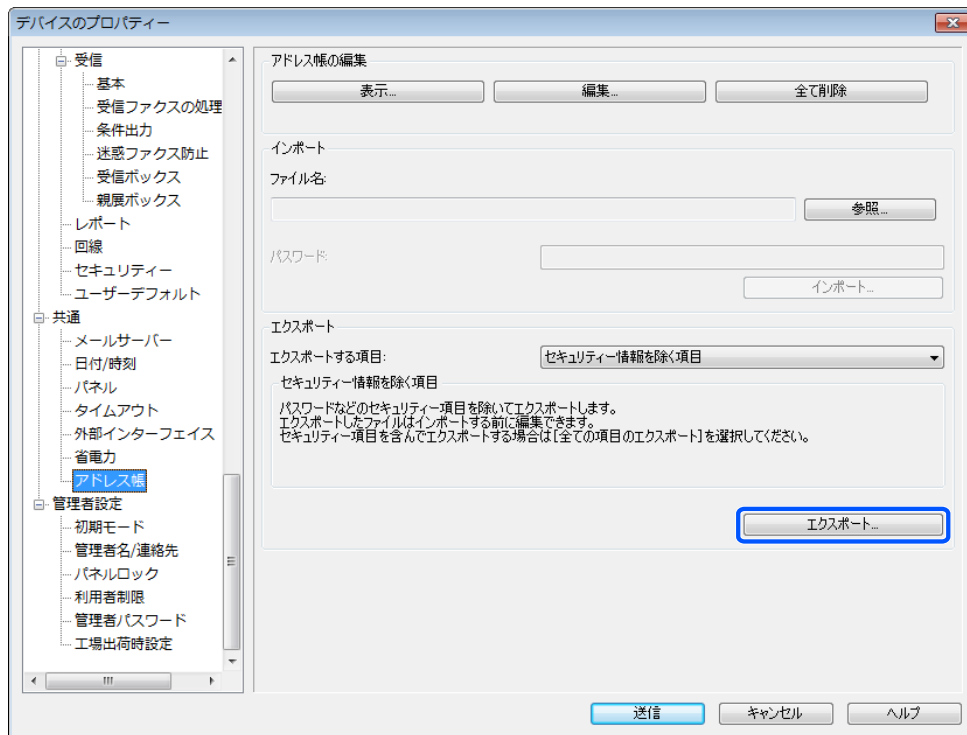
- 【共通】 - 【アドレス帳】
- 【管理者設定】 - 【利用者制限】
- 【スキャン】 - 【メール】
- 【スキャン】 - 【保存先フォルダー】
- 【ファクス】 - 【受信】 - 【メール】
- 【ファクス】 - 【ファクス番号】

各項目の詳細は、以下をご覧ください。

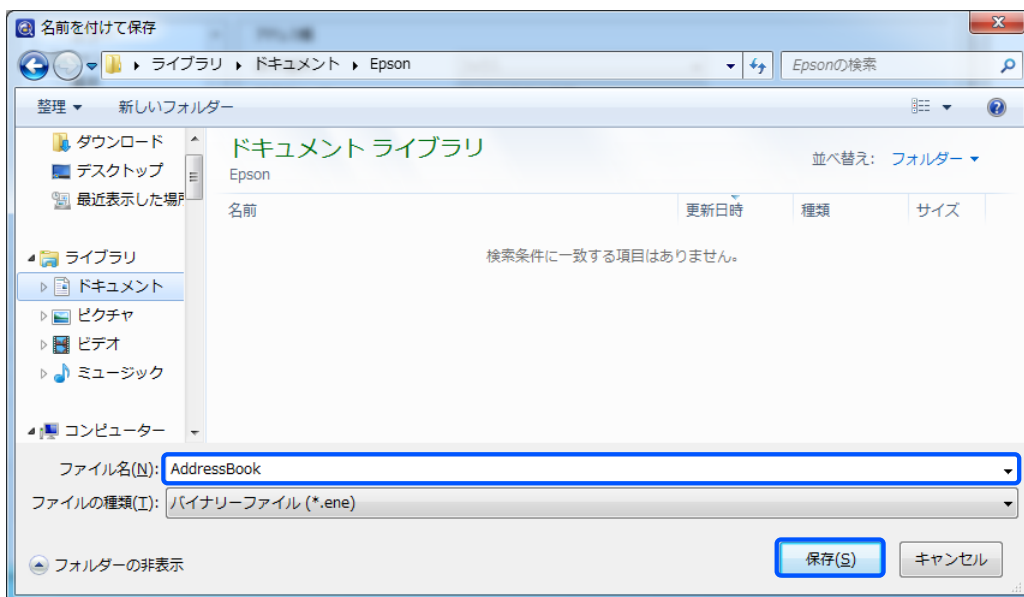
Epson Device Admin ヘルプ「デバイスのプロパティ」

- 5 エクスポート形式を選択します。  
【全ての項目】を選択した場合はファイルにパスワードを設定します。  
【管理者設定】 - 【利用者制限】画面では、【エクスポート】をクリックすると、エクスポート形式を選択する画面が表示されます。  
スキャンの【メール】 / 【保存先フォルダー】画面、ファクスの【受信】 - 【保存先】 / 【受信】 - 【メール】 / 【ファクス番号】画面ではこの手順は不要です。手順 6 に進みます。

- 6 【エクスポート】をクリックします。  
画面は、【アドレス帳】の場合です。



- 7 [ファイル名] を入力して、[保存] をクリックします。  
SYLK 形式のファイルが保存されます。



- 8 SYLK 形式のファイルを **Microsoft Excel** などの表計算ソフトやテキストエディターで開き、情報を編集します。

	1	2	3	4	5	6	7
1	Number	Name	Index	Address	Type	IsGroup	GroupIndex
2	01	ABC総務部ソムズ	001	2	0		
3	02	ABC営業部エイキョウ	002	2	0		
4	03	ABC設計1:セックイチ	003	2	0		
5	04			-1	0		
6	05			-1	0		

## 9 SYLK 形式のファイルを保存します。

### 設定用ファイルを読み込み設定

編集した設定用ファイルを読み込みます。

パスワードや個人情報などセキュリティ項目を含む情報を保存したバイナリファイルの読み込みは、以下をご覧ください。

[「セキュリティ項目を含む情報のインポート」 109 ページ](#)

## 1 サイドバータスクメニューで【デバイス】を選択します。

## 2 デバイスリストで設定するデバイスを選択します。

### 参考

複数選択するときは、[Ctrl] または [Shift] を押したままクリックして選択してください。

## 3 リボンメニューの【ホーム】タブから【デバイスの設定】をクリックします。

## 4 以下から宛先を編集する項目をクリックします。表示される項目はデバイスによって異なります。

- [共通] - [アドレス帳]
- [管理者設定] - [利用者制限]
- [スキャン] - [メール]
- [スキャン] - [保存先フォルダー]
- [ファクス] - [受信] - [メール]
- [ファクス] - [ファクス番号]

各項目の詳細は、以下をご覧ください。

Epson Device Admin ヘルプ「デバイスのプロパティ」

## 5 【参照】をクリックし、インポートするファイルを選択します。

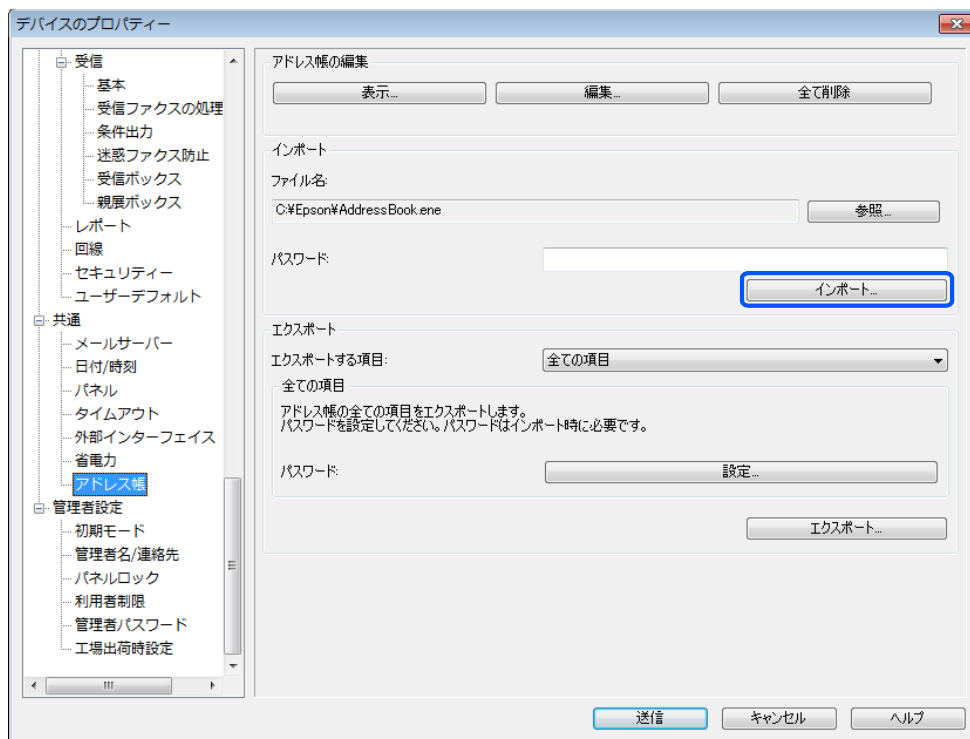
バイナリファイル（拡張子 .ene）をインポートする場合は、パスワードを入力します。

【管理者設定】 - 【利用者制限】 画面、スキャンの【メール】 / 【保存先フォルダー】 画面、ファクスの【受信】 - 【保存先】 / 【受信】 - 【メール】 / 【ファクス番号】 画面では、【インポート】をクリックするとファイル選択画面が表示されます。

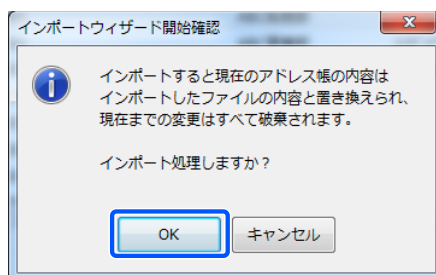
## 6 【インポート】をクリックします。

画面は、【アドレス帳】 の場合です。



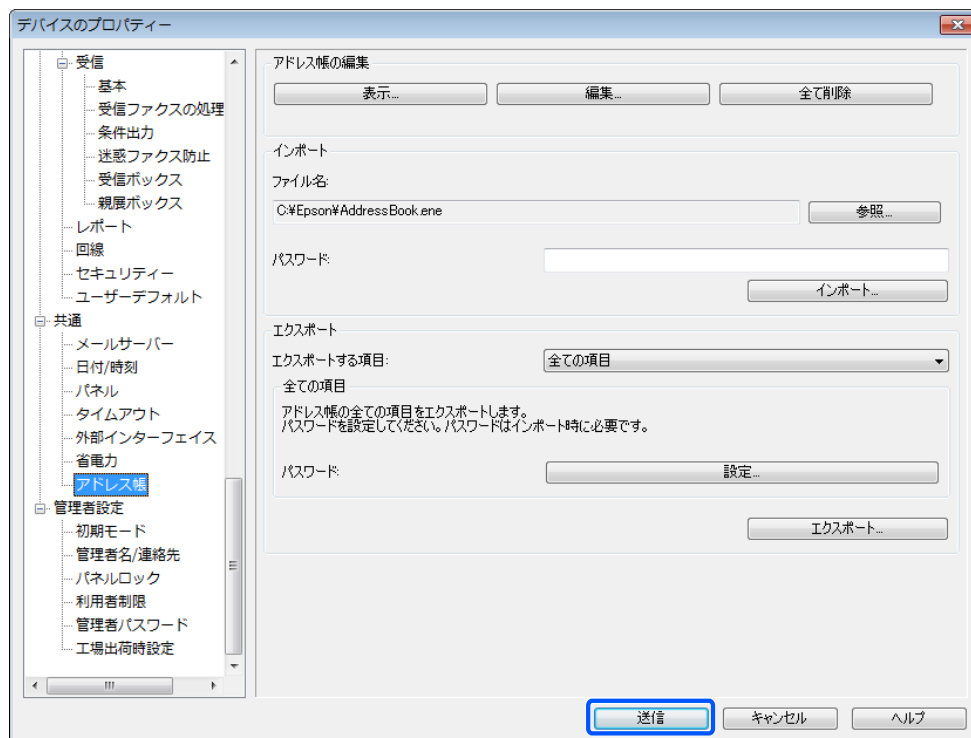


**7** インポートウィザード開始確認メッセージが表示されたら、**[OK]** をクリックします。

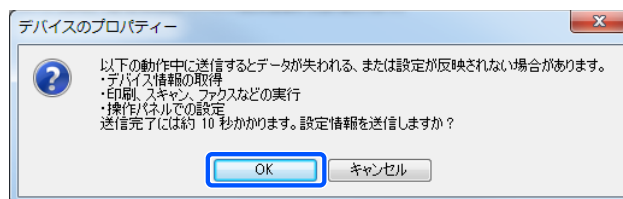


**8** **[ファイル情報]** の内容を確認し、**[インポート]** をクリックします。  
複数のファイルをインポートしたい場合は **[更にファイルを読み込む]** をクリックします。

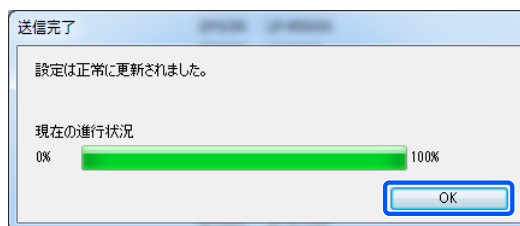
9 [送信] をクリックします。



10 確認メッセージが表示され、[OK] をクリックすると設定送信が開始されます。



11 [OK] をクリックして送信完了です。



# デバイスファームウェアの更新

最新のファームウェアを確認してデバイスのファームウェアを更新します。

## ファームウェアの更新

デバイスのファームウェアバージョンをデバイスのサイトで確認して、更新されている場合はバージョンアップします。更新はデバイスリストに登録されている機能に対応したデバイスに限られます。更新を始める前に、オプションメニューで外部サイトへのアクセスを許可するよう設定してください。

[「更新確認設定」 25 ページ](#)

1 サイドバースタスクメニューで【デバイス】を選択します。

2 リボンメニューの【ホーム】タブをクリックします。

3 【更新を確認】をクリックします。

外部サイトへアクセスして更新が確認されます。



ファームウェアが更新されていた場合は、デバイスリストに表示されます。

4 デバイスリストからファームウェアを更新するデバイスを選択します。

5 【更新】をクリックします。

ファームウェアが更新されます。

## ファームウェア更新スケジュール

デバイスのファームウェア更新のスケジュールを作成すると、スケジュールで指定した日時に自動で更新します。複数のデバイスを一括で更新できます。

### ファームウェア更新スケジュールの作成

ファームウェア更新スケジュールを作成して、更新するデバイスや更新日時を指定します。

1 サイドバースタスクメニューで【デバイス】を選択します。

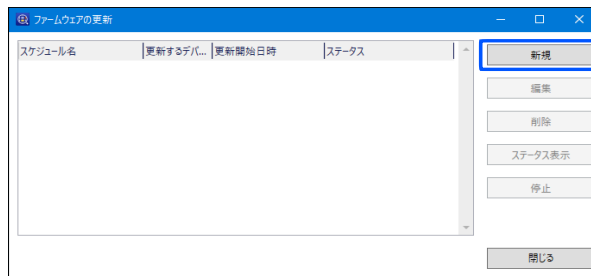
2 リボンメニューの【ホーム】タブをクリックします。

3 【更新】をクリックします。

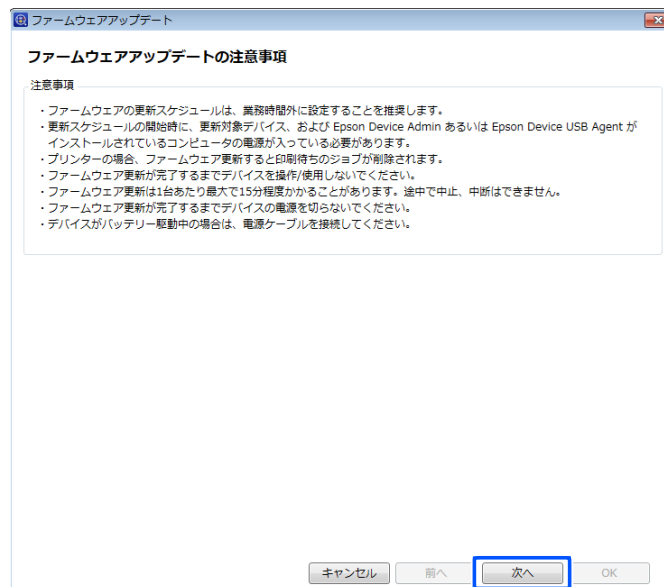
【ファームウェア更新スケジュールの管理】画面が表示されます。



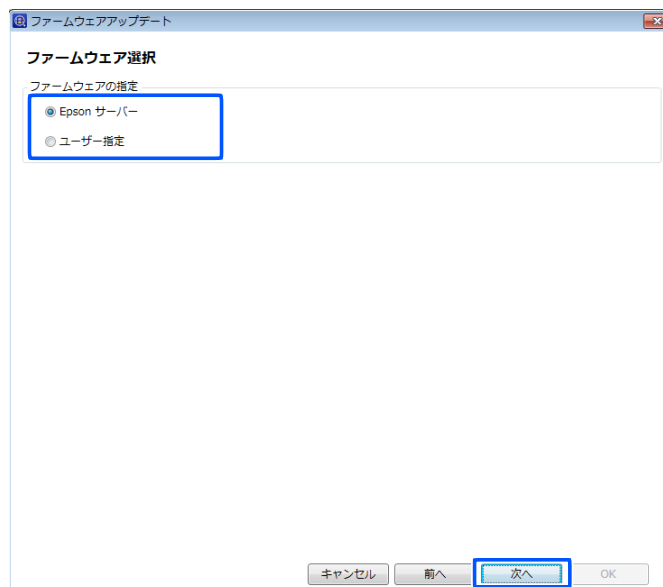
- 4 「新規」をクリックします。  
ファームウェア更新スケジュール作成のウィザードが表示されます。



- 5 ファームウェア更新の注意事項を確認し、「次へ」をクリックします。



## 6 ファームウェアの場所を選択します。

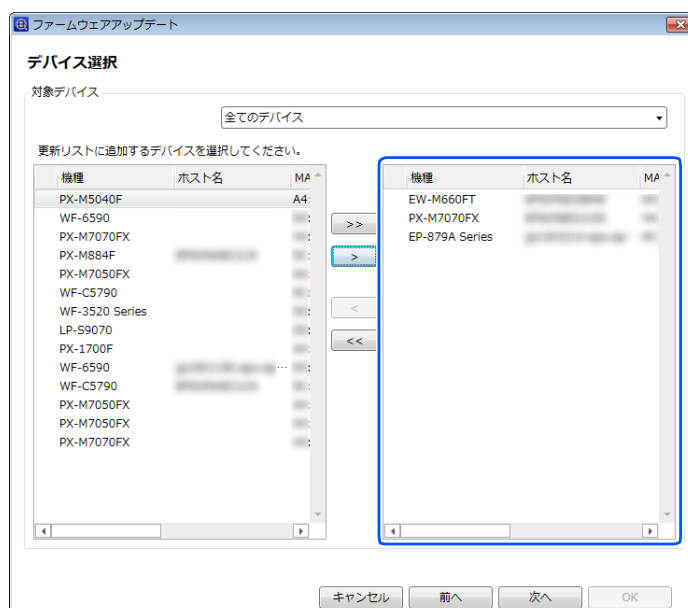


- [Epson サーバー]  
エプソンのサーバーから最新のファームウェアをダウンロードして更新します。
- [ユーザー指定]  
既存のファームウェアのファイルを指定して更新します。

## 7 [次へ] をクリックします。

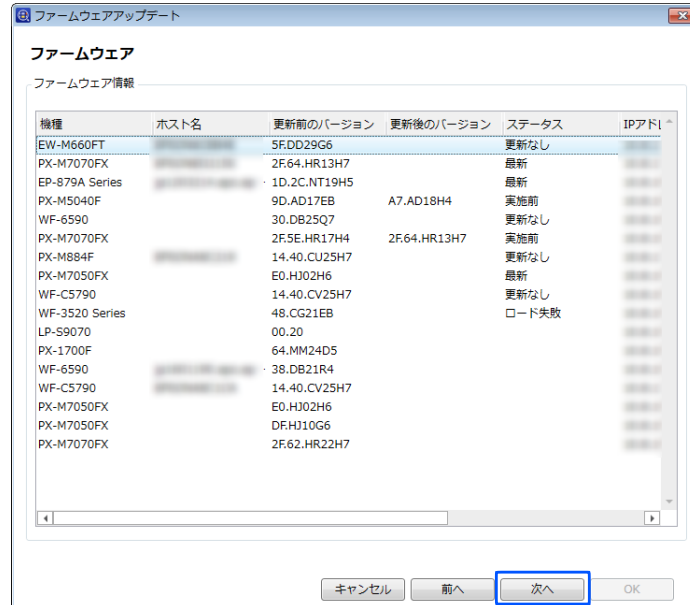
## 8 ファームウェアの更新対象のデバイスを選択します。

[グループ選択] メニューでデバイスが登録されているグループを選択できます。右の枠にリストされているデバイスが対象です。変更するには [>]、[>>]、[<]、[<<] を使ってグループを移動します。  
[>]、[<] は選択したデバイス、[>>]、[<<] はすべてのデバイスを移動できます。

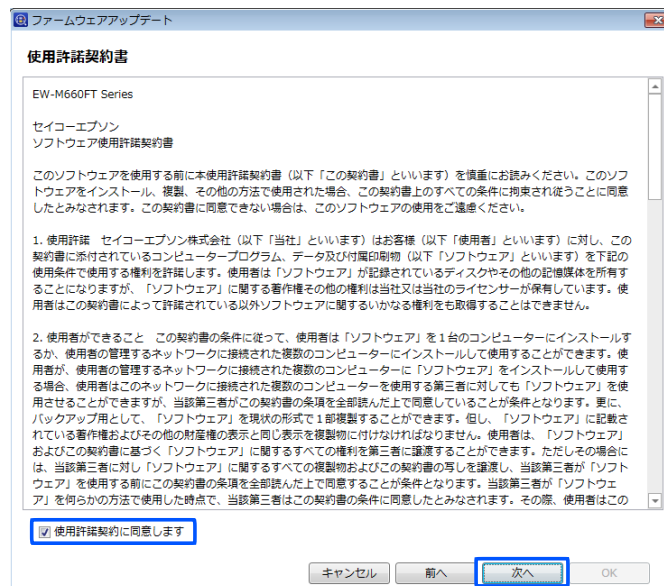


- 9 [次へ] をクリックします。  
ファームウェアがダウンロードされます。

- 10 [ステータス] で各デバイスのファームウェアのダウンロード結果を確認し、[次へ] をクリックします。



- 11 各デバイスに適用するファームウェアの使用許諾契約書を確認し、[使用許諾契約に同意します] をチェックして [次へ] をクリックします。



## 12 スケジュールを設定します。

以下を参考に設定してください。

項目	説明
スケジュール名	ファームウェア更新スケジュールの名前を入力します。(制御コード以外の Unicode で表すことができる文字 1 ～ 255 文字)
更新開始日時	<p>スケジュールを開始するタイミングを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>登録後すぐに開始する [OK] をクリックしてスケジュールを保存後に開始します。</li> <li>開始日時を指定する スケジュールを開始する日時を指定します。設定できる単位は 1 分です。</li> <li>曜日と日時を指定する スケジュールを曜日で指定し、開始する日付と時間帯を設定します。</li> </ul>

## 13 [OK] をクリックします。

ファームウェア更新スケジュールが作成され、保存されます。

手順 12 の [更新開始日時] で [登録後すぐに開始する] を選択した場合は、更新が開始されます。

## ファームウェア更新スケジュールの編集

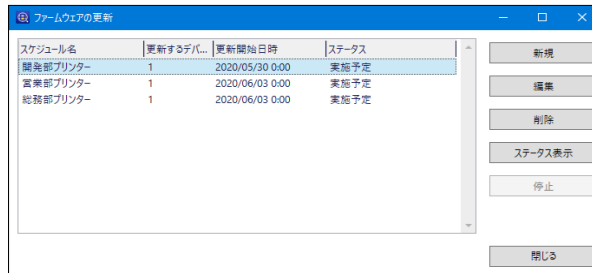
作成したファームウェア更新スケジュールは変更、削除できます。

### 1 サイドバータスクメニューで [デバイス] を選択します。

### 2 リボンメニューの [ホーム] タブをクリックします。

### 3 [更新] をクリックします。 [ファームウェア更新スケジュールの管理] 画面が表示されます。

- 4 一覧から編集したいスケジュールを選択し、目的に応じたボタンをクリックして表示されたダイアログで設定します。

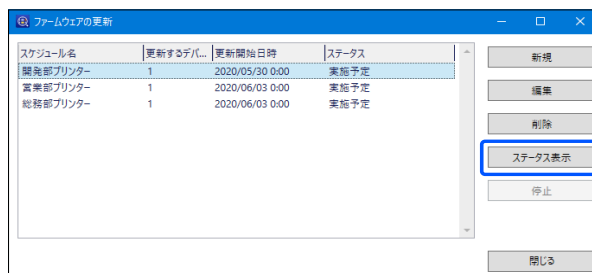


- 変更する場合：[編集]  
ファームウェア更新スケジュールの作成のウィザードが表示されます。ウィザードで設定を変更します。
- 削除する場合：[削除]  
削除確認画面が表示されます。[はい] をクリックすると削除されます。

## ファームウェア更新スケジュールのステータス確認

作成したファームウェア更新スケジュールのステータスを、デバイスごとに確認できます。

- 1 サイドバータスクメニューで [デバイス] を選択します。
- 2 リボンメニューの [ホーム] タブをクリックします。
- 3 [更新] をクリックします。  
[ファームウェア更新スケジュールの管理] 画面が表示されます。
- 4 ステータスを確認したいデバイスが登録されているファームウェア更新スケジュールを選択し、[ステータス表示] をクリックします。  
ファームウェア更新スケジュールのステータス確認画面が表示されます。



- 5 デバイスの一覧に表示されている情報を確認します。  
表示される情報は以下の通りです。

- 機種
- ホスト名
- 更新前のファームウェアのバージョン
- 更新後のファームウェアのバージョン



- ステータス
- IP アドレス
- MAC アドレス
- 製造番号

**6** **【OK】** をクリックして画面を閉じます。

# 日常の管理

この章では日常の管理のための準備を説明します。

デバイス情報取得のスケジュールやアラートの通知を設定しておく、自動的にデバイスの情報を取得して監視し、紙詰まりや用紙切れ、消耗品の交換が必要な場合に通知されます。

また、レポート機能を設定しておく、指定した期間のデバイスデータを蓄積し、デバイスの使用頻度や消耗品や用紙の使用量などを把握することができます。

## デバイスリスト管理

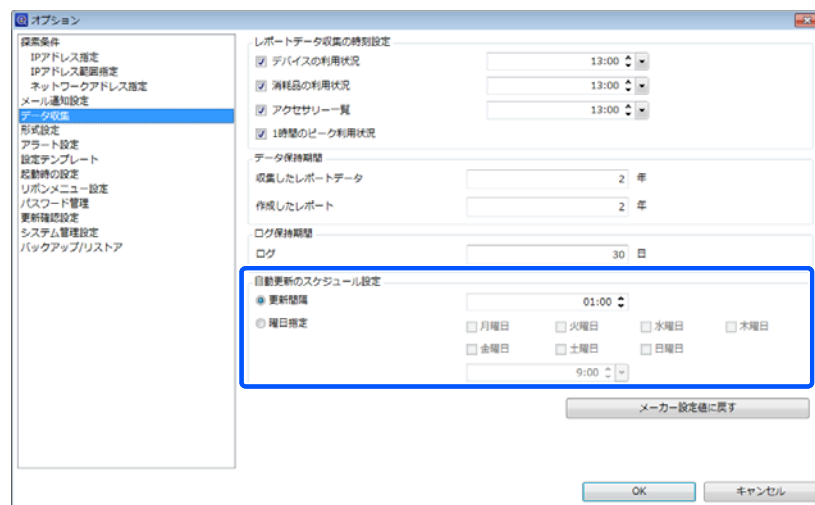
### 定期的な情報収集

自動更新を使って定期的に最新のデバイス情報に更新します。

### スケジュールの設定

定期的に情報を取得するスケジュールを設定します。

- 1 サイドバータスクメニューで【デバイス】を選択します。
- 2 リボンメニューの【ホーム】タブで【オプション】をクリックします。
- 3 【データ収集】をクリックします。
- 4 自動更新のスケジュールを設定します。



- 更新間隔  
自動更新が開始されてから一定の時間ごとにデバイス情報を収集します。  
更新間隔は 1 分～ 23 時間 59 分まで 1 分単位で設定できます。

- 曜日指定  
指定した曜日の指定した時刻にデバイス情報を取得します。  
曜日は月曜日～日曜日、時刻は 1 分単位で指定できます。

**5** [OK] をクリックします。


## 自動更新の起動

設定した自動更新を起動します。

**1** サイドバータスクメニューで [デバイス] を選択します。

**2** リボンメニューの [ホーム] タブで [自動更新] をクリックします。  
自動更新が起動します。

### 参考

情報収集中に画面右下に表示される  アイコンをクリックすると、スケジュールを使用した情報収集を中止できます。この時、スケジュール設定も解除されます。

## デバイスリストの表示設定




デバイスリストの表示をカスタマイズできます。  
カスタマイズには以下があります。

- 表示のプリセット  
よく使うプリセットがメーカー設定として用意されています。  
また、現在の表示をプリセットとして保存できます。
- 列の編集  
表示する列を編集して、必要な表示だけを残すことができます。
- フィルター  
任意の文字列で表示している列にフィルターをかけて、当てはまるデバイスを抽出できます。

## 表示のプリセット



デバイス管理画面でリボンメニューの [表示] タブにあるメニューを使って表示を切り替えることができます。

アイコン	説明
	デフォルトに設定されているプリセットで表示します。
	メーカー設定のビューです。消耗品や印刷枚数を表示します。
	登録したプリセットをプルダウンメニューで選択して表示します。

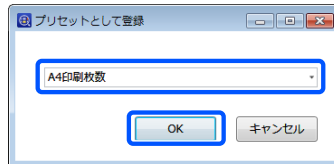
## プリセットとして登録

現在のデバイスリストの表示を登録します。256 件まで登録できます。

- 1 サイドバータスクメニューで【デバイス】を選択します。
- 2 デバイスリストの表示をプリセットとして登録する表示にします。
- 3 リボンメニューで【表示】タブの【プリセットとして登録】をクリックします。



- 4 プリセットの名前を入力して【OK】をクリックします。  
Unicode で表すことができる文字を使って 255 文字以内で入力します。



### 参考

すでにあるプリセットの名前を選択することができます。確認画面で【OK】をクリックすると設定を上書きできます。

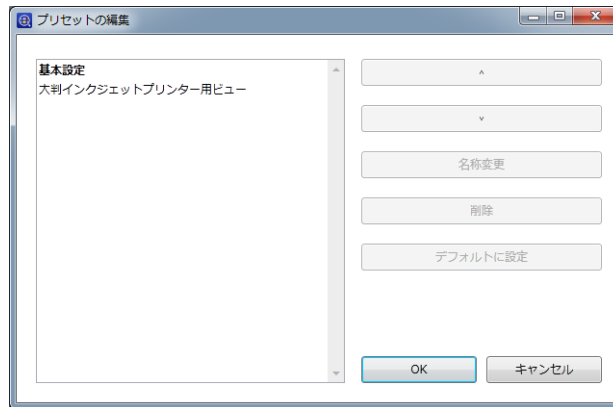
## プリセット編集

登録してあるプリセットの名称変更や削除、デフォルト設定などができます。

- 1 サイドバータスクメニューで【デバイス】を選択します。
- 2 リボンメニューで【表示】タブの【プリセットの編集】をクリックします。



### 3 ボタンを使ってプリセット設定を変更します。



以下を参考に設定してください。

項目	説明
定義ビューリスト	ユーザー定義のプリセットが表示されます。 デフォルトに設定されているプリセットは太字で表示されます。
△、▽	選択しているプリセットの表示順を上または下へ移動します。
名称変更	選択しているプリセットの名称を変更します。
削除	選択しているプリセットを削除します。
デフォルトに設定	選択しているプリセットをデフォルトに設定します。リボンメニューの [デフォルト] ボタンに割り当てられます。

### 4 [OK] をクリックします。

## 列の編集

デバイスリストの列の表示を変更します。

### 1 サイドバータスクメニューで [デバイス] を選択します。

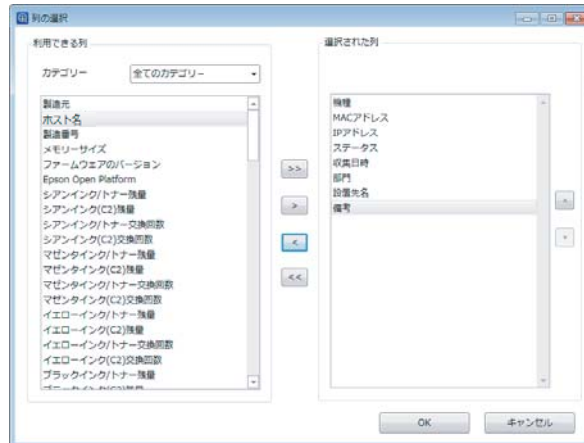
### 2 リボンメニューで [表示] タブの [列編集] をクリックします。



### 3 ボタンを使ってプリセット設定を変更します。

[選択された列] の項目がデバイスリストに表示されます。

主に消耗品の残量や交換回数、印刷面数の累計 (A4、A3、カラー、モノクロ) を追加できます。



### 参考

デバイスによって実際とは異なる表示がされる場合があります。

- 印刷枚数に紙ジャムや印刷ミス、ステータスシートの印刷枚数が含まれることがあります。
- データ取得のタイミングによって、累計印刷面数に誤差が出る場合があります。
- デバイスによって、ダークグレーはグレーの項目に、ライトグレーはライトグレーの項目にインク残量や交換回数が表示されます。
- 消耗品の残量は目安です。
- インク注入型デバイスの場合、インク残量やインク交換回数はマニュアルに記載されている操作を行った場合の数値です。
- 同一色のインクとトナーは同じ項目に表示されます。
- 同一色が2つセット出来るデバイスのインクは (C1)(C2) と表示されます。

項目	説明
カテゴリー	【利用できる列】に表示する項目の基本情報、消耗品などカテゴリーを選択します。
>、<	選択している項目を右または左の枠へ移動します。
∧、∨	選択している項目の表示順を上または下へ移動します。

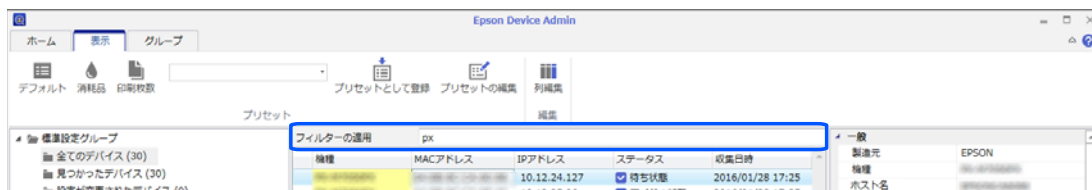
## 4 【OK】をクリックします。

## フィルターの使い方

リボンメニューの「フィルターの適用」のテキストボックスにキーワードを入力すると、表示されているデバイスリストのキーワードと一致した文字列があるデバイスだけを表示します。

キーワードは Unicode で表すことができる文字を使って 255 文字以内で入力します。大文字と小文字は区別しません。

フィルターを解除するには、テキストボックスの文字列を削除します。



# アラート管理

デバイスが出すアラートを監視して、発見したアラートのタイプによってメールで設定した宛先へ通知します。アラート機能を使用するには、アラートのタイプとメールで通知の宛先などを設定したアラートを作成して、監視するデバイスグループに関連付けます。

## 参考

この機能は本ソフトウェアのインストール時に機能を選択した場合に使用できます。インストールされていない場合は Windows のコントロールパネルから設定してください。詳しくは以下をご覧ください。

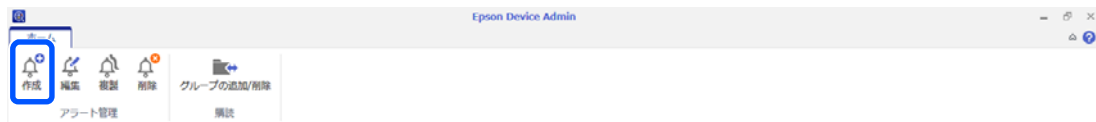
[「機能の変更とアンインストール」 12 ページ](#)

## アラートの作成

アラートタイプやメールアドレスなどを設定したアラートを作成します。  
アラートは 10000 件まで作成できます。

1 サイドバータスクメニューで【アラート】を選択します。

2 リボンメニューで【作成】をクリックします。



3 設定項目を入力します。

The image shows the 'アラートの作成' (Alert Creation) dialog box. It contains the following fields and options:

- アラート名 (Alert Name): Text input field with '用紙切れ' (Paper Out) entered.
- アラートタイプ (Alert Type): Dropdown menu with '用紙切れ' (Paper Out) selected.
- メールアドレス (Email Address): Text input field with 'ITadmin+paperout@epson.jp' entered.
- メールの件名 (Email Subject): Text input field with 'Alert from Epson Device Admin' entered.
- メール本文 (Email Body): Text area with '用紙切れが発生しました。' (Paper out has occurred.) entered.
- 同アラートの通知メール再送時間 (Resend interval for alert notification email): Dropdown menu with 'オプション設定値を使用する' (Use option setting value) selected.

Buttons at the bottom include 'グループの追加/削除' (Add/Remove Group), 'OK', and 'キャンセル' (Cancel).

以下を参考に設定してください。

項目	説明
アラート名	アラートリストに表示されるアラートの名称です。Unicode で表すことができる文字で 1024 文字以内で入力してください。

項目	説明
アラートタイプ	アラートを通知する条件を設定します。以下から選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 紙詰まり</li> <li>• 用紙切れ</li> <li>• 消耗品残量警告</li> <li>• 消耗品交換</li> <li>• カバーオープン（プリンターのみ）</li> <li>• 排紙装置の蓄積超過</li> <li>• サービスコールエラー</li> <li>• （スキャナー）ガラス面汚れ</li> <li>• （スキャナー）定期清掃</li> <li>• （スキャナー）重送</li> <li>• （スキャナー）センサー汚れ</li> <li>• （スキャナー）原稿保護</li> <li>• （チェックスキャナー）定期クリーニング通知</li> <li>• その他</li> </ul>
メールアドレス	アラートを通知するメールの宛先を入力します。 複数の宛先を入力する場合は、; で区切ります。区切りの文字を合わせて 32767 バイトまで入力できます。 宛先はすべて To になります。CC、BCC は設定できません。 [履歴から選択] をクリックすると以前入力した複数のアドレスを選択して挿入できます。
メールの件名	アラートを通知するメールの件名です。256 文字まで入力できます。
メール本文	アラートを通知するメールの本文です。64K バイトまで入力できます。
同一アラートの通知メール再送時間	通知したアラートが同じデバイスで解除されていなかった場合、次にアラート通知のメールを送信できるまでの時間を設定します。 以下から選択します。 オプション設定値を使用する、5 分、10 分、30 分、1 時間、3 時間、6 時間、12 時間、1 日、2 日、3 日、4 日、5 日、1 週間、再送しない [オプション設定値を使用する] を選択したときは、[オプション] - [アラート設定] の [同一アラートの通知メール再送時間] で設定した時間が適用されます。

**4** アラートを保存して画面を閉じる場合は **[OK]** をクリックします。作成したアラートで監視するグループを設定する場合は **[グループの追加 / 削除]** をクリックします。

[OK] をクリックした場合は、アラートリストに作成したアラートが追加されます。

[グループの追加/削除] をクリックした場合は、アラート監視グループを追加します。詳しくは以下をご覧ください。

[「アラート監視グループの追加」76 ページ](#)

## アラート監視グループの追加

作成したアラートで監視するグループを設定します。設定したグループのデバイスでアラートが見つかったと通知されます。

**1** サイドバータスクメニューで **[アラート]** を選択します。

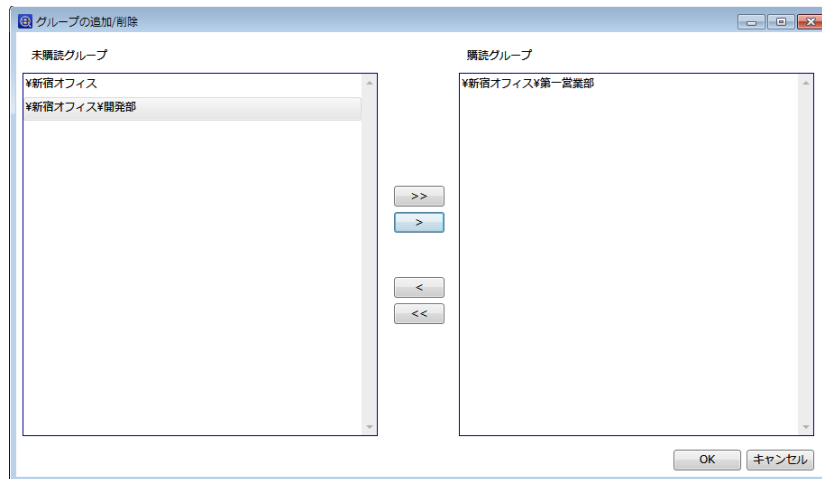
**2** アラートリストからアラートを選択します。  
複数選択すると監視グループの追加はできません。



- 3 リボンメニューで「グループの追加 / 削除」をクリックします。



- 4 監視するグループを選択して「>」を使って「購読グループ」へ移動します。  
「<」を使って「未購読グループ」へ移動するとアラート監視を解除します。



- 5 「OK」をクリックします。  
対象グループのデバイスのアラート監視が開始されます。

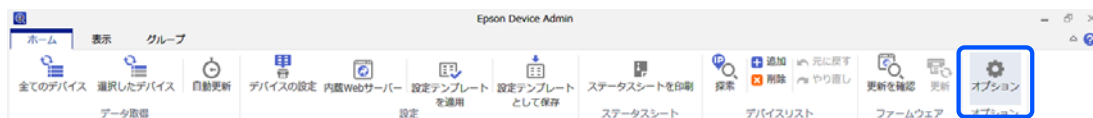
**参考**

複数のアラートをひとつのグループに設定できます。それぞれのアラートに監視するグループを追加してください。

## アラート確認間隔の設定

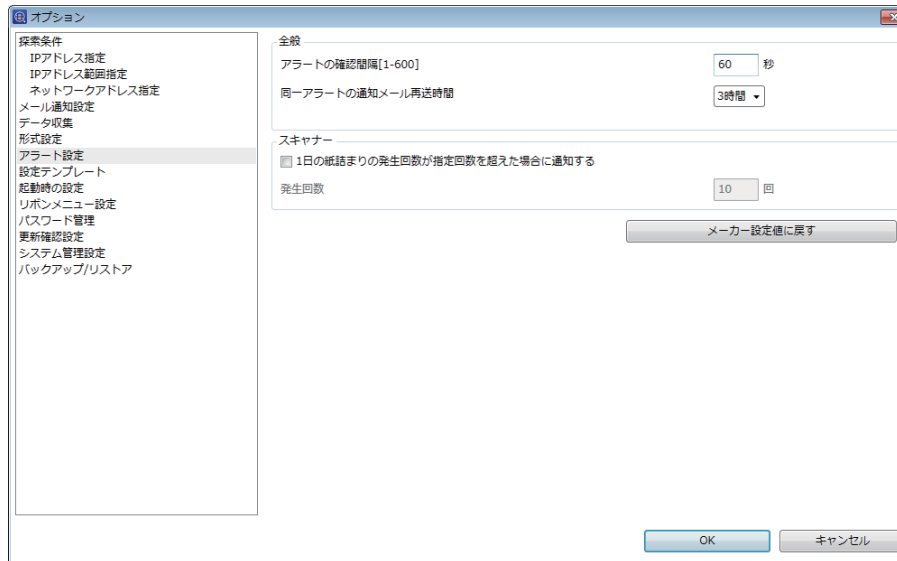
デバイスの出すアラートを確認する時間間隔を設定します。

- 1 サイドバータスクメニューで「デバイス」を選択します。
- 2 リボンメニューの「ホーム」タブで「オプション」をクリックします。



- 3 「アラート設定」を選択します。

## 4 アラートを確認する間隔を設定します。



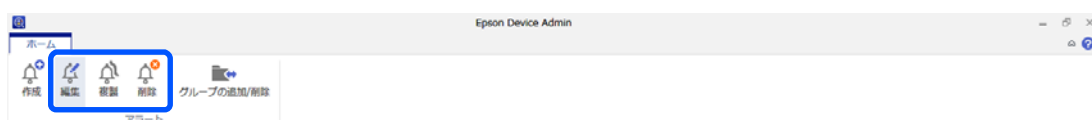
以下を参考に設定してください。

項目	説明
アラート情報の確認間隔 [1-600]	デバイスのアラートを確認する時間の間隔を設定します。 1 秒から 600 秒まで 1 秒単位で入力します。
同一アラートの通知メール再送時間	通知したアラートが同じデバイスで解除されていなかった場合、次にアラート通知のメールを送信できるまでの時間を設定します。 以下から選択します。 5 分、10 分、30 分、1 時間、3 時間、6 時間、12 時間、1 日、2 日、3 日、4 日、5 日、1 週間、再送しない
1 日の紙詰まりの発生回数が指定回数を超えた場合に通知する	チェックすると、1 日 (0:00 から 23:59 の間) でスキャナーで発生した紙詰まりのエラーが設定した回数に達したときにアラート通知のメールが送信されます。
発生回数	アラートを通知するまでの 1 日あたりの紙詰まりの回数を設定します。 1 回から 99 回まで 1 回単位で入力します。

## アラートの編集

作成したアラートは変更、複製、削除できます。

- 1 サイドバータスクメニューで【アラート】を選択します。
- 2 アラートリストからアラートを選択します。  
削除のみ複数選択できます。
- 3 リボンメニューで目的に応じたボタンをクリックして表示されたダイアログで設定します。

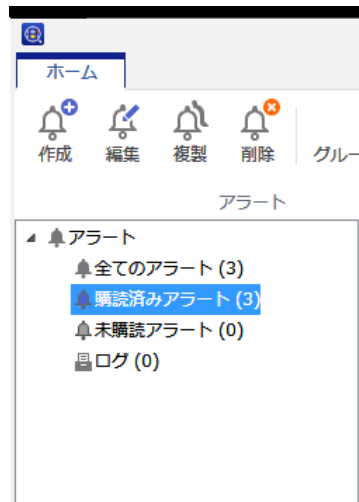


- 変更する場合：[編集]  
アラート画面が表示されます。設定を変更して [OK] をクリックします。
- 複製する場合：[複製]  
アラート名画面が表示されます。新しい名称を入力して [OK] をクリックします。
- 削除する場合：[削除]  
削除確認画面が表示されます。[OK] をクリックすると削除されます。

---

## アラート表示切り替え

ツリービューの項目をクリックするとアラートリストとログ画面を切り替えることができます。  
項目名の横にある数字は、その項目に含まれるアラートの数です。



## アラートリスト

上段にはアラートの一覧が表示されます。

下段には選択されたアラートが、監視対象にしているデバイスグループが一覧で表示されます。

- 全てのアラート  
保存されているすべてのアラートを一覧に表示します。
- 購読済みアラート  
監視対象のグループが設定されているアラートを一覧に表示します。
- 未購読アラート  
監視対象のグループが設定されていないアラートを一覧に表示します。

## ログ

ツリービューで [ログ] を選択すると、上段にはアラート通知メールのログ、下段にはログの詳細が表示されます。  
ログの保持期間は [オプション] - [データ収集] の [ログ保持期間] で設定できます。

## レポート管理

レポート管理では、デバイスや消耗品などの使用状況や付属品の装着状況をレポートに出力できます。

レポートのファイル形式は、PDF、HTML、CSV です。

レポートの作成は、ウィザードを使います。

### 参考

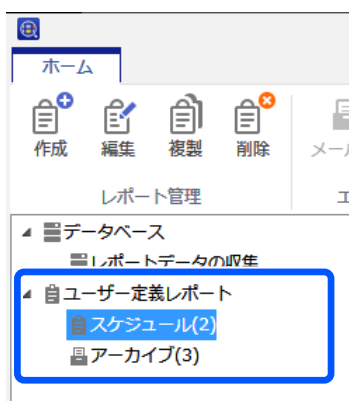
- この機能は本ソフトウェアのインストール時に機能を選択した場合に使用できます。インストールされていない場合は Windows のコントロールパネルから設定してください。詳しくは以下をご覧ください。  
[「機能の変更とアンインストール」 12 ページ](#)
- コンピューターでサマータイムを設定していると、レポートのデータ収集や時間範囲などに誤差が出る場合があります。

## レポートの作成

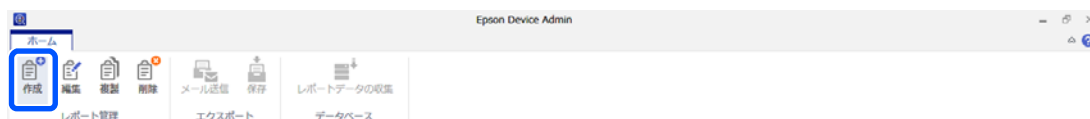
選択したレポートフォーマットを条件として対象デバイスグループのレポートを作成できます。レポートの作成には、レポートの期間を指定して作成する方法とスケジュールを設定して定期的に作成する方法があります。レポートの作成を始める前にデバイスグループを作成してください。

[「グループ管理」 29 ページ](#)

- 1 サイドバータスクメニューで【レポート】を選択します。
- 2 ツリービューで【ユーザー定義レポート】 - 【スケジュール】を選択します。



- 3 リボンメニューで【作成】をクリックします。  
レポート作成ウィザードが表示されます。



- 4 レポートデータを収集する条件を選択します。

以下から選択できます。

デバイスの利用状況 / 1 時間のピーク利用状況 / 消耗品の利用状況 / アクセサリー一覧

【オプション】 - 【Epson Print Admin Serverless / 認証機能 設定】 の【Epson Print Admin Serverless / 認証機能 の対応デバイスを管理する】をチェックすると、以下も表示されます。

Epson Print Admin Serverless - ユーザー単位の利用レポート / Epson Print Admin Serverless - 部門単位の利用レポート / Epson Print Admin Serverless - ジョブ履歴 / 認証機能設定 - ジョブ履歴

レポートの作成

レポートタイプ

収集条件名

デバイスの利用状況

1時間のピーク利用状況

消耗品の利用状況

アクセサリ一覧

キャンセル 前へ 次へ OK

5 期間を指定してレポートを作成するか、スケジュールを設定して定期的に作成するかを選択します。

期間を指定してレポートを作成する場合：[スケジュールの作成] のチェックを外します。

スケジュールを作成する場合：[スケジュールの作成] をチェックします。

6 [次へ] をクリックします。

7 レポート対象のグループを選択します。

右の枠にリストされているグループが対象です。変更するには [>]、[>>]、[<]、[<<] を使ってグループを移動します。

[>]、[<] は選択したグループ、[>>]、[<<] はすべてのグループを移動できます。

[子グループも含む] をチェックすると、グループを選択したときに子グループも自動的に選択します。

レポート/スケジュールの作成

グループの選択

対象グループ

レポートに追加するグループを選択してください

グループ名	デバイス
¥新宿オフィス	17
¥新宿オフィス¥第一営業部	5

グループ名	デバイス
¥新宿オフィス¥開発部	4

子グループも含む

キャンセル 前へ 次へ OK

8 [次へ] をクリックします。

9 レポートの形式を設定します。

手順 4 で以下を選択した場合、この画面は表示されません。手順 11 へ進みます。

- Epson Print Admin Serverless - ユーザー単位の利用レポート
- Epson Print Admin Serverless - 部門単位の利用レポート
- Epson Print Admin Serverless - ジョブ履歴
- 認証機能設定 - ジョブ履歴

以下を参考に設定してください。

項目	説明
ソート第 1 優先キー	レポートでソートするデバイス情報の項目の優先するキーを選択します。
ソート第 2 優先キー	レポートでソートするデバイス情報の項目の 2 番目に優先するキーを選択します。 選択できる項目は「ソート第 1 優先キー」と同様です。
デバイス情報	レポートに含めるデバイス情報の項目を選択します。
データ列	レポートに含める収集データを選択します。選択可能な項目は次表「収集条件の選択可能項目」をご覧ください。

収集条件の選択可能項目

収集条件	選択可能項目	
<p>デバイスの利用状況 (プリンター)</p> <p><b>参考</b></p> <p>データ収集のタイミングによってレポートの合計枚数と実際の合計枚数が異なることがあります。</p>	<p>印刷履歴 (対応用紙サイズの情報を選択できます。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 総印刷面数 (通算) : プリンターエンジンによって合計されたプリンター使用開始時からの総印刷ページ数。レポート範囲外の期間も含まれます。</li> <li>• 総モノクロ印刷面数 (通算) : プリンターエンジンによって合計されたプリンター使用開始時からの総モノクロ印刷ページ数。レポート範囲外の期間も含まれます。</li> <li>• 総カラー印刷面数 (通算) : プリンターエンジンによって合計されたプリンター使用開始時からの総カラー印刷ページ数。レポート範囲外の期間も含まれます。</li> <li>• 累計印刷面数 (レポート期間) : プリンターエンジンによって合計された総印刷ページ数。</li> <li>• モノクロ累計印刷面数 (レポート期間) : プリンターエンジンによって合計された総モノクロ印刷ページ数。</li> <li>• カラー累計印刷面数 (レポート期間) : プリンターエンジンによって合計された総カラー印刷ページ数。</li> <li>• 片面印刷面数 (レポート期間 / 通算) : プリンターエンジンによって合計された片面印刷ページ数。</li> <li>• 両面印刷面数 (レポート期間 / 通算) : プリンターエンジンによって合計された両面印刷ページ数。</li> <li>• 片面モノクロ印刷面数 (レポート期間 / 通算) : プリンターエンジンによって合計された片面モノクロ印刷ページ数。</li> <li>• 片面カラー印刷面数 (レポート期間 / 通算) : プリンターエンジンによって合計された片面カラー印刷ページ数。</li> <li>• 両面モノクロ印刷面数 (レポート期間 / 通算) : プリンターエンジンによって合計された両面モノクロ印刷ページ数。</li> <li>• 両面カラー印刷面数 (レポート期間 / 通算) : プリンターエンジンによって合計された両面カラー印刷ページ数。</li> <li>• 累計印刷長 (m) (レポート期間 / 通算) : プリンターエンジンによって累計された印刷長 (m)</li> <li>• 累計印刷面積 (m<sup>2</sup>) (レポート期間 / 通算) : プリンターエンジンによって累計された印刷面積 (m<sup>2</sup>)</li> <li>• 累計印刷行数 (レポート期間 / 通算) : プリンターエンジンによって累計された印刷行数</li> </ul>
	機能ごとの累計印刷面数	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 機能ごとの累計印刷面数 (プリンター / コピー / ファクス / その他) (レポート期間 / 通算) : プリンターエンジンによって合計された機能ごとの総印刷ページ数。</li> <li>• 機能ごとのモノクロ印刷面数 (プリンター / コピー / ファクス / その他) (レポート期間 / 通算) : プリンターエンジンによって合計された機能ごとの総モノクロ印刷ページ数。</li> <li>• 機能ごとのカラー印刷面数 (プリンター / コピー / ファクス / その他) (レポート期間 / 通算) : プリンターエンジンによって合計された機能ごとの総カラー印刷ページ数。</li> </ul>
	インターフェイスごとの印刷面数	<ul style="list-style-type: none"> <li>• インターフェイスごとの累計印刷面数 (標準ネットワーク / 増設ネットワーク / その他) : インターフェイスごとの総印刷ページ数。</li> <li>• インターフェイスごとのモノクロ印刷面数 (標準ネットワーク / 増設ネットワーク / その他) : インターフェイスごとのモノクロ印刷ページ数。</li> <li>• インターフェイスごとのカラー印刷面数 (標準ネットワーク / 増設ネットワーク / その他) : インターフェイスごとのカラー印刷ページ数</li> </ul>
	インターフェイスごとのトナー消費本数	<ul style="list-style-type: none"> <li>• インターフェイスごとのトナー消費本数 (C, M, Y, K) (標準ネットワーク / 増設ネットワーク / その他) : インターフェイスごとの印刷で消費されたトナー本数</li> </ul>

収集条件	選択可能項目	
デバイスの利用状況 (スキャナー)  <b>参考</b> データ収集のタイミングによってレポートの合計枚数と実際の合計枚数が異なることがあります。	スキャン履歴	対応用紙サイズの情報を選択できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>累計スキャン枚数 / 面数 (レポート期間 / 通算) : スキャナーエンジンによって合計された総スキャン枚数 / ページ数。</li> <li>モノクロ累計スキャン枚数 / 面数 (レポート期間 / 通算) : スキャナーエンジンによって合計された総モノクロスキャン枚数 / ページ数。</li> <li>カラー累計スキャン枚数 / 面数 (レポート期間 / 通算) : スキャナーエンジンによって合計された総カラースキャン枚数 / ページ数。</li> <li>片面累計スキャン枚数 / 面数 (レポート期間 / 通算) : スキャナーエンジンによって合計された片面スキャン枚数 / ページ数。</li> <li>両面累計スキャン枚数 / 面数 (レポート期間 / 通算) : スキャナーエンジンによって合計された両面スキャン枚数 / ページ数。</li> </ul>
	ADF スキャン履歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>ADF 累計スキャン枚数 / 面数 (レポート期間 / 通算) : スキャナーエンジンによって合計された総 ADF スキャン枚数 / ページ数。</li> <li>ADF モノクロ累計スキャン枚数 / 面数 (レポート期間 / 通算) : スキャナーエンジンによって合計された総 ADF モノクロスキャン枚数 / ページ数。</li> <li>ADF カラー累計スキャン枚数 / 面数 (レポート期間 / 通算) : スキャナーエンジンによって合計された総 ADF カラースキャン枚数 / ページ数。</li> <li>ADF 片面累計スキャン枚数 / 面数 (レポート期間 / 通算) : スキャナーエンジンによって合計された ADF 片面スキャン枚数 / ページ数。</li> <li>ADF 両面累計スキャン枚数 / 面数 (レポート期間 / 通算) : スキャナーエンジンによって合計された ADF 両面スキャン枚数 / ページ数。</li> </ul>
	FB スキャン履歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>FB 累計スキャン枚数 / 面数 (レポート期間 / 通算) : スキャナーエンジンによって合計された総 FB スキャン枚数 / ページ数。</li> <li>FB モノクロ累計スキャン枚数 / 面数 (レポート期間 / 通算) : スキャナーエンジンによって合計された総 FB モノクロスキャン枚数 / ページ数。</li> <li>FB カラー累計スキャン枚数 / 面数 (レポート期間 / 通算) : スキャナーエンジンによって合計された総 FB カラースキャン枚数 / ページ数。</li> </ul>
	SF スキャン履歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>SF 累計スキャン枚数 / 面数 (レポート期間 / 通算) : スキャナーエンジンによって合計された総 SF スキャン枚数 / ページ数。</li> <li>SF モノクロ累計スキャン枚数 / 面数 (レポート期間 / 通算) : スキャナーエンジンによって合計された総 SF モノクロスキャン枚数 / ページ数。</li> <li>SF カラー累計スキャン枚数 / 面数 (レポート期間 / 通算) : スキャナーエンジンによって合計された総 SF カラースキャン枚数 / ページ数。</li> </ul>
	チェックスキャン履歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>単票用紙スキャンの回数 (レポート期間 / 通算) : 単票用紙をスキャンした回数。</li> <li>カードスキャンの回数 (レポート期間 / 通算) : カードリーダーでカードをスキャンした回数。</li> <li>オートカッターの作動回数 (レポート期間 / 通算) : オートカッターが作動した回数。</li> <li>印刷紙送り量 (m)/(ft) (レポート期間 / 通算) : 印刷紙を送り出した量 (長さ)。</li> </ul>
	チェックスキャナー集計情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>給紙エラーの検知回数 (レポート期間) : 給紙エラーを検知した回数。</li> <li>MICR エラーの検知回数 (レポート期間) : MICR エラーを検知した回数。</li> <li>サービスコールエラーの検知回数 (レポート期間) : サービスコールエラーを検知した回数。</li> </ul>
1 時間のピーク利用状況	[デバイスの利用状況] と同じ項目を選択できます。	



収集条件	選択可能項目
消耗品の利用状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>• インク / トナー / 感光体 / 転写ユニット / 二次転写ユニット / 定着ユニット / 廃トナーボックス / 転写ベルト / メンテナンスボックス / クリーニング / 給紙ローラーの残量</li> <li>• インク / トナーの交換回数</li> </ul>
アクセサリ一覧	<ul style="list-style-type: none"> <li>• メモリーサイズ</li> <li>• 両面印刷ユニット</li> <li>• 給紙装置</li> <li>• FAX</li> </ul>
ユーザー単位の利用レポート	<p>以下の項目でレポートを作成します。選択はできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ユーザー ID</li> <li>• 部門</li> <li>• ページ数小計</li> <li>• 印刷 カラー 片面</li> <li>• 印刷 カラー 両面</li> <li>• 印刷 モノクロ 片面</li> <li>• 印刷 モノクロ 両面</li> <li>• コピー カラー 片面</li> <li>• コピー カラー 両面</li> <li>• コピー モノクロ 片面</li> <li>• コピー モノクロ 両面</li> <li>• ファクス送信</li> <li>• スキャン</li> <li>• ファクス受信</li> </ul>
部門単位の利用レポート	<p>[ユーザー ID] を除いた [ユーザー単位の利用レポート] と同じ項目でレポートを作成します。選択はできません。</p>
ジョブ履歴	<p>以下の項目でレポートを作成します。選択はできません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 日付</li> <li>• ジョブ ID</li> <li>• 操作 (印刷 / コピー / スキャン / ファクス受信 / ファクス送信)</li> <li>• ユーザー ID</li> <li>• 部門</li> <li>• 処理結果</li> <li>• 処理結果詳細</li> <li>• 印刷 ジョブ名 / 用紙サイズ / 両面 / カラー / 面数</li> <li>• スキャン 宛先種別 / 宛先 / 用紙サイズ / 両面 / カラー / 面数</li> <li>• コピー 用紙サイズ / 両面 / カラー / 面数</li> <li>• ファクス受信印刷 用紙サイズ / 両面 / カラー / 面数</li> <li>• デバイス 機種名 / IP アドレス / 製造番号 / 部門 / 設置先名 / 備考 / 備考 2</li> </ul>

[デバイスの利用状況] に対応している用紙サイズは以下の通りです。

UI 表記		
A4	Letter	A4/Letter
A3	Ledger	A3/Ledger
A4	Letter	A4/Letter
A5	A5	A5
A6 (A6/ はがき)	A6 (A6/ はがき)	A6 (A6/ はがき)
B4	Legal	B4/Legal
B5	B5	B5
封筒	封筒	封筒
その他	その他	その他

10 [次へ] をクリックします。

11 レポートの対象期間を設定します。

手順 4 で選択したデータ収集条件によって表示される画面が異なります。

[デバイスの利用状況]、[消耗品の利用状況]、[アクセサリ一覧]、[Epson Print Admin Serverless - ユーザー単位の利用レポート]、[Epson Print Admin Serverless - 部門単位の利用レポート]、[Epson Print Admin Serverless - ジョブ履歴]、[認証機能設定 - ジョブ履歴] を選択した場合

以下を参考に設定してください。

項目	説明
レポート期間	<p>レポートを作成する期間の単位を選択します。以下から選択できます。</p> <p>手順 4 で [Epson Print Admin Serverless - ユーザー単位の利用レポート]、[Epson Print Admin Serverless - 部門単位の利用レポート]、[Epson Print Admin Serverless - ジョブ履歴]、[認証機能設定 - ジョブ履歴] を選択した場合は表示されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 1 日ごと</li> <li>• 1 週間ごと</li> <li>• 2 週間ごと</li> <li>• 1 カ月ごと</li> <li>• 四半期ごと</li> <li>• 1 年ごと</li> </ul>
対象日の範囲	<p>レポートの作成日または指定した日を基点とした期間を指定します。1 以上の数字と日 / 週 / 月 / 年の単位の組み合わせで指定してください。</p>

#### [1 時間のピーク利用状況] を選択した場合

レポート/スケジュールの作成

**レポート範囲の指定**

レポート範囲

対象日の範囲

直前 7 日

基準日 ☒ 作成日 ☐ 2016/01/28

時間の範囲

☒ 終日

開始時刻 9:00

終了時刻 17:00

1時間のピーク利用状況のレポートを作成日から7日分さかのぼって作成

キャンセル 前へ 次へ OK

以下を参考に設定してください。

項目	説明
対象日の範囲	<p>レポートの作成日または指定した日を基点とした期間を指定します。1 以上の数字と日 / 週 / 月の単位の組み合わせで指定してください。</p>
時間の範囲	<p>レポートの対象期間を設定します。</p> <p>24 時間を対象にする場合は [終日] をチェックします。時間を指定する場合は始めと終わりの時間を設定します。</p>

#### 参考

レポートの対象期間に Epson Device Admin をインストールする前の期間が含まれている場合、レポートではその期間は空欄で表示されます。

12 [次へ] をクリックします。

13 レポート通知メールを設定します。

以下を参考に設定してください。

項目	説明
方法	メールで通知するかどうか指定します。
メールアドレス	レポートを通知するメールの宛先を入力します。 複数の宛先を入力する場合は、; で区切ります。区切りの文字を合わせて 32767 バイトまで入力できます。 宛先はすべて To になります。CC、BCC は設定できません。
メール件名	レポートを通知するメールの件名です。256 文字まで入力できます。
ファイルフォーマット	レポートのファイル形式です。PDF、HTML、CSV から選択します。 手順 4 で [Epson Print Admin Serverless - ジョブ履歴]、[認証機能設定 - ジョブ履歴] を選択した場合は、CSV のみ選択できます。

14 [次へ] をクリックします。

15 レポートの名前を設定します。

レポート名は Unicode で表すことができる文字で 1024 文字以内で入力してください。

スケジュールの編集

**レポート名の指定**

レポート名

レポート名を入力してください。

デバイスの利用状況(開発部)

キャンセル 前へ 次へ OK

16 [次へ] をクリックします。

17 スケジュールを設定します。

**参考**

- 手順 5 で [スケジュールの作成] のチェックを外した場合、この画面は表示されません。
- [作成スケジュール] の [開始日時] の時間は、データ収集の時刻よりも後の時刻に設定してください。データ収集時刻の前に設定すると、レポート対象期間の最終日分のデータ収集が始まる前にレポートが作成されます。  
[「データ収集時刻の設定」 92 ページ](#)

レポート/スケジュールの作成

**スケジュールの指定**

作成スケジュール

開始日時

2016/09/01 18:00

終了日

☒ 終了日なし ☐ 終了日 2017/01/27

レポート周期

レポート周期

毎週 日曜日

レポートの作成は、2016/09/01以降の、毎週日曜日18:00に予定されます。

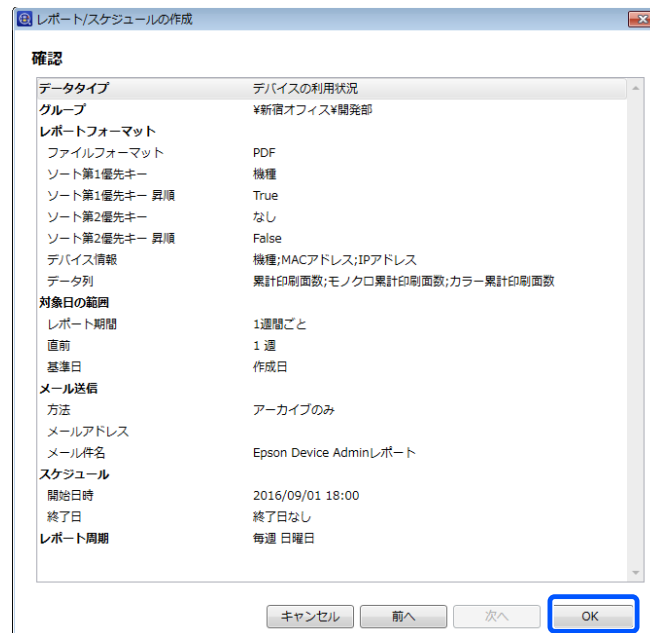
キャンセル 前へ 次へ OK

以下を参考に設定してください。

項目	説明
開始日時	スケジュールを開始する日時を設定します。設定できる単位は 1 分です。
終了日	スケジュールを終了する日時を設定します。 終了日を設定しない場合は「終了日なし」を選択します。
レポート周期	レポートを作成する期間の単位を設定します。

18 「次へ」をクリックします。

19 「OK」をクリックします。



レポートまたはスケジュールが作成されます。  
作成されたレポートは、アーカイブレポートとして保存されます。

- レポートの作成例
  - データタイプ：デバイスの利用状況
  - ソート第 1 優先キー：機種
  - ソート第 2 優先キー：なし
  - デバイス情報：機種、MAC アドレス、IP アドレス
  - データ列：累計印刷面数、モノクロ累計印刷面数、カラー累計印刷面数
  - レポート期間：1 週間ごと
  - 対象日の範囲：直前 1 月

EPSON

Epson Device Admin Report

レポートタイプ  
作成日  
グループ名の基準  
表示ページの基準  
対象日の範囲  
レポート期間

デバイスの利用状況  
2017/07/06 13:27  
開発部  
単位 (シート第1通元キー) なし (シート第2通元キー)  
2017/06/07 - 2017/07/06  
1週間ごと

グループ: 開発部

対象日の範囲	機種	MACアドレス	IPアドレス	累計印刷枚数	モノクロ累計印刷枚数	カラー累計印刷枚数
2017/06/07 - 2017/06/13	EPSON iM1100	00:0C:29:00:00:00	192.168.1.100	204	99	105
	EPSON iM1100	00:0C:29:00:00:01	192.168.1.101	658	388	280
	EPSON iM1100	00:0C:29:00:00:02	192.168.1.102	1309	343	966
週次合計				2171	830	1351
2017/06/14 - 2017/06/20	EPSON iM1100	00:0C:29:00:00:00	192.168.1.100	128	49	79
	EPSON iM1100	00:0C:29:00:00:01	192.168.1.101	795	362	433
	EPSON iM1100	00:0C:29:00:00:02	192.168.1.102	972	355	617
週次合計				1895	766	1129
2017/06/21 - 2017/06/27	EPSON iM1100	00:0C:29:00:00:00	192.168.1.100	149	69	80
	EPSON iM1100	00:0C:29:00:00:01	192.168.1.101	971	441	530
	EPSON iM1100	00:0C:29:00:00:02	192.168.1.102	740	236	504
週次合計				1860	746	1114
2017/06/28 - 2017/07/04	EPSON iM1100	00:0C:29:00:00:00	192.168.1.100	187	104	93
	EPSON iM1100	00:0C:29:00:00:01	192.168.1.101	795	333	433
	EPSON iM1100	00:0C:29:00:00:02	192.168.1.102	749	204	544
週次合計				1731	641	1070
2017/07/05 - 2017/07/06	EPSON iM1100	00:0C:29:00:00:00	192.168.1.100	111	74	37
	EPSON iM1100	00:0C:29:00:00:01	192.168.1.101	347	160	187
	EPSON iM1100	00:0C:29:00:00:02	192.168.1.102	384	148	236
週次合計				842	382	460
小計				8489	3365	5124
合計				8489	3365	5124

## レポート作成の設定例

決まった期間のレポートを定期的に作成したい場合は、以下の例を参考に設定してください。

### デバイスの利用状況 / 消耗品の利用状況 / アクセサリー一覧

- 直近 3カ月の週次レポートを毎月作成する  
 [レポート範囲の指定] 画面  
 レポート期間: 1 週間ごと  
 対象日の範囲: 直前 3 月  
 [スケジュールの指定] 画面  
 レポート周期: 毎月
- 直近半年の月次レポートを毎月作成する  
 [レポート範囲の指定] 画面  
 レポート期間: 1 カ月ごと  
 対象日の範囲: 直前 6 月  
 [スケジュールの指定] 画面  
 レポート周期: 毎月
- 直近 1 年の四半期レポートを 3カ月に 1 回作成する  
 [レポート範囲の指定] 画面  
 レポート期間: 四半期ごと  
 対象日の範囲: 直前 1 年  
 [スケジュールの指定] 画面  
 レポート周期: 毎四半期

### 1 時間のピーク利用状況

- 1 日分のレポートを毎日作成する  
 [レポート範囲の指定] 画面  
 対象日の範囲: 直前 1 日  
 [スケジュールの指定] 画面  
 レポート周期: 毎四半期
- 直近 1 週間のレポートを毎週作成する  
 [レポート範囲の指定] 画面

対象日の範囲：直前 7 日  
[スケジュールの指定] 画面  
レポート周期：毎週

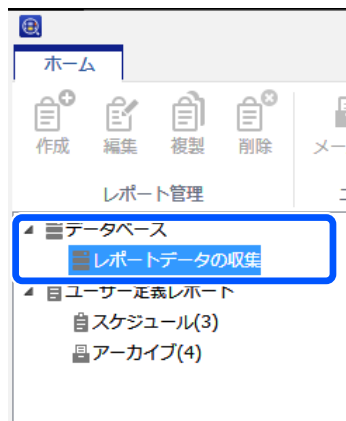
---

## データ収集

選択している収集条件に従ってデバイスのデータを収集します。収集したデータがレポートで使用されます。  
収集条件ごとに収集開始時刻を設定できます。以下をご覧ください。

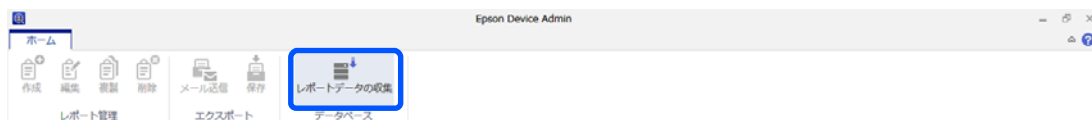
[「データ収集時刻の設定」 92 ページ](#)

- 1 サイドバータスクメニューで [レポート] を選択します。
- 2 ツリービューで [データベース] - [レポートデータの収集] を選択します。



- 3 データ収集条件リストから収集する条件を選択します。  
データ収集条件は複数選択できません。

- 4 リボンメニューで [レポートデータの収集] をクリックします。



---

## データ収集時間、保存期間の設定

デバイス管理画面のオプションメニューから収集したデータやレポートの保存期間を設定できます。

### データ収集時刻の設定

デバイスのデータ収集の条件ごとに収集時刻を設定できます。

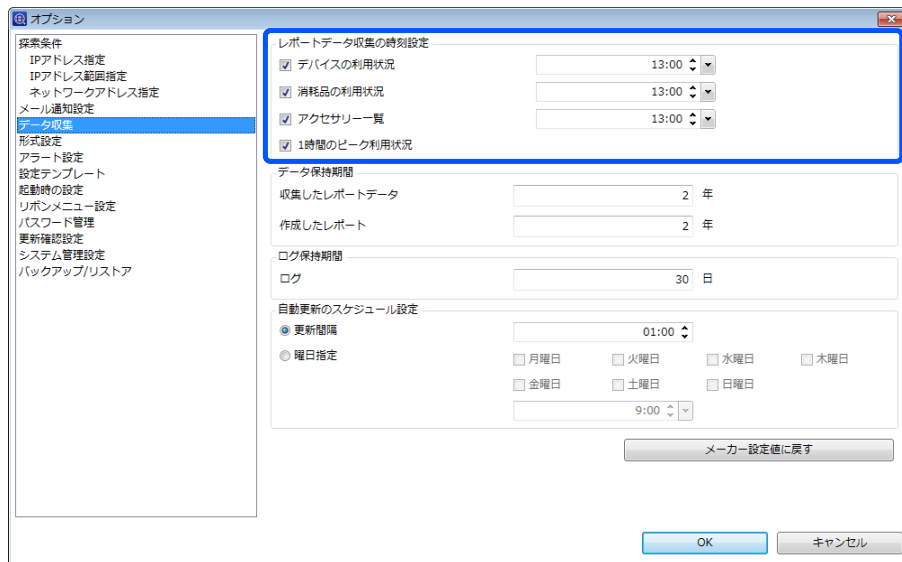


- 1 サイドバタスクメニューで「デバイス」を選択します。
- 2 リボンメニューの「ホーム」タブで「オプション」をクリックします。



- 3 「データ収集」を選択します。
- 4 「レポートデータ収集の時刻設定」の各項目をチェックし、それぞれの条件についてデータ収集を開始する時刻を設定します。

0:00 から 23:59 まで 1 分単位で設定できます。



以下を参考に設定してください。

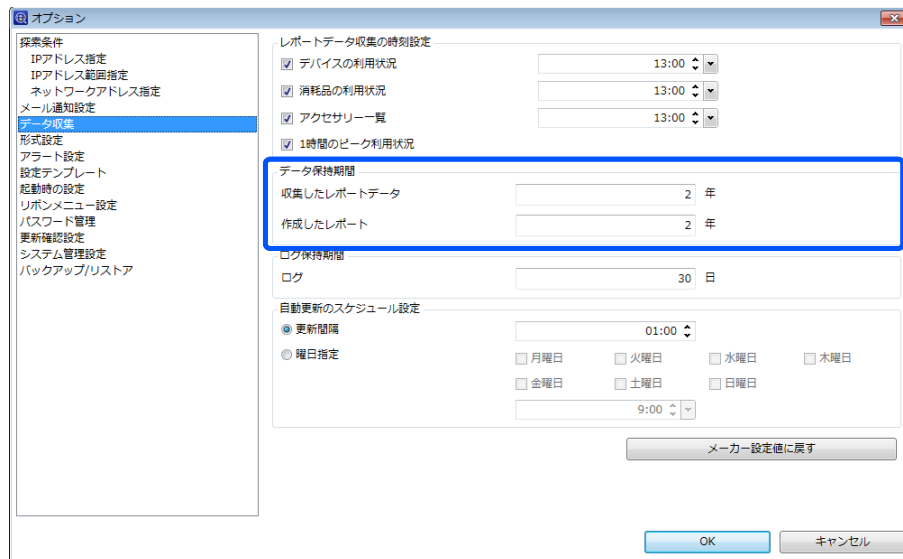
項目	説明
デバイスの利用状況	デバイスの利用状況を条件としてデータ収集を開始する時刻です。
消耗品の利用状況	デバイスの消耗品の利用状況のデータ収集を開始する時刻です。
アクセサリ一覧	デバイスの付属品の装着状況のデータ収集を開始する時刻です。
1 時間のピーク利用状況	チェックすると、1 時間のピーク利用状況のデータ収集をします。

## データ保存期間の設定

収集したデータや作成したレポートを保存する期間を設定します。

1 【オプション】 - 【データ収集】 を選択します。

2 【データ保持期間】 を設定します。

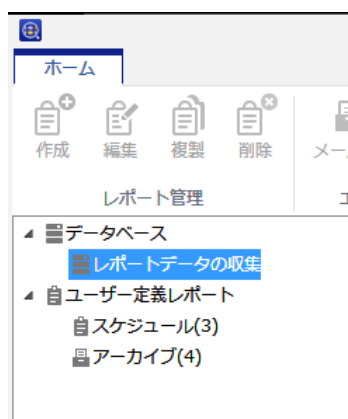


- 収集したレポートデータ  
収集データの保存期間を設定します。  
期間は1年から5年まで1年単位で設定できます。保存期間が終了したデータは自動的に削除されます。
- 作成したレポート  
アーカイブに保存されたレポートの保存期間を設定します。  
期間は1年から5年まで1年単位で設定できます。保存期間が終了したデータは自動的に削除されます。

3 【OK】 をクリックします。

## レポート表示切り替え

ツリービューの項目をクリックするとレポート管理画面を切り替えることができます。  
ユーザー定義レポートには、スケジュール、アーカイブされたレポートの件数が表示されます。



## データ収集

ツリービューの「データベース」 - 「レポートデータの収集」にはデータ収集に関する情報が表示されます。

### データ収集条件

上段にはデータ収集条件の一覧が表示されます。

「レポートデータの収集時刻」はオプション画面から設定できます。以下をご覧ください。

[「データ収集時刻の設定」92 ページ](#)

### デバイスリスト

下段にはデータ収集の開始日や終了日、ステータスなどデータ収集用のデバイスリストが表示されます。

ステータス	機種	IPアドレス	製造番号	所属グループ	初回収集日時	最終収集日時
成功	LP-9400	192.168.1.101	12345678901234		2016/01/28 18:00	2016/01/28 18:00
成功	PX-M7050FX	192.168.1.102	12345678901234		2016/01/28 18:00	2016/01/28 18:00
成功	WP-4590 Series	192.168.1.103	12345678901234	¥新選オフィス¥総...	2016/01/28 18:00	2016/01/28 18:00
成功	PX-M7050FX	192.168.1.104	12345678901234	¥新選オフィス	2016/01/28 18:00	2016/01/28 18:00
成功	LP-S7100	192.168.1.105	12345678901234		2016/01/28 18:00	2016/01/28 18:00
成功	LP-M5300	192.168.1.106	12345678901234		2016/01/28 18:00	2016/01/28 18:00
成功	LP-S9000	192.168.1.107	12345678901234		2016/01/28 18:00	2016/01/28 18:00
成功	PX-M7050FX	192.168.1.108	12345678901234	¥新選オフィス¥営...	2016/01/28 18:00	2016/01/28 18:00
成功	PX-M7050FX	192.168.1.109	12345678901234	¥新選オフィス¥営...	2016/01/28 18:00	2016/01/28 18:00
成功	PX-M7050FX	192.168.1.110	12345678901234		2016/01/28 18:00	2016/01/28 18:00
成功	LP-S7100	192.168.1.111	12345678901234		2016/01/28 18:00	2016/01/28 18:00
成功	LP-S7100	192.168.1.112	12345678901234		2016/01/28 18:00	2016/01/28 18:00
成功	LP-S3200	192.168.1.113	12345678901234		2016/01/28 18:00	2016/01/28 18:00
成功	LP-M5300	192.168.1.114	12345678901234		2016/01/28 18:00	2016/01/28 18:00
成功	LP-S7100	192.168.1.115	12345678901234		2016/01/28 18:00	2016/01/28 18:00
成功	LP-M5300	192.168.1.116	12345678901234		2016/01/28 18:00	2016/01/28 18:00
成功	PX-M840F	192.168.1.117	12345678901234		2016/01/28 18:00	2016/01/28 18:00
成功	PX-M7050FX	192.168.1.118	12345678901234		2016/01/28 18:00	2016/01/28 18:00
成功	WF-8590 Series	192.168.1.119	12345678901234		2016/01/28 18:00	2016/01/28 18:00
成功	PX-M7050FP	192.168.1.120	12345678901234		2016/01/28 18:00	2016/01/28 18:00
成功	WF-6590 Series	192.168.1.121	12345678901234		2016/01/28 18:00	2016/01/28 18:00

## ユーザー定義レポート

ツリービューの「ユーザー定義レポート」にはレポート管理に関する情報が表示されます。

### スケジュール

「ユーザー定義レポート」 - 「スケジュール」を選択すると、作成したスケジュールの一覧が表示されます。

上段のリストでスケジュールを選択すると下段に内容が表示されます。

レポート名	データタイプ	最終作成日時	次回作成日時	送信先
デバイスの利用状況	デバイスの利用状況	2016/10/13 17:07	2016/10/13 17:07	ITadmin+deviceusage@epson.jp
消耗品の利用状況	消耗品の利用状況		2016/10/13 18:07	ITadmin+supplyusage@epson.jp
デバイスの利用状況 (開発部)	デバイスの利用状況			ITadmin+deviceusage@epson.jp

レポート名: デバイスの利用状況	
データタイプ	デバイスの利用状況
グループ	¥新選オフィス¥第一営業部
レポートフォーマット	
ソート第1優先キー	機種
ソート第1優先キー 昇順	True
ソート第2優先キー	なし
ソート第2優先キー 昇順	False
デバイス情報	機種;MACアドレス;IPアドレス
データ列	累計印刷回数;モノクロ累計印刷回数;カラー累計印刷回数
対象日の範囲	
レポート期間	1週間ごと
直前	1 月
基準日	作成日
メール送信	

### アーカイブレポート

「ユーザー定義レポート」 - 「アーカイブ」を選択すると、アーカイブされたレポートの一覧が表示されます。

レポートを選択するとレポートの内容が表示されます。

レポート名	作成日時	PDF	HTML	CSV
デバイスの利用状況	2016/10/13 17:07	✓	✓	✓
1時間のピーク利用状況	2016/10/13 17:36	✓	✓	✓
デバイスの利用状況	2016/10/13 17:57	✓	✓	✓
デバイスの利用状況 (開発部)	2016/10/13 18:01	✓	✓	✓

レポート名: デバイスの利用状況

EPSON

Epson Device Admin Report

レポートタイプ

作成日

グループ化の基準

並べ替えの基準

対象日の範囲

レポート期間

デバイスの利用状況

2016/10/13 17:07:00

第一営業部

機種 (ソート第1優先キー), なし (ソート第2優先キー)

2016/09/14 ~ 2016/10/13

1週間ごと

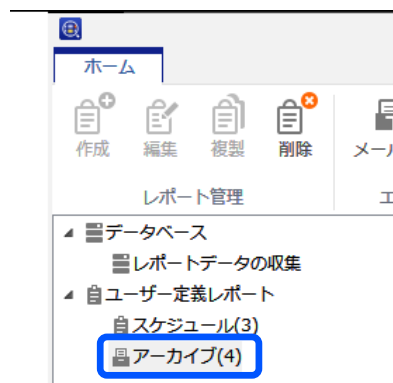
グループ: 第一営業部

対象日の範囲	機種	MACアドレス	IPアドレス	累計印刷量	モノクロ累計印刷量	カラー累計印刷量
2016/09/14 ~ 2016/09/20	EP-M60FT Series	94:2b:9c:a0:2b:2b	192.168.179.208	44,322	44,322	44,322
	LP-M6170	94:2b:9c:a0:2b:2b	192.168.179.208			

## アーカイブレポートのメール送信

アーカイブされたレポートをメールで送信できます。

- 1 サイドバータスクメニューで「レポート」を選択します。
- 2 ツリービューで「ユーザー定義レポート」 - 「アーカイブ」を選択します。



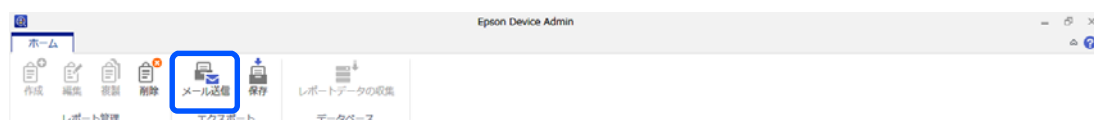
- 3 レポートリストからメールで送信するレポートを選択します。

### 参考

複数選択するときは、[Ctrl] または [Shift] を押したままクリックして選択してください。

- 4 リボンメニューで「メール送信」をクリックします。

メール設定ダイアログが表示されます。



## 5 設定項目を入力します。

以下を参考に設定してください。

項目	説明
メールアドレス	レポートを通知するメールの宛先を入力します。 複数の宛先を入力する場合は、; で区切ります。区切りの文字を合わせて 32767 バイトまで入力できます。 宛先はすべて To になります。CC、BCC は設定できません。
件名	レポートを通知するメールの件名です。256 文字まで入力できます。
フォーマット	レポートのファイル形式です。PDF、HTML、CSV から選択します。

## 6 【OK】 をクリックします。

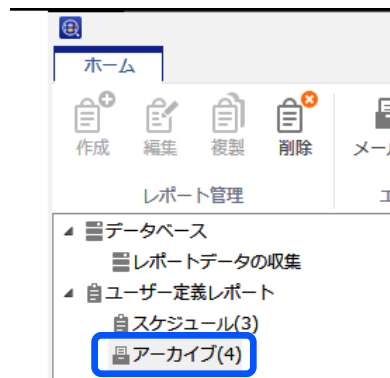
設定された内容でメールが送信されます。

# アーカイブレポートの保存と削除

アーカイブされたレポートは保存、削除できます。

## 1 サイドバータスクメニューで【レポート】を選択します。

## 2 ツリービューで【ユーザー定義レポート】 - 【アーカイブ】を選択します。



## 3 レポートリストから保存または削除するレポートを選択します。

削除のみ複数選択できます。

### 参考

複数選択するときは、[Ctrl] または [Shift] を押したままクリックして選択してください。

4

リボンメニューで目的の編集ボタンをクリックし、表示されたダイアログで保存設定や削除確認をします。



- 保存する場合：[保存]  
保存設定画面が表示されます。「レポートテンプレート名+レポート生成日時」がファイル名に設定されます。必要に応じて変更してください。  
保存するファイル形式と保存場所を選択して [OK] をクリックします。
- 削除する場合：[削除]  
削除確認画面が表示されます。[OK] をクリックすると削除されます。

# メンテナンス

## ステータスシートの印刷

デバイスがプリンターの場合、ステータスシートを印刷してデバイスの詳細情報を確認できます。  
複数のデバイスを選択してステータスシート印刷を指示できます。

- 1 サイドバータスクメニューで「デバイス」を選択します。
- 2 デバイスリストからステータスシートを印刷するデバイス（プリンター）を選択します。

### 参考

複数選択するときは、[Ctrl] または [Shift] を押したままクリックして選択してください。

- 3 リボンメニューの「ホーム」タブで「ステータスシートを印刷」をクリックします。



- 4 [OK] をクリックします。  
選択したプリンターからステータスシートが印刷されます。

## バックアップとリストア

システム設定やデバイス設定などをバックアップ、リストアできます。システム障害への対応やデバイスの追加や置き替えなどに備えることができます。

## バックアップ、リストアできる項目

バックアップ、リストアできる項目は以下の通りです。

- システム設定  
Epson Device Admin の全データとシステム設定をファイルに保存、読み込みできます。  
[「システム設定」 100 ページ](#)
- デバイスリスト  
探索、追加したデバイスリストをファイルに保存、読み込みできます。  
[「デバイスリスト」 102 ページ](#)
- パスワード一覧  
Epson Device Admin で管理しているパスワード一覧をファイルに保存、読み込みできます。  
[「パスワード設定」 104 ページ](#)
- 宛先帳  
メールアドレスやファクス番号などデバイスに保存されている宛先帳をファイルに保存、読み込みできます。

[「宛先帳」 107 ページ](#)

- 設定テンプレート  
作成したデバイス設定テンプレートをファイルに保存、読み込みできます。  
[「設定テンプレート」 111 ページ](#)
- デバイス設定  
デバイスに設定されている値をファイルに保存、読み込みできます。  
[「デバイス設定のバックアップ」 132 ページ](#)

---

## システム設定

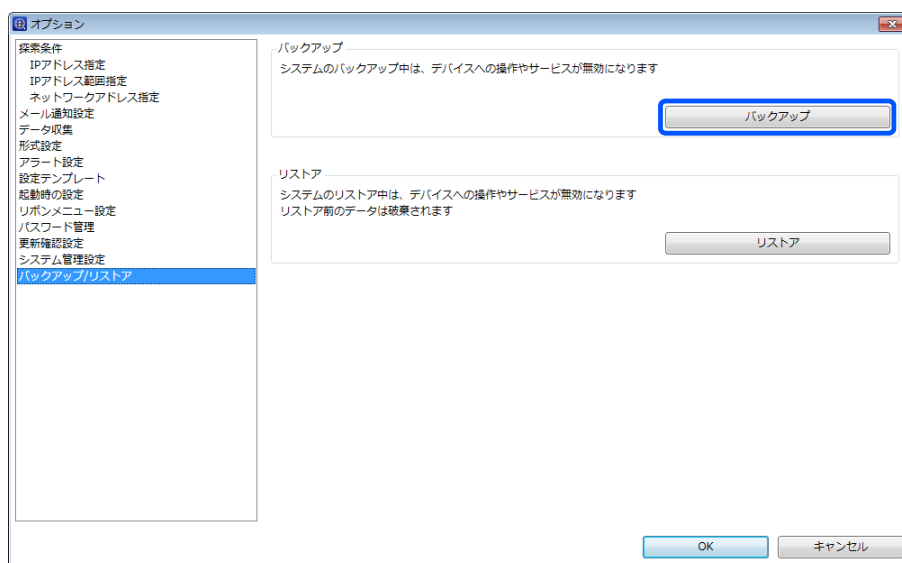
メール通知設定や探索条件、外部サイトへのアクセス設定などオプションでの設定値、アラートや形式設定などが保存されているデータベースファイルを Zip 形式で保存します。

### システム設定のバックアップ

#### 参考

- データベースのサイズによってバックアップに時間がかかる場合があります。
- ファームウェア更新スケジュールの実行中は、バックアップもリストアもできません。

- 1 サイドバータスクメニューで【デバイス】を選択します。
- 2 リボンメニューの【ホーム】タブで【オプション】をクリックします。
- 3 【バックアップ / リストア】をクリックします。
- 4 【バックアップ】をクリックします。  
バックアップの確認画面が表示されます。

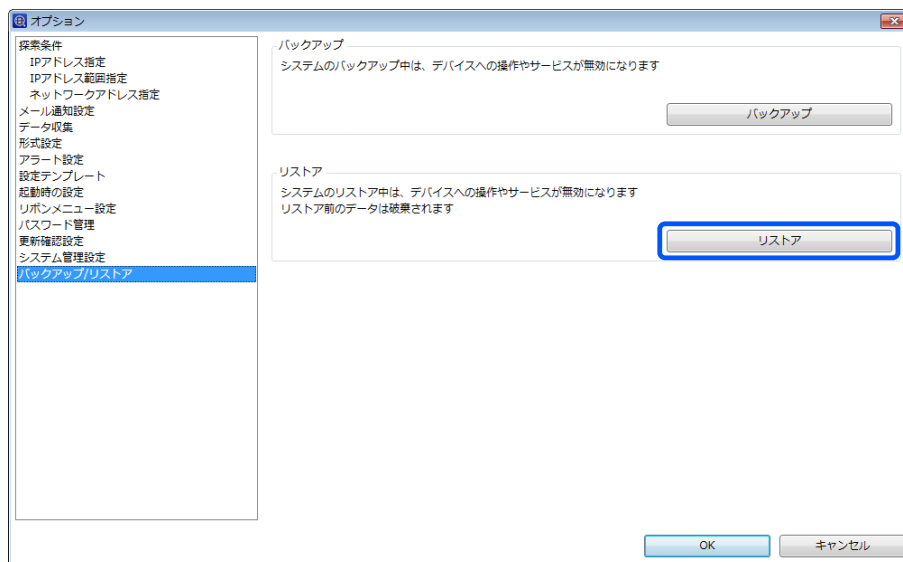




- 5 [はい] をクリックします。  
システムのバックアップ画面が表示されます。
- 6 [参照] をクリックしてバックアップファイルの保存先とファイル名を指定し、[保存] をクリックします。
- 7 パスワードを設定する場合は、[パスワードを設定する] をチェックしてパスワードを入力します。  
パスワードは ASCII 文字で 20 文字以内で入力してください。
- 8 [実行] をクリックします。  
指定した出力先にバックアップファイルが作成されます。

## システム設定のリストア

- 1 サイドバータスクメニューで [デバイス] を選択します。
- 2 リボンメニューの [ホーム] タブで [オプション] をクリックします。
- 3 [バックアップ / リストア] をクリックします。
- 4 [リストア] をクリックします。



- 5 保存されているバックアップファイルを指定し、[開く] をクリックします。
- 6 バックアップファイルにパスワードが設定されていた場合、パスワードを入力して [実行] をクリックします。
- 7 [OK] をクリックします。  
リストアが開始されます。

## デバイスリスト

デバイス管理画面のデバイスリストの情報をデバイス情報ファイルに保存、読み込みできます。

### 参考

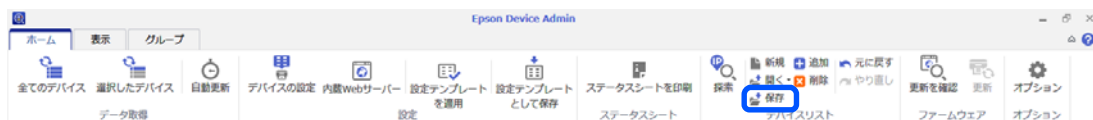
- デバイスリスト管理画面リボンメニューの「新規」、[開く]、[保存] ボタンは「オプション」 - 「リボンメニュー設定」で「新規、開く、保存ボタンを使用する」をチェックしていると表示されます。  
「オプション設定」 20 ページ
- デバイスリストの保存ではグループ設定情報は保存されません。  
グループ設定情報はシステム設定のバックアップで保存されます。  
「システム設定」 100 ページ

デバイス情報ファイルには以下があります。

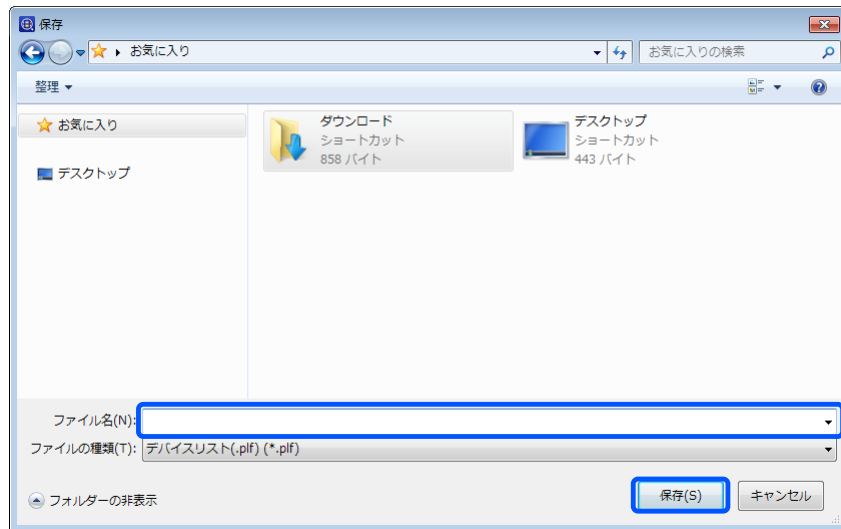
- デバイスリストファイル（PLF 形式）  
デバイスリストへの指定方法、IP アドレス、MAC アドレスが記載された XML ファイルです。
- デバイスリストファイル（TXT 形式）  
IP アドレスが改行区切りで記載された TXT ファイルです。
- デバイスデータファイル（PRDF 形式）  
デバイスリストファイルの情報を収集したデバイス情報を加えた情報が記載された XML ファイルです。セキュリティを高めるために暗号化されています。

## デバイス情報ファイルの保存

- 1 サイドバータスクメニューで「デバイス」を選択します。
- 2 リボンメニューで「ホーム」タブをクリックします。
- 3 「デバイスリスト」グループ - 「保存」をクリックします。



## 4 ファイル形式と保存場所を選択します。



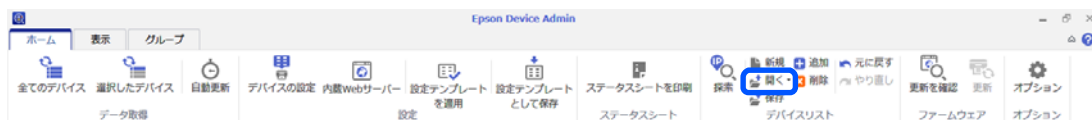
## 5 「保存」をクリックします。

# デバイス情報ファイルの読み込み

## 1 サイドバータスクメニューで「デバイス」を選択します。

## 2 リボンメニューで「ホーム」タブをクリックします。

## 3 「デバイスリスト」グループ - 「開く」をクリックします。



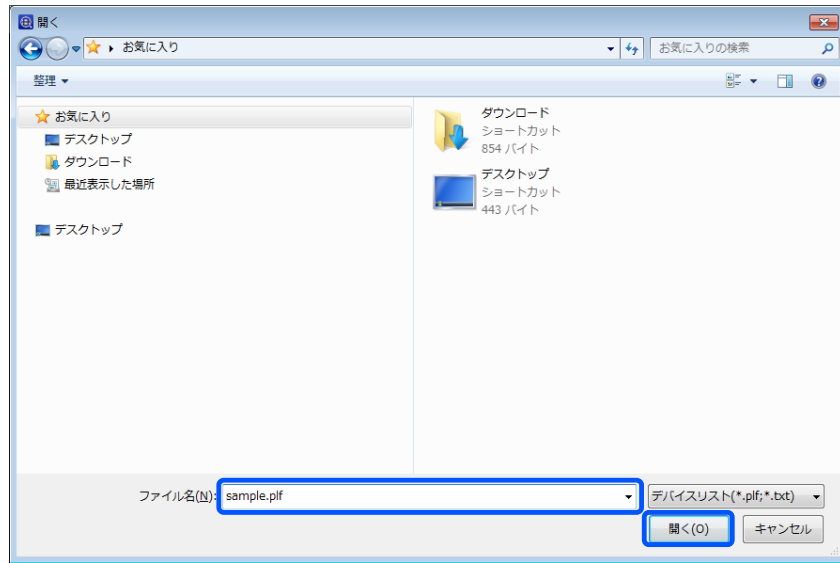
## 4 読み込むファイルの情報の処理を選択します。



## 5 デバイス情報ファイルを選択し、「開く」をクリックします。

デバイスリストファイル（PLF 形式 / TXT 形式）を読み込む場合、MAC アドレス、IP アドレス以外の情報は表示されません。表示するにはデバイス情報を更新してください。

デバイスデータファイル（PRDF 形式）を読み込むと、ツリービューの第 1 階層に読み取り専用の「過去ログ」グループが追加されます。読み込んだデバイス情報はここへ表示されます。再度デバイスデータファイルを読み込むと「過去ログ」グループは新しい情報に置き換わります。



---

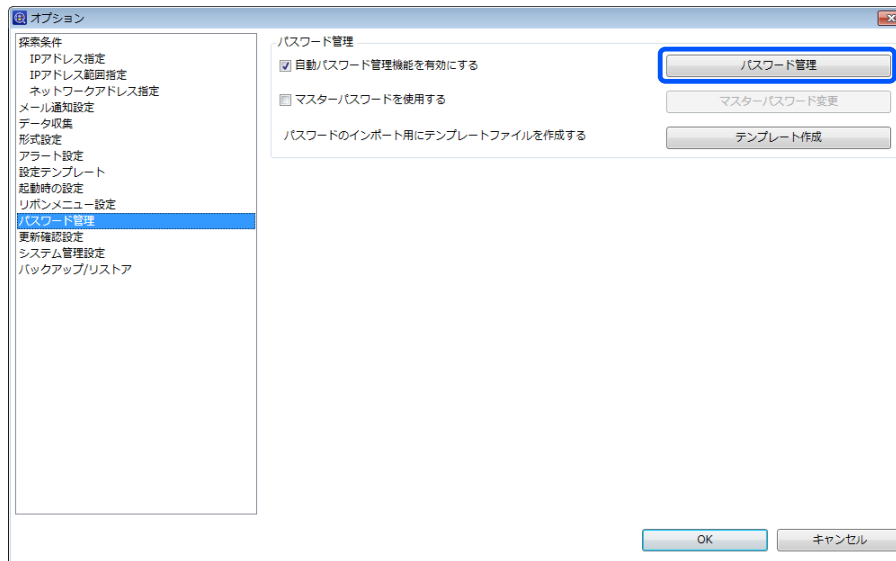
## パスワード設定

パスワード管理リストを使ってデバイスの管理者用パスワードをバックアップ、リストアします。  
パスワードの追加と編集については以下をご覧ください。

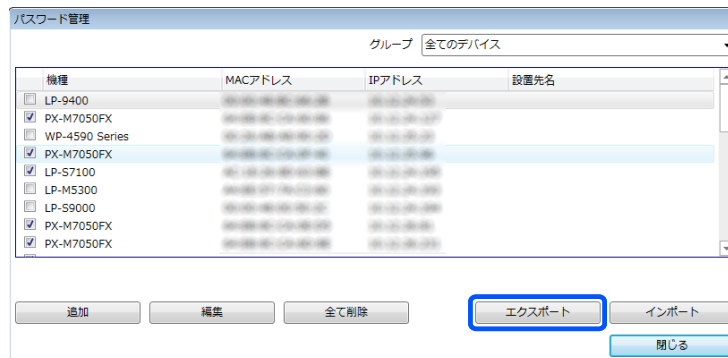
[「パスワードの追加と編集」 52 ページ](#)

## パスワードのバックアップ

- 1 サイドバータスクメニューで【デバイス】を選択します。
- 2 リボンメニューで【オプション】をクリックします。
- 3 【パスワード管理】を選択します。
- 4 【パスワード管理】をクリックします。  
パスワード管理画面が表示されます。



- 5 【エクスポート】をクリックします。  
パスワードのバックアップ画面が表示されます。



- 6 【参照】をクリックしてバックアップファイルの保存先を指定します。



- 7 任意のパスワードを【パスワード】へ入力して同じパスワードを【パスワードの再入力】へ入力します。  
パスワードはASCII文字で20文字以内で入力してください。

- 8 【実行】をクリックします。

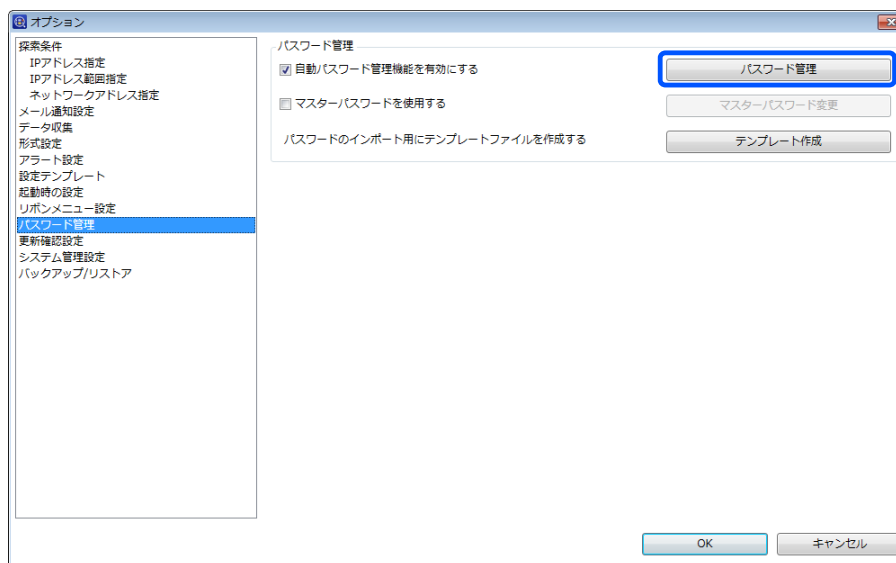
## パスワードのリストア

1 サイドバータスクメニューで【デバイス】を選択します。

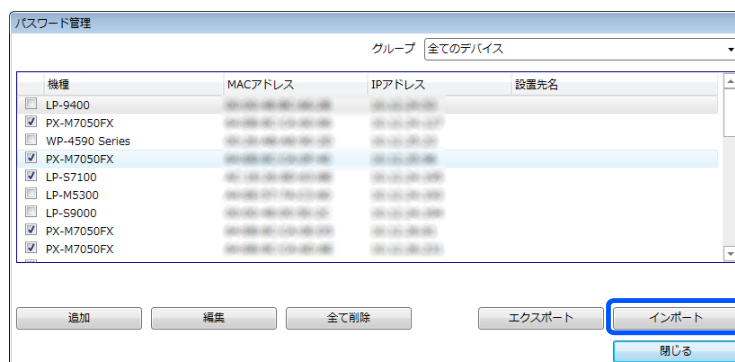
2 リボンメニューで【オプション】をクリックします。

3 【パスワード管理】を選択します。

4 【パスワード管理】をクリックします。  
パスワード管理画面が表示されます。



5 【インポート】をクリックします。  
パスワードのインポート画面が表示されます。



6 【参照】をクリックして読み込むバックアップファイルを指定します。

デバイスに設定されているパスワードを上書きする場合は、【既存のパスワードを上書きする】にチェックを入れます。

- 7 バックアップ時に設定したパスワードを【パスワード】へ入力します。  
パスワードは ASCII 文字で 20 文字以内で入力してください。

- 8 【実行】をクリックします。

---

## 宛先帳

メールアドレスや保存先フォルダー、ファクスの短縮番号などをパスワードを設定してファイルにエクスポート、インポートできます。

### 参考

本機能は一部の対応機種のみで使用できます。

## パスワードを設定してエクスポート

パスワードや個人情報などセキュリティ項目を含まない項目のみのエクスポートは以下をご覧ください。

[「各種宛先帳の登録」55 ページ](#)

- 1 サイドバータスクメニューで【デバイス】を選択します。
- 2 デバイスリストで宛先をエクスポートするデバイスを選択します。

### 参考

複数選択するときは、[Ctrl] または [Shift] を押したままクリックして選択してください。

- 3 リボンメニューの【ホーム】タブから【デバイスの設定】をクリックします。
- 4 以下から宛先を編集したい項目をクリックします。表示される項目はデバイスによって異なります。

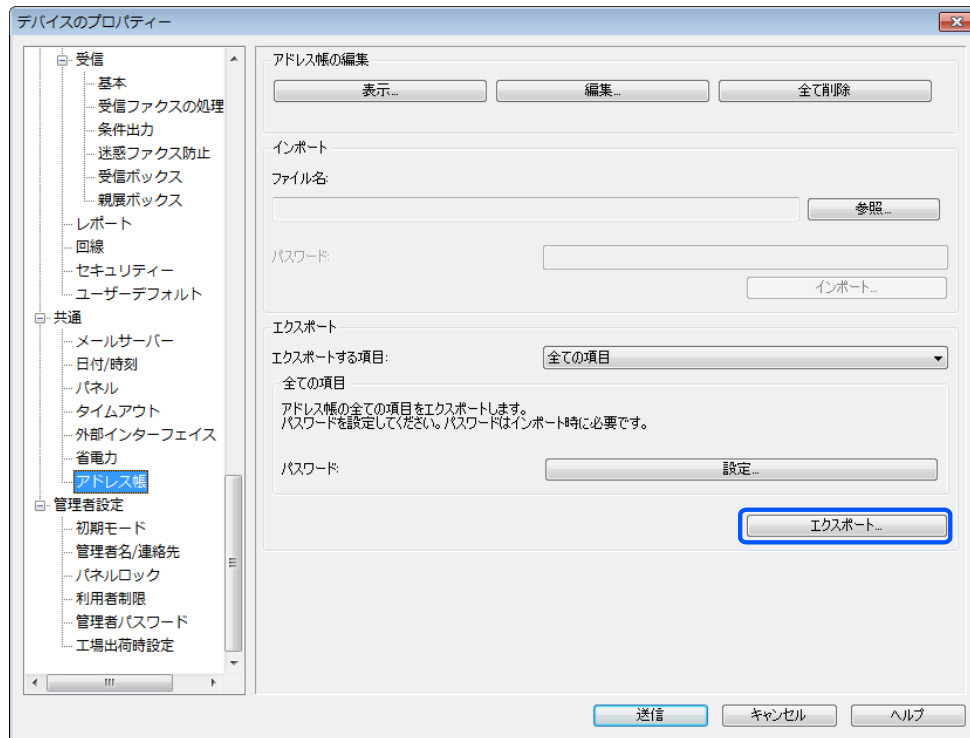
- 【共通】 - 【アドレス帳】
- 【管理者設定】 - 【利用者制限】
- 【スキャン】 - 【メール】
- 【スキャン】 - 【保存先フォルダー】
- 【ファクス】 - 【受信】 - 【メール】
- 【ファクス】 - 【ファクス番号】

各項目の詳細は、以下をご覧ください。

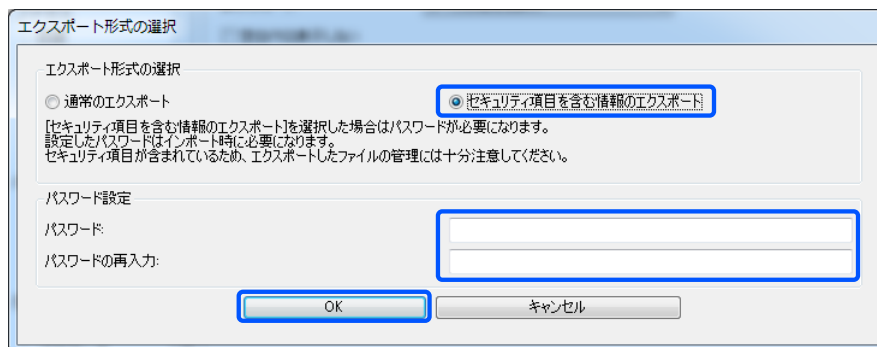
Epson Device Admin ヘルプ「デバイスのプロパティー」

5 「[エクスポート]」をクリックします。

画面は、「[アドレス帳]」の場合です。



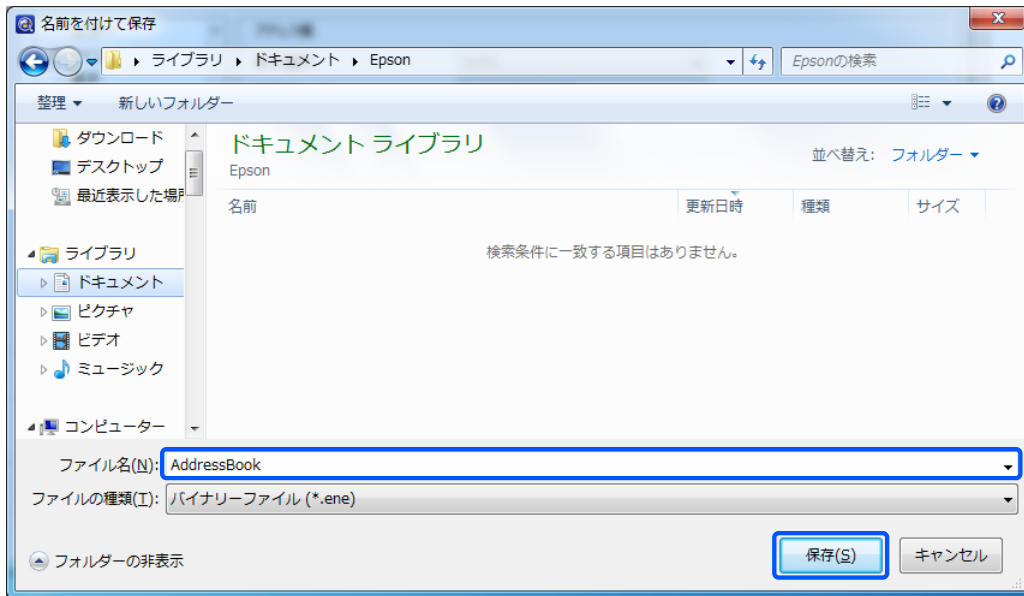
6 「[セキュリティ項目を含む情報のエクスポート]」を選択し、パスワードを設定して「[OK]」をクリックします。



7 「[ファイル名]」を入力して、「[保存]」をクリックします。

暗号化した ENE 形式のバイナリファイルが保存されます。ファイルは編集できません。  
また、インポートする場合はパスワードの入力が必要です。





## セキュリティ項目を含む情報のインポート

パスワードや個人情報などセキュリティ項目を含まない項目のみのインポートは以下をご覧ください。

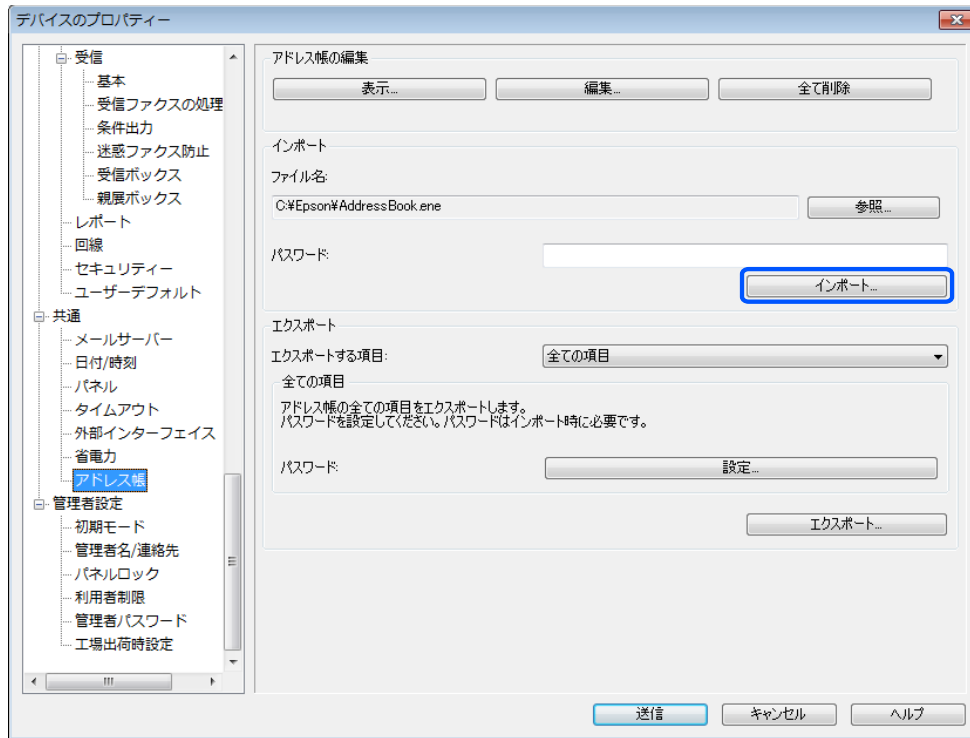
[「設定用ファイルを読み込み設定」 60 ページ](#)

- 1 サイドバータスクメニューで【デバイス】を選択します。
- 2 デバイスリストで宛先をエクスポートするデバイスを選択します。

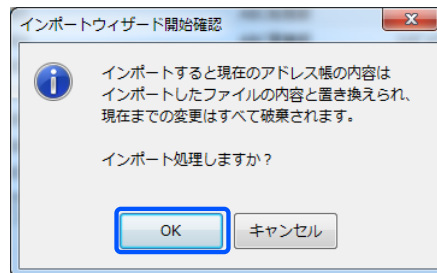
### 参考

複数選択するときは、[Ctrl] または [Shift] を押したままクリックして選択してください。

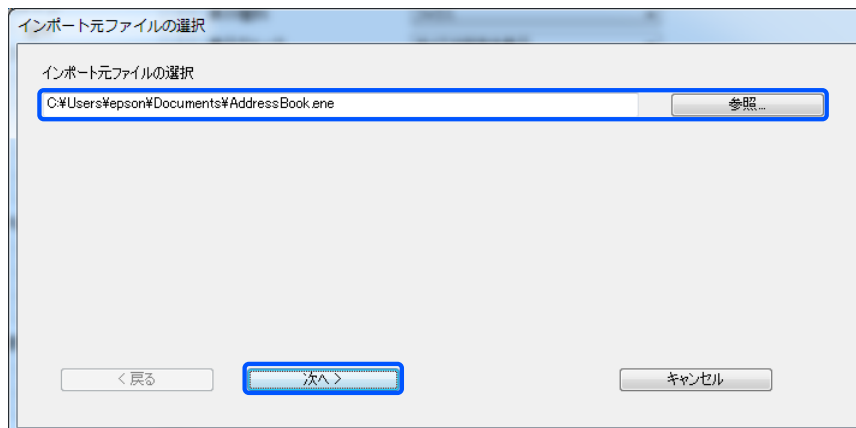
- 3 リボンメニューの【ホーム】タブから【デバイスの設定】をクリックします。
- 4 【メール】 / 【保存先フォルダー】 / 【ファクス番号】 などからインポートしたい項目をクリックします。表示される項目はデバイスによって異なります。
- 5 【インポート】 をクリックします。  
画面は、【アドレス帳】 の場合です。



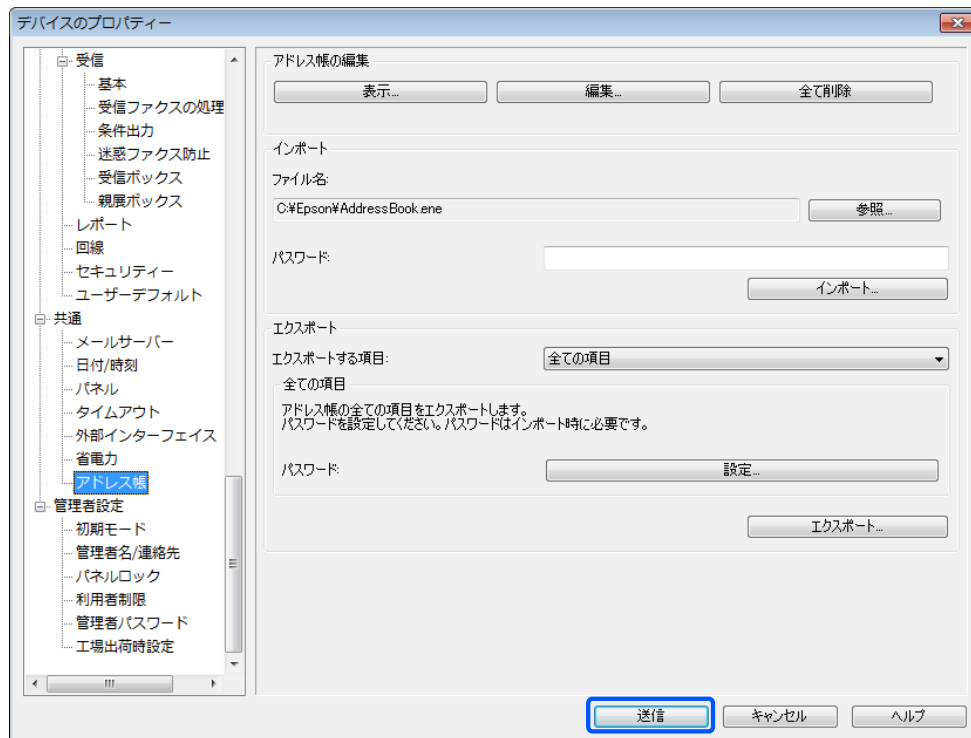
- 6 インポートウィザード開始確認メッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。



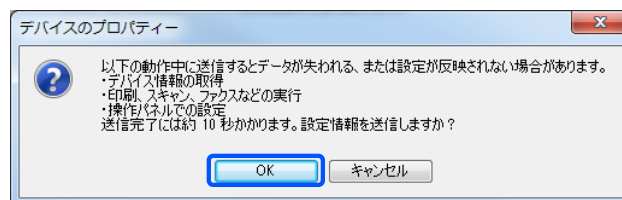
- 7 インポートするファイルのパスを指定して、[次へ] をクリックします。  
[参照] をクリックし、メールアドレスや利用者制限機能のユーザー情報などを入力したバイナリファイル (\*.ene) を選択して、[開く] をクリックします。エクスポート時に設定したパスワードを入力してください。



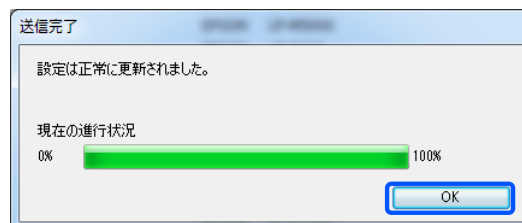
8 [送信] をクリックします。



9 確認メッセージが表示され、[OK] をクリックすると設定送信が開始されます。



10 [OK] をクリックして送信完了です。



## 設定テンプレート

設定テンプレートをファイルに保存、読み込みできます。

## 設定テンプレートの保存

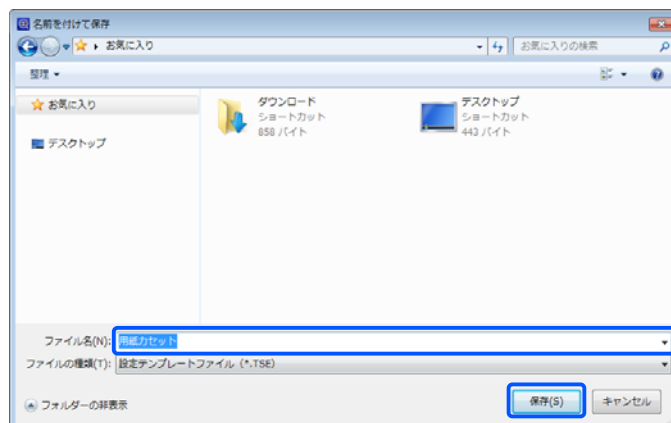
- 1 サイドバータスクメニューで【設定】を選択します。
- 2 テンプレートリストからバックアップする設定テンプレートを選択します。  
プリセットの設定テンプレートは選択できません。

**参考**  
複数選択するときは、[Ctrl] または [Shift] を押したままクリックして選択してください。

- 3 リボンメニューから【バックアップ】をクリックします。



- 4 保存場所を選択してファイルに名前を付けます。

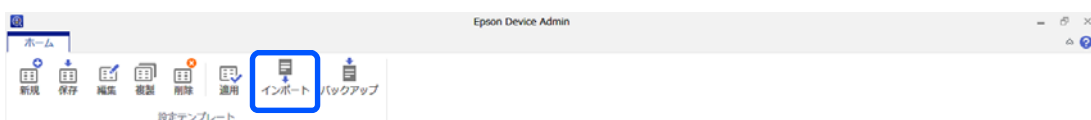


- 5 【保存】をクリックします。  
TSE 形式のテンプレートファイルが Zip でまとめて保存されます。

## 設定テンプレートの読み込み

あらかじめ設定テンプレートがまとめられている Zip ファイルを解凍して、設定テンプレートファイル（TSE 形式）を取り出してください。

- 1 サイドバータスクメニューで【設定】を選択します。
- 2 リボンメニューから【インポート】をクリックします。  
ファイルインポートの画面が表示されます。



3 インポートする設定テンプレートファイル（TSE 形式）を選択します。

4 【開く】をクリックします。  
設定テンプレートがインポートされ、結果が表示されます。

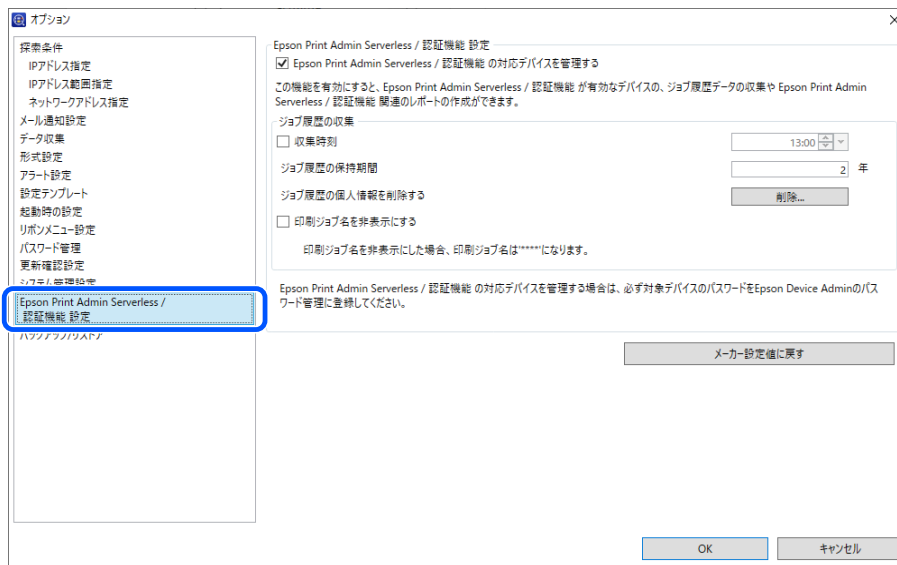
5 【OK】をクリックします。

## Epson Print Admin Serverless / 認証機能設定 のジョブ履歴から個人情報情報を削除する

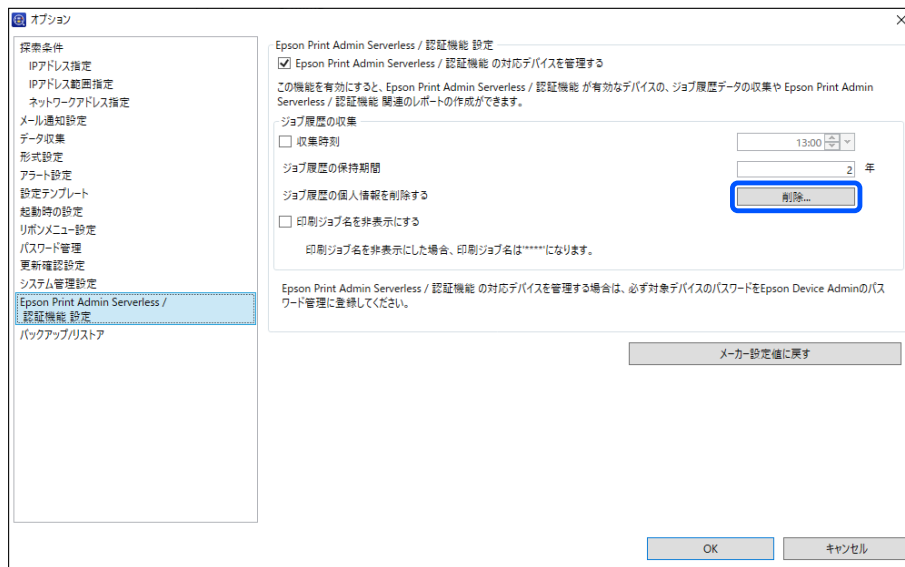
Epson Print Admin Serverless、または認証機能設定のジョブ履歴に登録されている個人情報情報を削除します。

1 リボンメニューから【オプション】を選択します。

2 【オプション】 から【Epson Print Admin Serverless / 認証機能 設定】を選択します。



**3** [ジョブ履歴の個人情報を削除する] の項目から [削除] をクリックします。



**4** 削除の注意事項が表示されるので [次へ] をクリックします。

**5** 個人情報を選択する画面（ユーザー ID、メールアドレス、ファクス番号）が表示されます。削除する個人情報を選択し、[次へ] をクリックします。

登録情報がある画面のみ表示されます。

**6** 確認画面で [OK] をクリックすると削除を実行します。

# トラブルシューティング

## トラブルシューティング

Epson Device Admin に関連したトラブルシューティングです。



### デバイスを探索できない

デバイスに IP アドレスを割り当ててから、IP アドレスを指定して追加してください。



### ネットワーク I/F を設定できない、またはネットワーク上で使用できない

#### 処置 1)

ネットワークステータスシートが印刷できるかどうか確認してください。

ステータスシートの印刷ができない場合は、プリンター本体の [I/F カード] または [ネットワーク I/F] 設定が、[ツカウ] または [使う] になっているか確認してください。ステータスシートの印刷ができる場合は、ステータスシートに印刷されたネットワークの設定に誤りがないか確認してください。

#### 処置 2)

ハブ、ケーブルなどが正常か確認してください。まずハブを見て、デバイスが接続されているポートのリンクランプが点灯 / 点滅しているか確認してください。

リンクランプが消灯しているときは、以下のことを確認してください。

ほかのポートに接続してみる

ほかのハブに接続してみる

LAN ケーブルを交換してみる

以上を確認しても通信ができないときは、ネットワーク I/F が故障している可能性があります。デバイスの取扱説明書をご覧ください。

#### 処置 3)

IP アドレスがお使いの環境で有効な値に設定されているか確認してください。

工場出荷時は [192.168.192.168] ですが、製品の仕様上、このアドレスはネットワーク上で使用できません。お使いの環境に合わせて、必ずアドレスを変更してください。

#### 処置 4)

[Windows セキュリティの重要な警告] 画面や市販のセキュリティソフトウェアが表示した画面で、[ブロックする]、[キャンセル]、[遮断する] を選択しなかったか確認してください。

[ブロックする]、[キャンセル]、[遮断する] を選択すると、通信ができなくなります。通信を可能にするには Windows ファイアウォールや市販のセキュリティソフトウェアで、例外のアプリケーションとして本アプリケーションソフトウェアを登録してください。

市販のセキュリティアプリケーションソフトウェアの中には、以上の作業をしても通信できないことがあります。そのときは、市販のセキュリティアプリケーションソフトウェアを一旦終了してから、本アプリケーションソフトウェアを使用してみてください。本アプリケーションソフトウェアの使用後は、セキュリティアプリケーションソフトウェアを有効にしてください。



### 設定する IP アドレスが分からない

#### 処置 1)

ルータ（またはアクセスポイント）の DHCP 機能を使用する場合、デバイスが自動的に IP アドレスを取得するように設定します。

#### 処置 2)

手動で IP アドレスとサブネットマスクを設定するには、以下をご覧ください。

1. お使いのコンピューターに接続されているルータ（またはアクセスポイント）の IP アドレスを確認してください。IP アドレスの確認方法はルータのマニュアルをご覧ください。

2. IPv4 の場合、IP アドレスは 4 つの数値のかたまりで表現されています。始めから 3 つめまではルータと同じ値を設定し、最後のかたまりに 1 ～ 254 の範囲でデバイス固有の数値を設定します。

設定例：

ルータの IP アドレス：192.168.1.1

デバイスの設定：192.168.1.3

サブネットマスクは小規模ネットワークでは通常 255.255.255.0 を設定します。ネットワーク内のすべてのデバイスには、これを使用します。また、ゲートウェイの値が設定されている場合、ルータの IP アドレスと同じ値を使用します。ただし、192.168.192.168 のアドレスは製品の仕様上、ネットワーク上で使用できません。



**Epson Device Admin の起動時に「ネットワークが無効、または設定されていません。ネットワークの設定を確認してください。」と表示される**

このメッセージは、以下のようなときに表示されます。

コンピューターに TCP/IP が組み込まれていない場合

コンピューターの IP アドレスが正しく設定されていない場合

DHCP サーバーからアドレスを取得する設定下で、DHCP サーバーがない場合

お使いのコンピューターの状態を確認して、TCP/IP の組み込みと IP アドレスを設定してください。



**デバイスリストで【IP アドレス】に【未設定】と表示される**

処置 1)

【IP アドレス】が表示されないことがあります。ネットワーク I/F は設定できます。この場合、デバイス【MAC アドレス】で判別します。MAC アドレスはステータスシート、操作パネルなどで確認できます。確認方法の詳細は製品のマニュアルをご覧ください。

IP アドレスは、ネットワーク I/F の設定をすると、正しく表示されるようになります。

処置 2)

【デバイス】 - 【オプション】 から探索条件を設定して【探索】をクリックしてください。

[「探索条件の設定」 27 ページ](#)

処置 3)

【オプション】 - 【起動時の設定】の【探索と復帰確認の待ち時間（10-180）】を大きい値に設定してください。ただし、大きい値にするほど探索に時間がかかります。

[「オプション設定」 20 ページ](#)



**IP アドレスを変更していないのに、IP アドレスが変わってしまう（設定した IP アドレスが変わってしまう）**

処置 1)

【TCP/IP（基本）】画面で、【IP アドレスの設定方法】を【手動】にし、IP アドレスを手動で入力してください。

処置 2)

ダイナミック DNS に対応していない DHCP サーバーをお使いの環境で、【IP アドレスの設定方法】を【自動】に設定するときは、デバイスの電源を常に同じ順番で入れるか、電源を常時入れておいてください。



**他社製デバイスがデバイスリストに表示されない、または表示されるが取得される情報が少ない**

Epson Device Admin は、デバイスからの情報の収集に SNMP プロトコルを使用します。

Epson Device Admin で他社製デバイスの探索や情報収集をする場合は、デバイスが SNMP プロトコルをサポートしており、MIB II (RFC 1213)、HostResource MIB (RFC1514)、Printer MIB (RFC 1759) に準拠している必要があります。

Epson Device Admin はこれらの MIB を使用してデバイスの情報を取得します。そのため、他社製デバイスはこれらの MIB に応答可能でないと情報が取得されません。

また、他社製デバイスから取得される情報はエプソン製デバイスよりも少なくなる場合があります。



---

# 付録

---

## 他のデバイス管理の方法

SYLK ファイルを使ってデバイス設定をすることもできます。

---

### IP アドレスの割り当て

Epson Device Admin では IP アドレスが割り当てられてなくても、ネットワークにあるエプソン製デバイスを認識できます。この機能を使って IP アドレスを割り当てることができます。

- 1 デバイスをネットワークに **LAN** ケーブルで接続します。
- 2 デバイスの探索を行います。  
必要に応じて探索する範囲を設定します。  
[「デバイスの探索」 26 ページ](#)
- 3 デバイスリストのフィルター機能で **【IP アドレス】** が未設定のデバイスを抽出します。  
[「フィルターの使い方」 74 ページ](#)
- 4 設定用の **SYLK** ファイルを保存します。  
[「設定値を記述したファイルを作成」 123 ページ](#)
- 5 **SYLK** ファイルの **IP** アドレスやサブネットマスクなどネットワーク設定のカラムに **IP** アドレスを入力して保存します。
- 6 一括設定機能を使ってデバイスに **IP** アドレスを設定します。  
[「一括設定」 118 ページ](#)

---

### 重複項目のチェック

管理している数多くのデバイスを管理している場合、デバイスの置き換え時に IP アドレスのようにデバイスごとにユニークな値でなければならない設定項目が重複してしまうことがあります。

デバイス設定の SYLK ファイルでの読み込みでは、重複項目をチェックする機能があります。以下は IP アドレスの重複を見つける方法の一例です。

- 1 重複項目を確認するデバイスをグループごと、またはすべて選択します。
- 2 設定用の **SYLK** ファイルを保存します。  
[「設定値を記述したファイルを作成」 123 ページ](#)

- 3 **SYLK ファイルをすべて適用します。**  
[「情報を自動で割り当てる設定」 118 ページ](#)

- 4 重複項目がある場合、以下のような画面が表示されます。  
メッセージを確認します。



- 5 手順 2 の SYLK ファイルで重複項目を検索して、修正します。

- 6 再度 SYLK ファイルを適用します。

## 一括設定

設定値を記述した SYLK ファイル（拡張子 .slk）を読み込んで、複数のデバイスを一括で設定できます。  
SYLK ファイルの作成方法は以下をご覧ください。

[「設定値を記述した SYLK ファイルを作成する」 127 ページ](#)

### 参考

デバイスリスト管理画面リボンメニューの「一括で設定」ボタンは「オプション」 - 「リボンメニュー設定」で「一括設定を使用する」をチェックしていると表示されます。

[「オプション設定」 20 ページ](#)

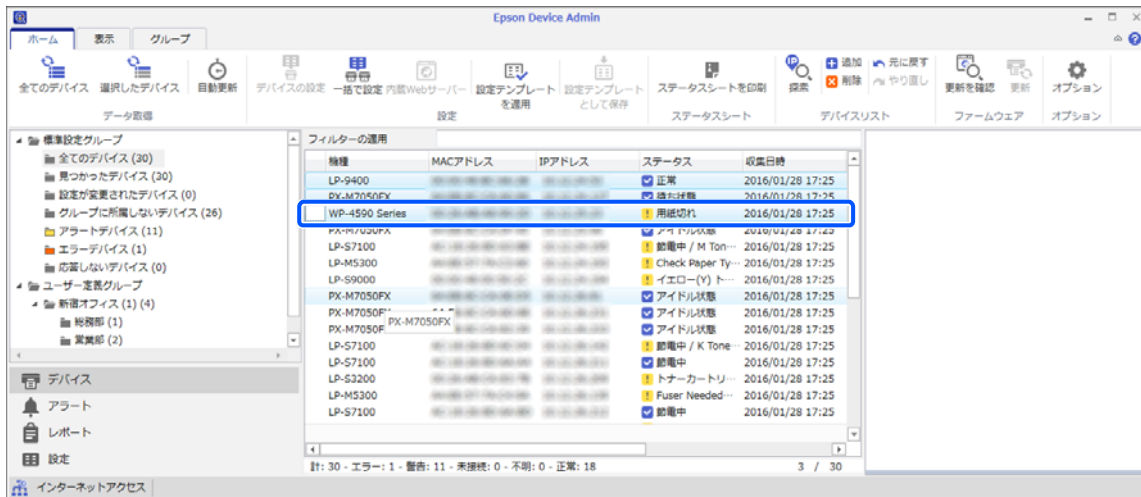
---

## 情報を自動で割り当てる設定

- 1 サイドバータスクメニューで「デバイス」を選択します。
- 2 デバイスリストで設定をバックアップするデバイスを選択します。

### 参考

複数選択するときは、[Ctrl] または [Shift] を押したままクリックして選択してください。

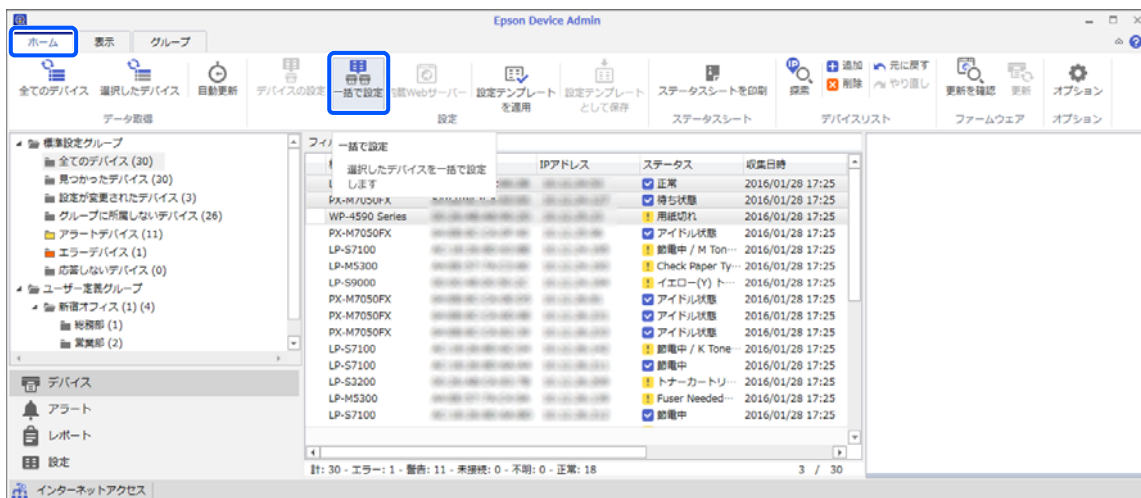


3 リボンメニューの「ホーム」タブから「一括で設定」をクリックします。

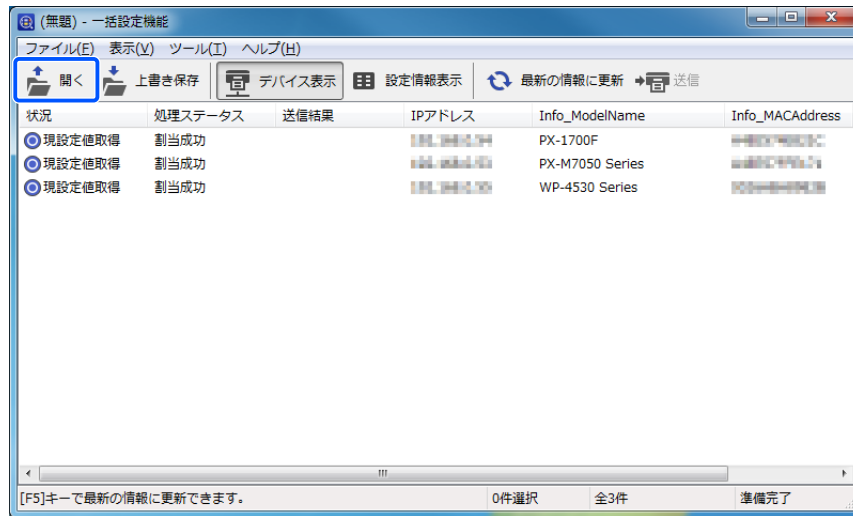
### 参考

デバイスリスト管理画面リボンメニューの「一括で設定」ボタンは「オプション」-「リボンメニュー設定」で「一括設定を使用する」をチェックしていると表示されます。

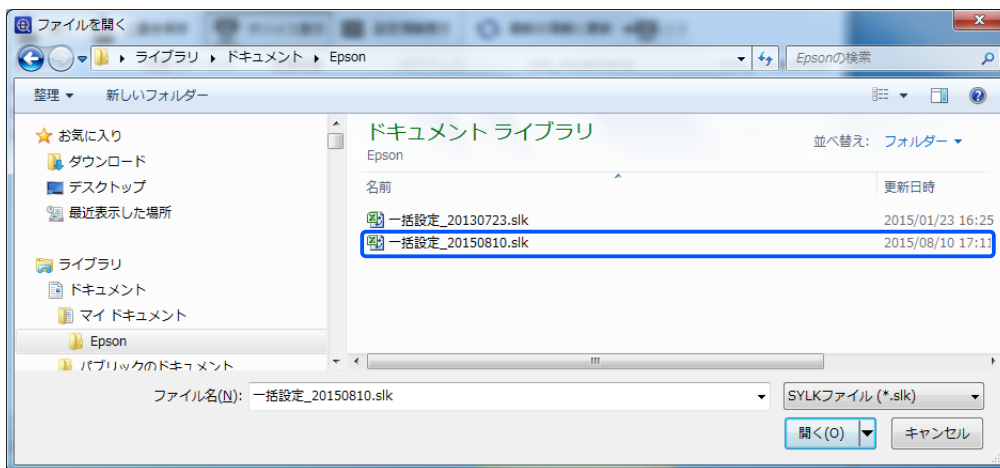
[「オプション設定」20 ページ](#)



## 4 [開く] をクリックします。



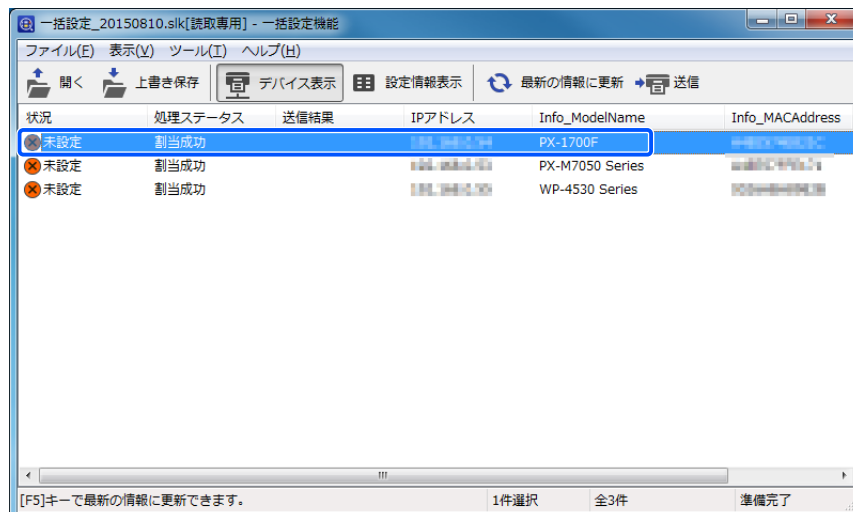
## 5 設定値を記述した **SYLK** ファイル（拡張子 **.slk**）を選択して [開く] をクリックします。 SYLK ファイルに記述した設定値がデバイスに割り当てられます。



## 6 [状況] の欄が [未設定]、[処理ステータス] が [割当成功] となっているデバイスの中から、一括設定するデバイスを選択します。

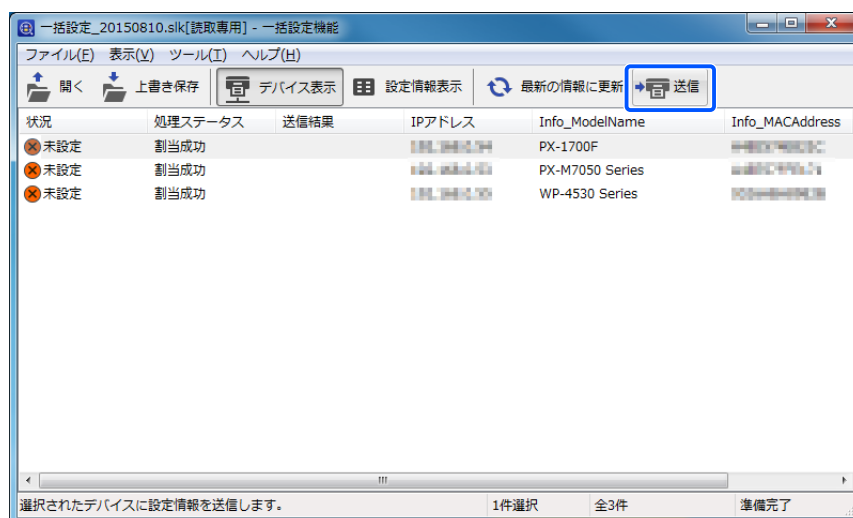
### 参考

複数選択するときは、[Ctrl] または [Shift] を押したままクリックして選択してください。

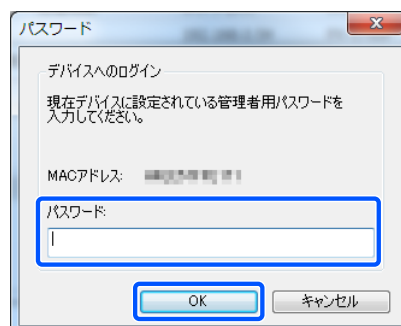


「一括で設定」画面の詳細は以下をご覧ください。  
Epson Device Admin ヘルプ「[一括設定] 画面」

## 7 「送信」をクリックします。



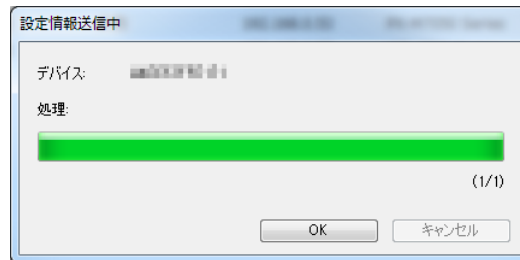
## 8 パスワード入力画面が表示されたときは、パスワードを入力して【OK】をクリックします。 設定が送信されます。



**参考**

- プロGRESSバーが終了するまではネットワーク I/F に情報が送られています。デバイスまたは無線プリントアダプターの電源を切ったり、データをデバイスに送らないでください。
- パスワードを設定するときは、以下をご覧ください。  
[「管理者パスワードの設定」 49 ページ](#)

**9** **[OK]** をクリックします。

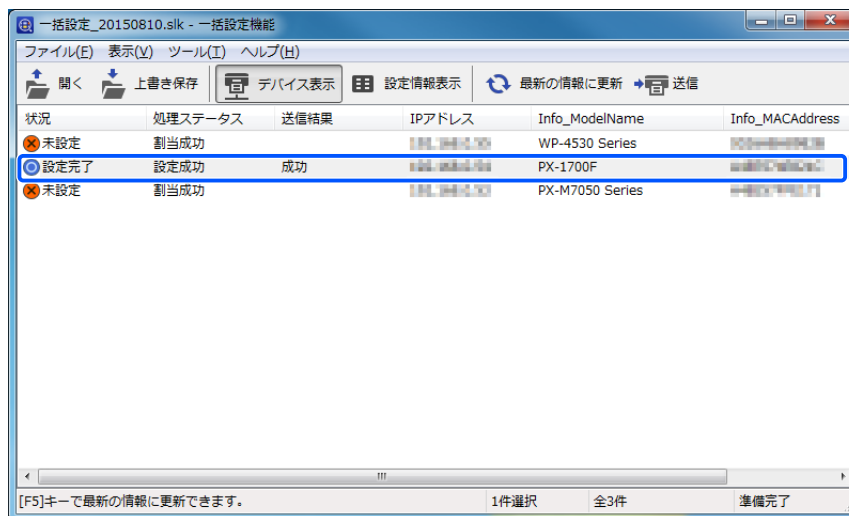


**10** 設定したデバイスの状況を確認します。

⚠ や ⚡ が表示されたデバイスは、設定ファイルの記載内容やデバイスが正常に再起動したか確認してください。

「一括で設定」画面の詳細は以下をご覧ください。

Epson Device Admin ヘルプ 「「一括設定」画面」



## 1 台ずつ情報を割り当てながら設定(手動割当)

IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを記述したファイルを作成して、情報を割り当てるデバイスを 1 台ずつ選択しながら設定します。

## 設定値を記述したファイルを作成

1 表計算ソフト（Microsoft Excel）を起動します。

2 設定項目名として「TCPIP\_IPAddressAuto」、「TCPIP\_IPAddress」、「TCPIP\_SubnetMask」、「TCPIP\_Gateway」を 1 行目に入力します。

設定項目は、以下の文字列通りに入力してください。大文字 / 小文字、全角 / 半角を識別するため、1 文字でも異なると設定項目として認識されません。

以下の設定項目を入力すると Epson Device Admin が各行に記載される情報の意味を判断します。

TCPIP_IPAddressAuto	TCPIP_IPAddress	TCPIP_SubnetMask	TCPIP_Gateway

### 参考

ここでは、MAC アドレスの情報がないファイルを作成します。工場出荷時は自動割当に使用する項目が MAC アドレスに設定されているため、MAC アドレスの情報があると自動的に情報が割り当てられ、手動割当ができません。自動割当に使用する項目は、[一括設定機能] 画面の [ツール] - [オプション] - [割当] - [自動割当キー設定] で変更できます。

3 各行に情報を入力します。

「TCPIP\_IPAddressAuto」は、IP アドレスの設定方法を記述する項目です。ここでは手動で設定しますので「5」と入力します。

TCPIP_IPAddressAuto	TCPIP_IPAddress	TCPIP_SubnetMask	TCPIP_Gateway
5	192.168.100.102	255.255.255.0	192.168.100.101
5	192.168.100.103	255.255.255.0	192.168.100.101
5	192.168.100.104	255.255.255.0	192.168.100.101

4 任意の名称で SYLK ファイル（拡張子 .slk）を保存します。

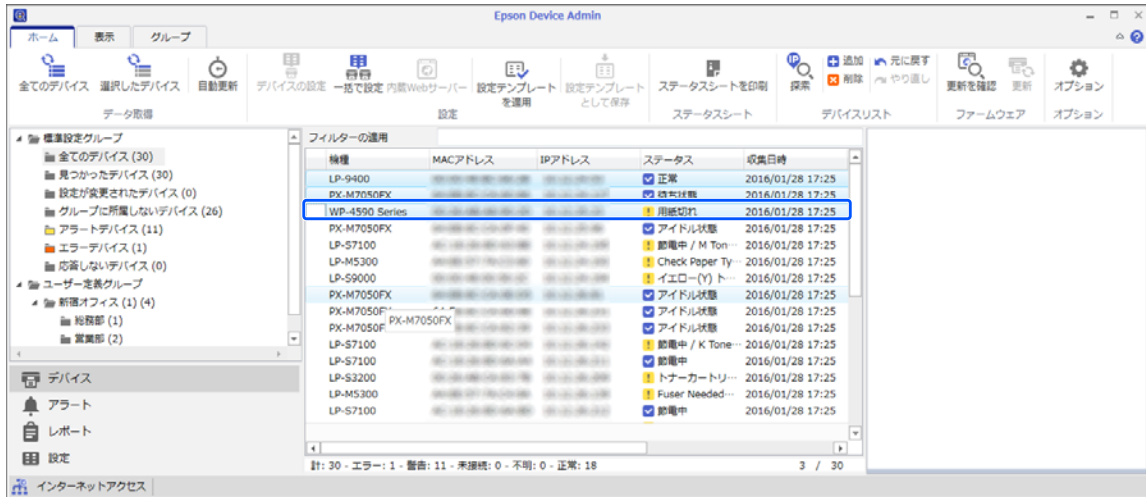
## 設定ファイルを読み込んで 1 台ずつ設定

1 サイドバータスクメニューで [デバイス] を選択します。

2 デバイスリストで設定をバックアップするデバイスを選択します。

### 参考

複数選択するときは、[Ctrl] または [Shift] を押したままクリックして選択してください。

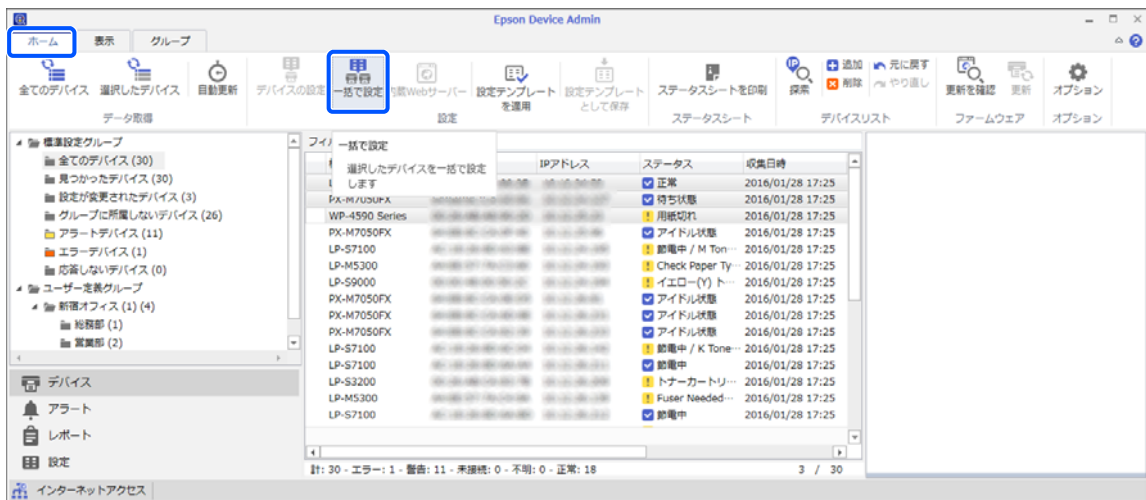


### 3 リボンメニューの「ホーム」タブから「一括で設定」をクリックします。

#### 参考

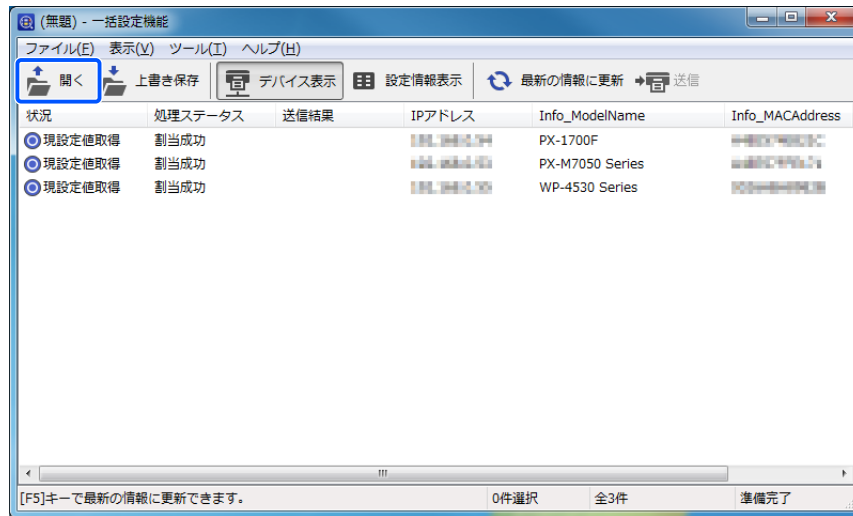
デバイスリスト管理画面リボンメニューの「一括で設定」ボタンは「オプション」-「リボンメニュー設定」で「一括設定を使用する」をチェックしていると表示されます。

「オプション設定」20 ページ

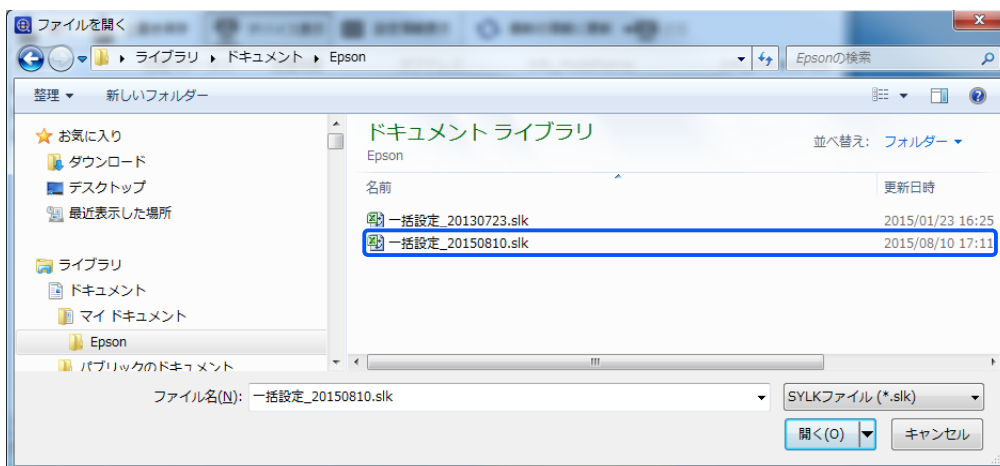




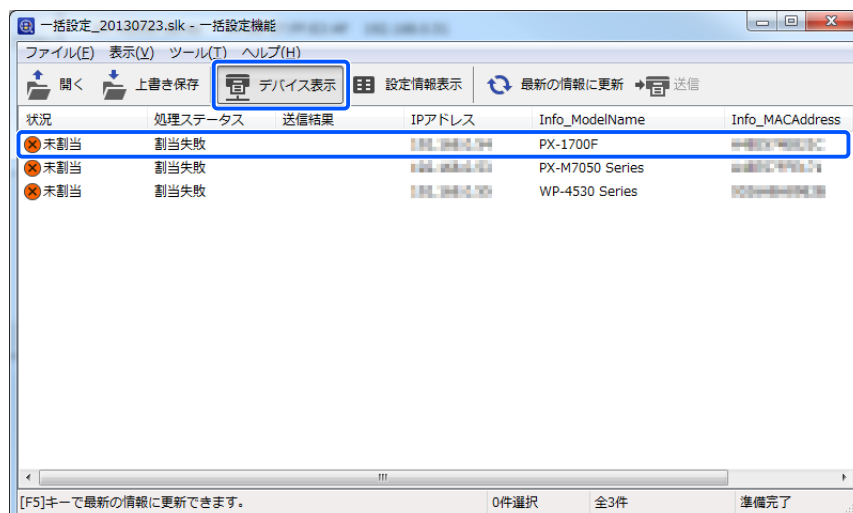
4 [開く] をクリックします。



5 設定値を記述した SYLK ファイル（拡張子 .slk）を選択し、[開く] をクリックします。



6 [デバイス表示] をクリックしてから、設定するデバイスを選択します。  
複数選択するときは、[Ctrl] または [Shift] を押したままクリックして選択してください。



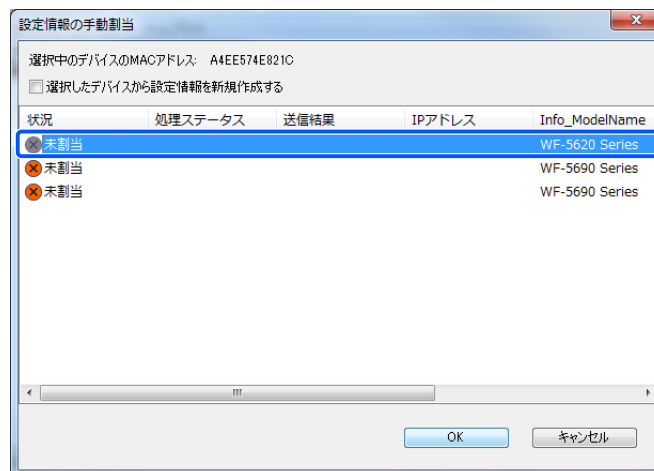
## 7 [ツール] - [手動割当] をクリックします。



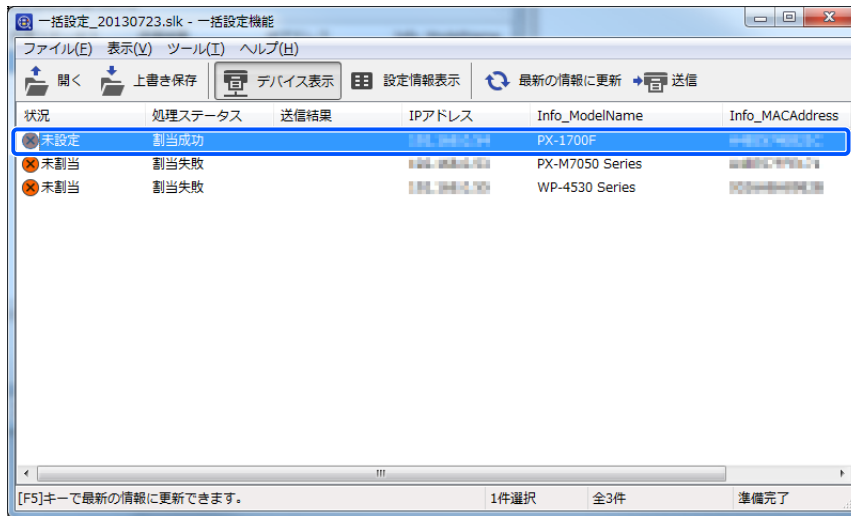
### 参考

ファイルを開いたとき、またはファイルを開いた後にデバイスが探索されると、自動割当が実行されます。目的の設定情報がすでにほかのデバイスに割り当てられているときは、[設定情報の手動割当] 画面に設定情報が表示されません。[ツール] - [割当解除] で割り当てを解除してください。

## 8 割り当てたい設定情報が記載されている行を選択して [OK] をクリックします。



- 9 [状況] の欄が [未設定]、[処理ステータス] が [割り当て成功] と表示されることを確認します。



- 10 [送信] をクリックして、[OK] をクリックします。

## 設定値を記述した SYLK ファイルを作成する

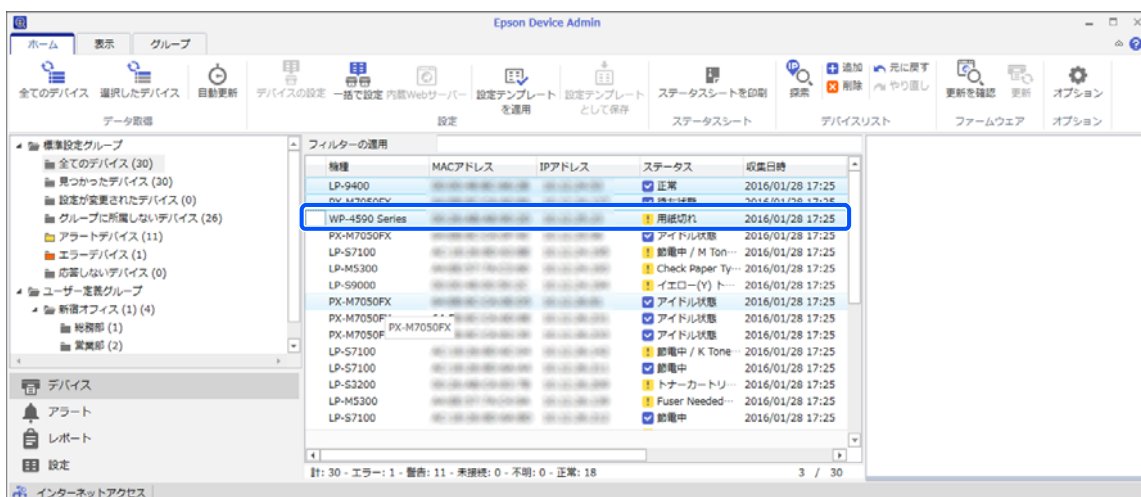
一括設定するための情報を記述した SYLK ファイルを作成します。SYLK ファイルは以下のいずれかの方法で作成できます。

## 接続中のデバイスから情報を取得して作成する

- 1 サイドバタスクメニューで [デバイス] を選択します。
- 2 デバイスリストで設定をバックアップするデバイスを選択します。

### 参考

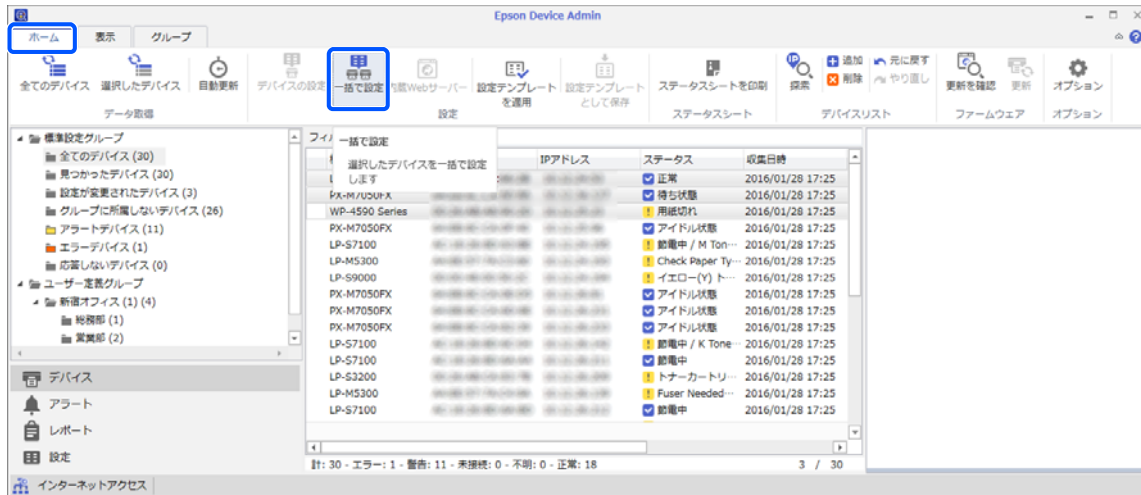
複数選択するときは、[Ctrl] または [Shift] を押したままクリックして選択してください。



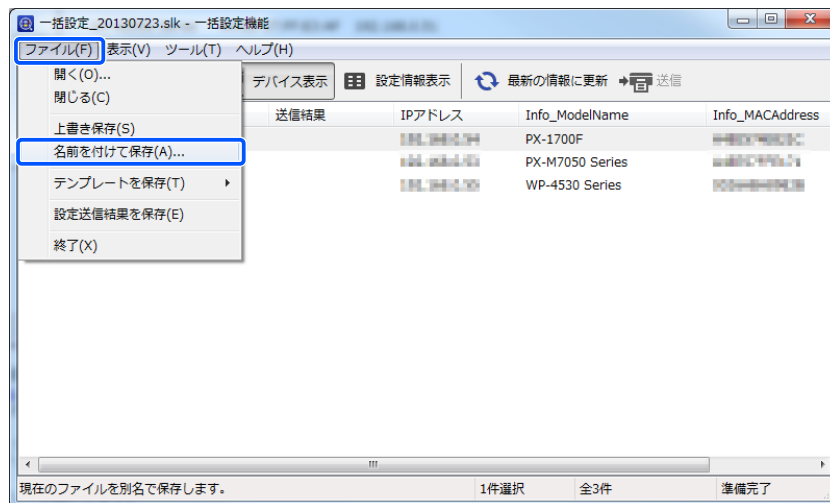
### 3 リボンメニューの「ホーム」タブから「一括で設定」をクリックします。

#### 参考

デバイスリスト管理画面リボンメニューの「一括で設定」ボタンは「オプション」 - 「リボンメニュー設定」で「一括設定を使用する」をチェックしていると表示されます。  
[「オプション設定」20 ページ](#)

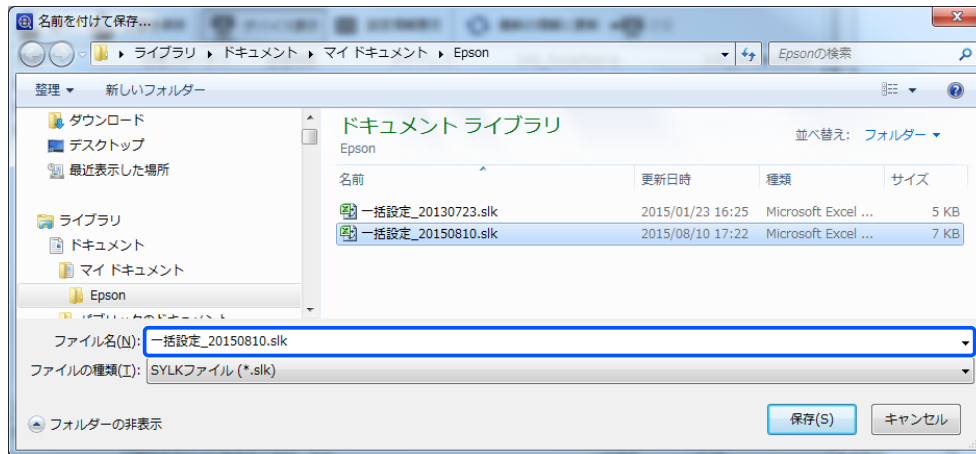


### 4 「ファイル」 - 「名前を付けて保存」をクリックします。



### 5 ファイル名と保存先を指定し「保存」をクリックします。

すべてのデバイスの現在の設定内容が書き出されたバックアップファイル（拡張子 .slk）が作成されます。



- 6** 保存した **SYLK** ファイルを表計算ソフト (**Microsoft Excel**) またはテキストエディターなどで開きます。  
各列に設定値の情報が入力されています。各行がデバイスごとの設定値になります。  
設定項目についての詳細は以下をご覧ください。

[「SYLK ファイルの設定項目」 134 ページ](#)

	1	2	3	4	5	6	7	8
1	Info_ModelName	Info_MACAddress	Info_CommonDevic	Info_CommonLocat	Info_SerialNumber	TCP/IP_IPAddressA	TCP/IP_IPType_APIF	TCP/IP_IPAddress
2	WP-4530 Series	88:9A:4E:00:00:00		Hino	NXL4000267	1	1	192.168.0.104
3	PX-1700F	AA:BB:CC:DD:EE:FF			#NULL#	1	1	192.168.0.105
4	PX-M7050 Series	AA:BB:CC:DD:EE:FF		Hino	1 BE9000046	1	1	192.168.0.106
5								
6								

- 7** 入力されている値を変更する、または 行を追加して新規のデバイスの設定情報を入力して、ファイルを保存します。

	1	2	3	4	5	6	7	8
1	Info_ModelName	Info_MACAddress	Info_CommonDevic	Info_CommonLocat	Info_SerialNumber	TCP/IP_IPAddressA	TCP/IP_IPType_APIF	TCP/IP_IPAddress
2	WP-4530 Series	88:9A:4E:00:00:00		Hino	NXL4000267	1	1	192.168.0.104
3	PX-1700F	AA:BB:CC:DD:EE:FF			#NULL#	1	1	192.168.0.105
4	PX-M7050 Series	AA:BB:CC:DD:EE:FF		Hino	1 BE9000046	1	1	192.168.0.106
5								
6								

#### 参考

パスワードなどセキュリティ上問題のある項目や、読み取り専用の項目は設定値を出力しません。  
管理者パスワードを一括変更するときは、SYLK ファイルに「AdminNewPassword」の行を追加して新しいパスワードを入力します。さらに新しいパスワードを自動認証 (確認のためのパスワード入力不要) でパスワードを変更するときは「AdminCurrentPassword」の項目を追加します。

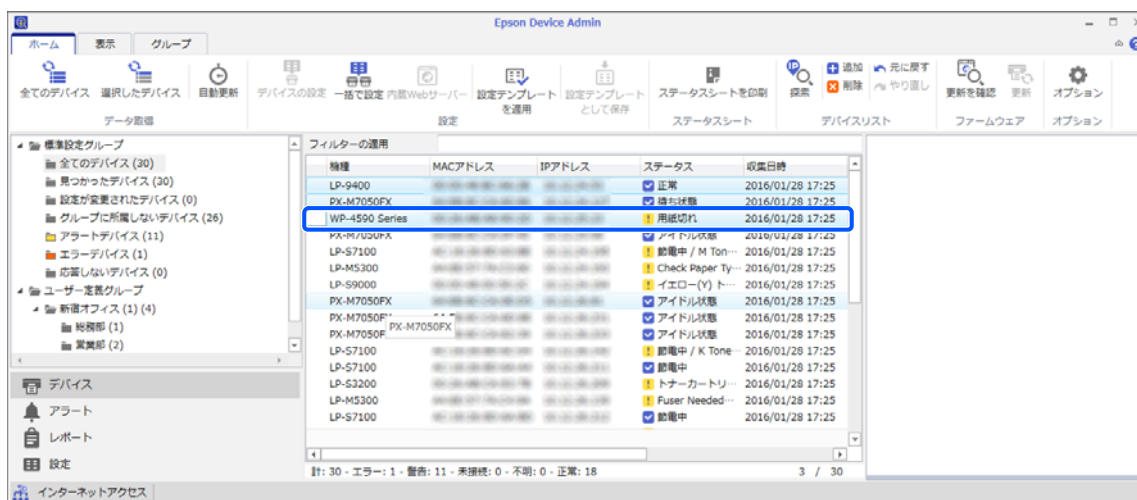
## テンプレートファイルを元に作成する

ここでは TCP/IP 設定テンプレートを使用して、SYLK ファイルを作成する手順を説明します。

- 1 サイドバータスクメニューで **【デバイス】** を選択します。
- 2 デバイスリストで設定をバックアップするデバイスを選択します。

#### 参考

複数選択するときは、[Ctrl] または [Shift] を押したままクリックして選択してください。

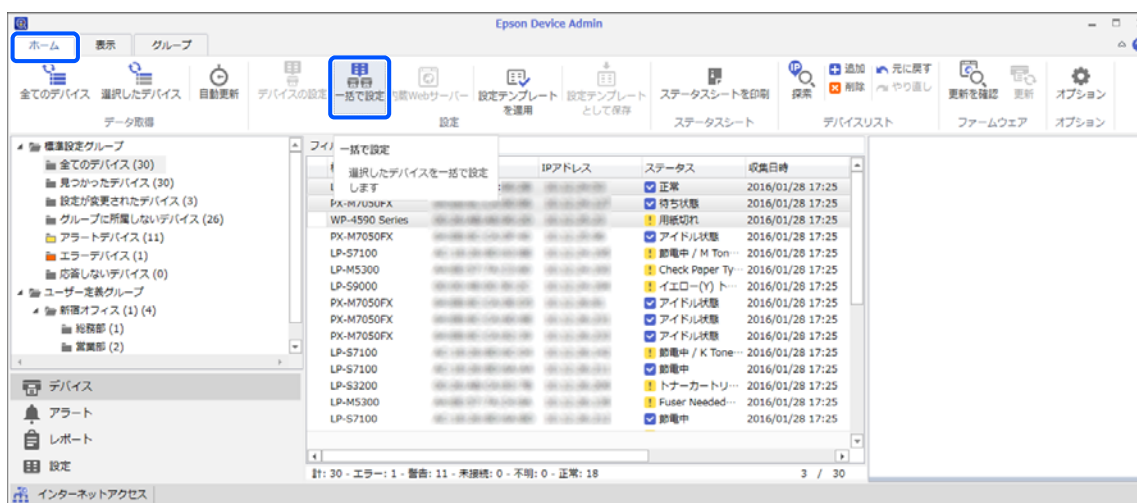


3 リボンメニューの「ホーム」タブから「一括で設定」をクリックします。

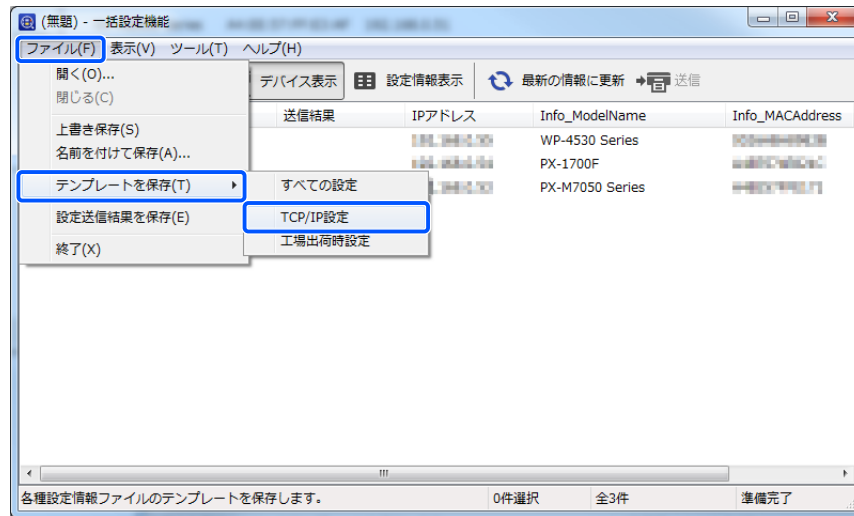
### 参考

デバイスリスト管理画面リボンメニューの「一括で設定」ボタンは「オプション」-「リボンメニュー設定」で「一括設定を使用する」をチェックしていると表示されます。

「オプション設定」20 ページ

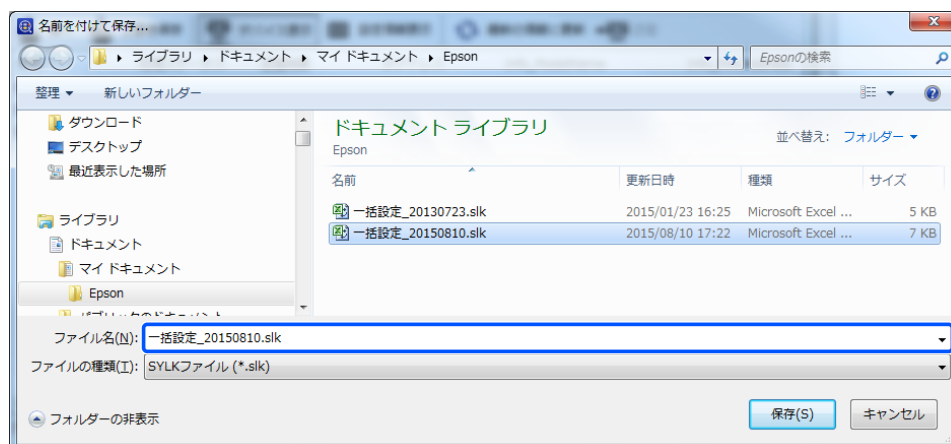


4 [ファイル] - [テンプレートを保存] - [TCP/IP 設定] をクリックします。



5 ファイル名と保存先を指定して [保存] をクリックします。

TCP/IP 関連の設定項目が書き出された SYLK ファイル (拡張子 .slk) が作成されます。



6 保存した SYLK ファイルを表計算ソフト (Microsoft Excel) またはテキストエディターなどで開きます。各行に MAC アドレスと IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイなどの情報を入力します。

設定項目の詳細は以下をご覧ください。

[「SYLK ファイルの設定項目」 134 ページ](#)

	1	2	3	4	5	6	7	8
1	Info_ModelName	Info_MACAddress	Info_CommonDevice	Info_CommonLocat	Info_SerialNumber	TCP_IPAddressA	TCP_IPType_APIF	TCP_IPAddress
2	WP-4530 Series	88:88:88:88:88:88		Hino	NXL4000267	1	1	192.168.1.1
3	PX-1700F	AA:BB:CC:DD:EE:FF			#NULL#	1	1	192.168.1.1
4	PX-M7050 Series	AA:BB:CC:DD:EE:FF		Hino	1BE9000046	1	1	192.168.1.1
5								
6								

**参考**

設定しない項目には、#NULL# を入力してください。

7 ファイルを保存します。

## 新規に作成する

MAC アドレスと機種名をキーにして、IP アドレスを設定するための SYLK ファイルを作成します。

**1** 表計算ソフト（**Microsoft Excel**）を起動します。

**2** 設定項目名として「**Info\_MACAddress**」（MAC アドレス）と「**Info\_ModelName**」（機種名）、**「TCPIP\_IPAddress」（IP アドレス）を 1 行目に入力します。**

設定項目は、以下の文字列通りに入力してください。大文字 / 小文字、全角 / 半角を識別するため、1 文字でも異なると設定項目として認識されません。

以下の設定項目を入力すると、Epson Device Admin が各行に記載される情報の意味を判断します。

Info_MACAddress	Info_ModelName	TCPIP_IPAddress

**3** 各行に **MAC アドレスと機種名、設定したい IP アドレス**を入力します。

Info_MACAddress	Info_ModelName	TCPIP_IPAddress
0000XXXX0001	ALC-XXXXX	192.168.100.102
0000XXXX0002	ALC-XXXXX	192.168.100.103
0000XXXX0003	ALC-XXXXX	192.168.100.104

### 参考

ご使用の機種名が LP-XXXXPS の場合、Info\_ModelName には LP-XXXX と入力してください。ただし LP-8700PS3 に限りそのまま入力してください。

**4** 任意の名称で **SYLK ファイル（拡張子 .slk）**として保存します。

---

## デバイス設定のバックアップ

一括設定機能を使ってデバイス設定をバックアップします。

デバイスの設定値を SYLK ファイルに出力します。

### 参考

デバイスリスト管理画面リボンメニューの「一括で設定」ボタンは「オプション」 - 「リボンメニュー設定」で「一括設定を使用する」をチェックしていると表示されます。

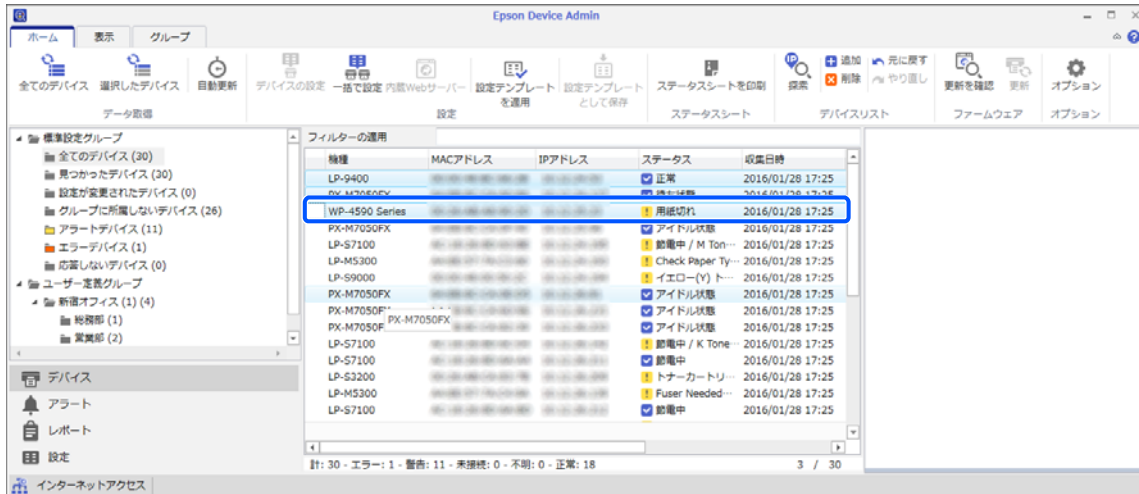
[「オプション設定」20 ページ](#)



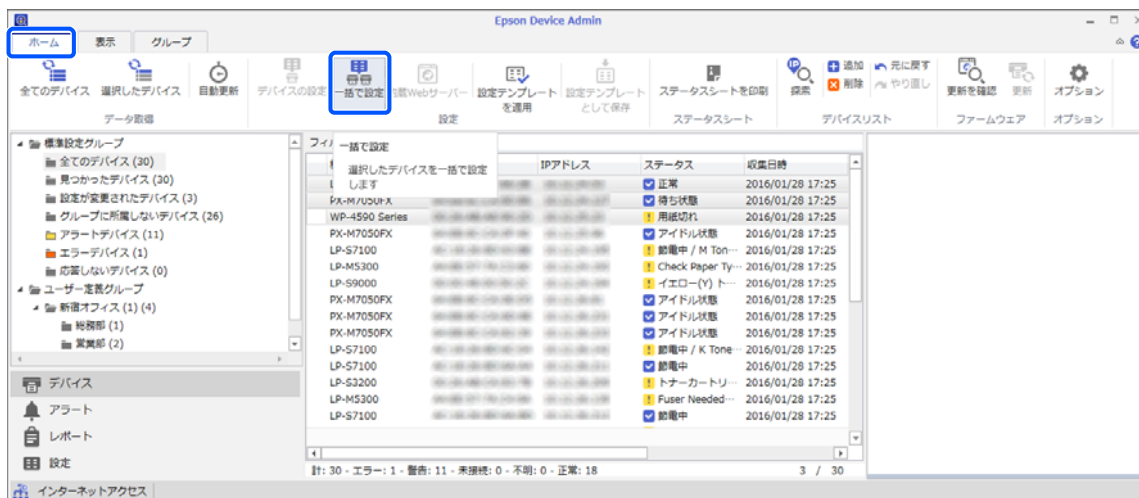
- 1 サイドバータスクメニューで「デバイス」を選択します。
- 2 デバイスリストで設定をバックアップするデバイスを選択します。

### 参考

複数選択するときは、[Ctrl] または [Shift] を押したままクリックして選択してください。



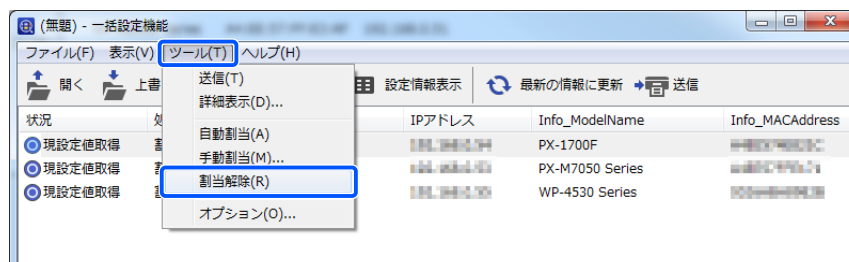
- 3 リボンメニューの「ホーム」タブから「一括で設定」をクリックします。



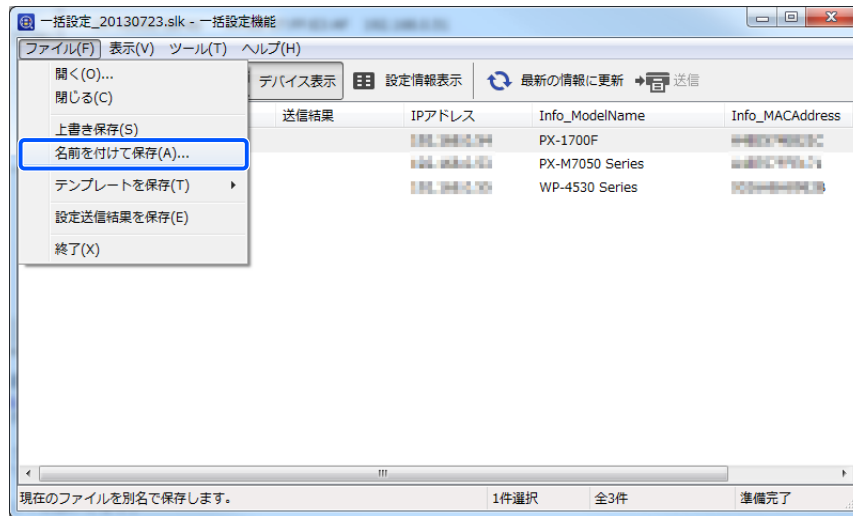
### 参考

バックアップファイルを作成しないデバイスが入っている場合、そのデバイスを選択して「ツール」 - 「割当解除」をクリックします。

確認メッセージが表示され「はい」をクリックすると、「状況」の欄が「未割当」に変わります。

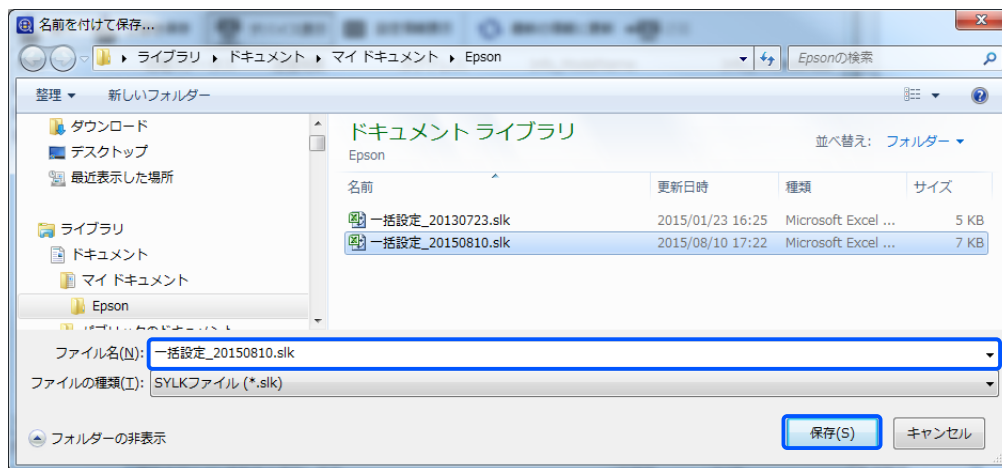


## 4 [ファイル] - [名前を付けて保存] をクリックします。



## 5 ファイル名と保存先を指定し [保存] をクリックします。

選択されたデバイスの設定値が記載されたバックアップファイル（拡張子 .slk）が作成されます。



# SYLK ファイルの設定項目

SYLK ファイルで設定できる主な項目を説明します。

設定項目	説明
Info_SerialNumber	デバイスのシリアルナンバーが表示されます。 デバイスから収集した値が表示されます。値を変更してもデバイスに反映されません。
Info_MACAddress	デバイスの MAC アドレスが表示されます。 デバイスから収集した値が表示されます。値を変更してもデバイスに反映されません。
Info_ModelName	デバイスの製品名が表示されます。 デバイスから収集した値が表示されます。値を変更してもデバイスに反映されません。
Info_Software.X.Category (X:1 ~ 50)	デバイスの本体ソフトウェアの情報が表示されます。 デバイスから収集した値が表示されます。値を変更してもデバイスに反映されません。

設定項目	説明
Info_Software.X.Name (X:1 ~ 50)	デバイスの本体ソフトウェアの情報が表示されます。 デバイスから収集した値が表示されます。値を変更してもデバイスに反映されません。
Info_Software.X.Version (X:1 ~ 50)	デバイスの本体ソフトウェアの情報が表示されます。 デバイスから収集した値が表示されます。値を変更してもデバイスに反映されません。
Info_Software.X.Vendor (X:1 ~ 50)	デバイスの本体ソフトウェアの情報が表示されます。 デバイスから収集した値が表示されます。値を変更してもデバイスに反映されません。
Info_CommonDevice	各プロトコル共通で使用するデバイス名です。 半角英数字とハイフン (-) を使って 2 ~ 15 文字までで入力します。ただし先頭には半角英字、末尾には半角英数字のみ入力できます。 以下は無効です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• DNS ホスト名を自動取得している場合</li> <li>• DNS ホスト名 (TCPIP_DNS_DomainName) と合わせて 251 文字を超えた場合</li> </ul>
Info_CommonLocation	デバイスの設置場所など、デバイスを特定するための情報を設定できます。 ASCII 制御コードと半角カタカナを除く、半角または全角文字を入力できます。 入力できる文字数はデバイスによって異なります。
TCPIP_IPAddressAuto	IP アドレスを自動で設定するか、手動で設定するかを指定します。 1 : Auto 5 : Manual
TCPIP_IPTYPE_BOOTP	BOOTP によって IP アドレスを自動設定をするかしないか指定します。 TCPIP_IPAddressAuto が [5 : Manual] の場合は [0 : OFF] に固定されます。 1 : ON 0 : OFF
TCPIP_IPTYPE_RARP	RARP によって IP アドレスを自動設定をするかしないか指定します。 TCPIP_IPAddressAuto が [5 : Manual] の場合は [0 : OFF] に固定されます。 1 : ON 0 : OFF
TCPIP_IPTYPE_APIPA	APIPA によって IP アドレスを自動設定をするかしないか指定します。 TCPIP_IPAddressAuto が [5 : Manual] の場合は [0 : OFF] に固定されます。 1 : ON 0 : OFF
TCPIP_IPTYPE_PING	PING によって IP アドレスを自動設定をするかしないか指定します。 TCPIP_IPAddressAuto が [5 : Manual] の場合は [0 : OFF] に固定されます。 1 : ON 0 : OFF
TCPIP_IPAddress	IP アドレスを IPv4 形式で入力します。 以下のアドレスは入力できません。 0.0.0.0 255.255.255.255 127.0.0.1 224.0.0.0 ~ 239.255.255.255
TCPIP_SubnetMask	サブネットマスクを IPv4 形式で入力します。 以下のアドレスは入力できません。 0.0.0.0 255.255.255.255
TCPIP_Gateway	デフォルトゲートウェイを IPv4 形式で入力します。 以下のアドレスは入力できません。 255.255.255.255 224.0.0.0 ~ 239.255.255.255
TCPIP_DNS_AddressAuto	DNS サーバーアドレスを自動取得するかどうか指定します。 TCPIP_IPAddressAuto が [5 : Manual] の場合は [0 : Manual] に固定されます。 0 : Manual 1 : Auto

設定項目	説明
TCPIP_DNS_Server.1 ~ TCPIP_DNS_Server.N	デバイスに登録可能な 1 ～ N 個の DNS サーバーアドレスを IPv4 形式で指定します。 以下のアドレスは入力できません。 255.255.255.255 0.0.0.0
TCPIP_DNS_HostDomainAuto	DNS ホスト名とドメイン名を自動取得するかどうか指定します。 TCPIP_IPAddressAuto が [5 : Manual] の場合は [0 : Manual] に固定されます。 0 : Manual 1 : Auto
TCPIP_DNS_HostAuto	DNS ホスト名を自動取得するかどうか指定します。 TCPIP_IPAddressAuto が [5 : Manual] の場合は [0 : Manual] に固定されます。 0 : Manual 1 : Auto
TCPIP_DNS_DomainAuto	DNS ドメイン名を自動取得するかどうか指定します。 TCPIP_IPAddressAuto が [5 : Manual] の場合は [0 : Manual] に固定されます。 0 : Manual 1 : Auto
TCPIP_DNS_HostName	DNS ホスト名を設定します。 半角英数字とハイフン (-)、ピリオド (.) を使って 2 ～ 63 文字までで入力します。ただし先頭には半角英字、末尾には半角英数字のみ入力できます。 DNS ドメイン名 (TCPIP_DNS_DomainName) と合わせて 251 文字を超えた場合は無効です。
TCPIP_DNS_DomainName	DNS ドメイン名を設定します。 半角英数字とハイフン (-) を使って 2 ～ 249 文字までで入力します。ただし先頭には半角英字、末尾には半角英数字のみ入力できます。 以下は無効です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>•ピリオド (.) を連続して使用した場合</li> <li>•DNS ホスト名 (TCPIP_DNS_HostName) と合わせて 251 文字を超えた場合</li> </ul>
TCPIP_DNS_DNSRegist	ネットワーク I/F のアドレスを DNS サーバーへ登録するかどうか指定します。 0 : 登録しない 1 : 登録する
TCPIP_DNS_DirectRegist	ネットワーク I/F のアドレスの DNS サーバーへの登録方法を指定します。 0 : DHCP 経由 1 : 直接
TCPIP_EnableBonjour	Bonjour を使用するかどうか設定します。 0 : 無効 1 : 有効
TCPIP_BonjourName	Bonjour 名を指定します。 半角英数字とハイフン (-) を使って 2 ～ 53 文字までで入力します。ただし先頭には半角英字、末尾には半角英数字のみ入力できます。
TCPIP_BonjourPrinterName	Bonjour サービスまたは Bonjour プリンター名を指定します。 半角英数字と空白、次の記号 !"#\$%&'()*+,-./:;<=>?[¥]^_`{ }~ を使って 1 ～ 41 文字までで入力します。
EnableMSNet	MS Network 共有機能を使用するかどうか設定します。 0 : 無効 1 : 有効
MSNet_HostName	MS Network のホスト名を設定します。 半角英数字と空白、次の記号 !"#\$%&'()*+,-./:;<=>?[¥]^_`{ }~ を使って 1 ～ 15 文字までで入力します。
MSNet_WorkGroupName	MS Network のワークグループ名またはドメイン名を設定します。 半角英数字と空白、次の記号 !"#\$%&'()*+,-./:;<=>?[¥]^_`{ }~ を使って 1 ～ 15 文字までで入力します。

設定項目	説明
EnableAppleTalk	AppleTalk を使用するかどうか設定します。 0：無効 1：有効
NetIF_EnableTimeServer	タイムサーバーを使用するかどうか設定します。 0：使用しない 1：使用する
NetIF_TimeServer	タイムサーバーのアドレスを指定します。 入力できる形式はタイムサーバーによって異なります。
NetIF_TimeServerInterval	タイムサーバーの情報を更新する間隔を秒単位で指定します。 1～1440 の整数を入力してください。
NetIF_TimeServerStatus	タイムサーバーとの接続状態を表示します。 デバイスから収集した値が表示されます。値を変更してもデバイスに反映されません。
USB_HostIF	USB ホスト I/F を使うかどうか設定します。 3：On 4：Off
USB_IF	USB デバイス I/F を使うかどうか設定します。 3：On 4：Off
Admin_UserName	デバイスの管理者名を登録できます。 ASCII 制御コードを除く、半角または全角文字を 255 文字まで入力できます。
Admin_PanelLock	デバイスのパネル操作を有効にするかどうか設定します。 3：パネル操作有効 4：パネル操作無効
AdminCurrentPassword	自動認証で管理者パスワードを変更したい場合に、現在のパスワードを入力します。
AdminNewPassword	管理者パスワードを設定します。 半角英数字と空白、次の記号!"#\$%&'()*+,-./{ }~を使って1～20文字までで入力します。 デバイスに管理者パスワードが設定されている場合は、現在のパスワードの入力が必要です。
NICResetCmd	デバイスを工場出荷時の設定に戻します。 true：デバイスを工場出荷時に設定する

### 参考

設定できる項目はデバイスによって異なります。デバイスがサポートしていない設定項目には、#NULL# が入力されます。

## 商標など

- EPSON および EXCEED YOUR VISION はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
  - Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
  - そのほかの製品名は各社の商標または登録商標です。
- © Seiko Epson Corporation 2018. All rights reserved.

## ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。

- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がございましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適當に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。